

イギリス文化・ 文学・歴史研究

洋書学術史資料出版目録

Primary English Sources

British Culture - Literature - History

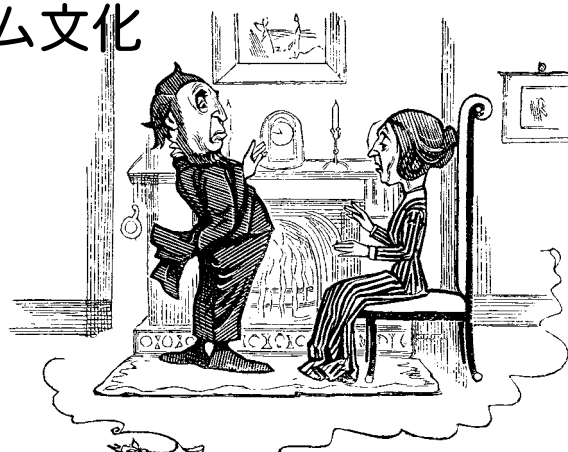


ART!

★ヴィクトリア朝・モダニズム文化

★ロマン主義

- 美学・芸術・建築・漫画
- 地誌・旅行・観光史
- 教育・スポーツ史
- ジェンダー・女性・身体史
- 児童文学・文化
- 大英帝国史
- 日英交流史



◆イングランド・スコットランド・
ウェールズ・アイルランド



写真図説 イギリスの邸宅建築と庭園

【復刻版】全 10 巻・3 回配本 (別冊日本語解説付)

English Homes & Gardens, 10 volumes

【編著】H. Avray Tipping 【監修・解説(日本語別冊)】近藤存志(フェリス女学院大学教授)

第 1 回配本：中世から初期チューダー様式 全 3 巻 + 別冊解説

Part 1: Medieval and Early Tudor

2013 年 9 月刊行 A4 判・約 1,260 頁 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-182-2

好評既刊

Vol. 1: Period I - Vol. 1: Norman and Plantagenet (1066-1485), 377pp.

Vol. 2: Period II - Vol. 1: Early Tudor (1485-1558), 456 pp.

Vol. 3: Period I & II - Vol. 2: Medieval and Early Tudor (1066-1558), 412 pp.

第 2 回配本：後期チューダーから初期スチュアート様式および
ジョン・ヴァンブラとその流派による作品 全 4 巻

Part 2: Late Tudor and Early Stuart

2014 年 6 月刊行 A4 判・約 1,760 頁 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-183-9

1. Period III - Vol. 1: Late Tudor and Early Stuart (1558-1649), lv, 378 = 438 pp.

2. Period III - Vol. 2: Late Tudor and Early Stuart (1558-1649), xxii, 423 = 445 pp.

3. Period IV - Vol. 1: Late Stuart (1649-1714), xl, 430 = 470 pp.

4. Period IV - Vol. 2: The Work of Sir John Vanbrugh and his School (1699-1736), lxiv, 333 = 397 pp.

- 1920 ~ 30 年に刊行された大型ヴィジュアル本シリーズ。
- ノルマン期から後期ジョージアン期まで、様式ごとに編集され、各時代に住居として使われた英国の歴史的建築物(城館邸宅、マナー・ハウス、カントリー・ハウス等)約 250 点を、外貌だけでなくインテリアや調度品も含めた写真 4,600 点強と建築図面などで紹介した、英国建築に関する最大級の出版物。
- 建築物のシリーズ全 9 巻に、庭園 52 を収録した別巻を加え、大型本全 10 巻を約 15% 縮小し、使い易い A4 判にて復刻。
- 著者のティピングはアーツ&クラフツ運動にもかかわった著名な造園家であると同時に、建築史家として雑誌出版社カントリー・ライフ社の建築部門の編集主幹を務め、同社の資料を縦横に駆使し約 10 年を費やし本シリーズを完結させた。
- すでに失われた建築物の写真も多く含む、英国建築史に関する記念碑的出版物。
- 第 1 回配本では、中世から初期チューダー様式の 79 の邸宅を収録。各巻頭のティピングによる詳細な序文に加え、別冊には監修者による日本語解説および全シリーズ中の邸宅建築・庭園のリストと日本語紹介入り。

◆シリーズ続刊◆

第 3 回配本：初期・後期ジョージアン様式およびイギリスの庭園 全 3 巻

Part 3: Early and Late Georgian & English Gardens

2015 年 8 月刊行 A4 判・約 1,260 頁 本体セット価 ¥88,000- ISBN: 978-4-86166-184-6

5. Period V - Vol. 1: Early Georgian (1714-1760), xliii, 357 = 400 pp.

6. Period VI - Vol. 1: Late Georgian (1760-1820), xi, 402 = 413 pp.

7. English Gardens, lxiv + 375 = 441 pp.

新刊

広告とモダン・アート

— 20世紀初期イギリス文献復刻集成 —

新刊

8文献・合本6巻＋別冊日本語解説

Advertisement and Modern Art in Early Twentieth-Century England

編集・解説：菅 靖子（津田塾大学准教授）

2014年9月刊行 A5判・総約2,125頁・図版多数（内カラー約95点）

本体セット価¥128,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-81-9

ヴィクトリア時代を終え消費文化の成熟期を迎えた20世紀初頭の英国では、拡大した中流層を対象とした産業が栄え、それとともに近代的手法を使った広告産業も大きな発展を遂げました。新たな印刷技術やグラフィックの技法が、それまでと異なる視覚的效果を雑誌や新聞広告、ポスター中のデザイン表現にもたらし、アール・ヌーヴォー、アール・デコ、そしてモダン・アートからの影響も受けた広告美術は、宣伝の一手法であると同時に、文化、芸術の一部として社会に認知され始めました。それとともに、広告産業、広告文化に関する様々な言説が発表されます。

本コレクションは、この20世紀初期に出版された広告と広告美術に関する英国の主要著作8点を復刻集成するものです。広告ビジネスに携わった者、広告美術を手がけたアーティスト、美術評論家など多様な著者による入門書、実践書から理論書や歴史書まで含み、それらの中には合計100点近いカラー図版を含むこの時代の広告図案サンプルも収録されています。広告研究、デザインやグラフィック・アートの歴史をはじめ、英国の大衆文化史、消費文化史、そしてモダニズム研究の資料としても大変有用な資料集です。



CONTENTS

Vol. 1

Sparrow, Walter Shaw

Advertising and British Art: An Introduction to a Vast Subject

London: Bodley Head, 1924, c. 350 pp. (incl. 27 text illus., 36 colour plates, & 121 b/w plates)

Vol. 2

Prston, J. F. & Arch, E.

Advertising, Printing and Art in Commerce

London: Chapman & Hall Ltd, c. 357 pp. (incl. 20 plates)

Vol. 3

Dean, Arthur W.

Modern Publicity - A Plea for Art in Advertising

London, New York [etc.]: Sir I. Pitman & Sons, 1921, c. 78pp.

Higham, Charles

Advertising, Its Use and Abuse

London: Williams & Norgate / New York, H. Holt, 1925, c. 256 pp.

Fry, Roger

Art and Commerce (Hogarth Essays No.16)

London: L. & Virginia Woolf at the Hogarth Press, c1926, c. 28 pp.

Vol. 4

Gossop, R. P.

Advertisement Design

London: Chapman and Hall, 1927, c. 430 pp. (incl. 144 (7 in colour) illus.)

Vol. 5

Twining, E. W. & Hordich, D. E. M.

Art in Advertising - A Treatise on Artists' Work in Connection with All Branches of Publicity

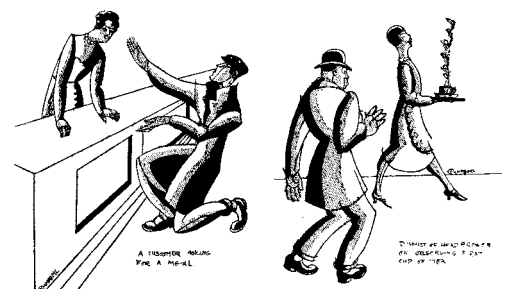
London: Sir I. Pitman & Sons, 1931, c. 300 pp. (incl. 142 (52 in colour) illus.)

Vol. 6

Sheldon, Cyril

A History of Poster Advertising, together with a Record of Legislation and Attempted Legislation Affecting Outdoor Advertising

London: Chapman & Hall, 1937, c. 325 pp.



イングランドの地方都市

—ヴィクトリア期・エドワード期のガイドブックコレクション

【第1期】北部編 9文献・合本6巻＋別冊解説

編集・解説：伊藤航多（津田塾大学）

新刊

Provincial Towns in Victorian and Edwardian England:

A Collection of Local Town Handbooks for the British Association for the Advancement of Science,

PART 1: NORTHERN ENGLAND

2014年11月刊行 A5判・約2,350頁（折込地図・図版多数） 本体セット価¥128,000-（＋税）

ISBN 978-4-902454-88-8

- 産業革命とともに近代化が進んだ、19世紀～20世紀初頭の英国の主要地方都市に関する同時代のガイドブックの復刻集成。
- 1831年に創立された英国科学振興協会（The British Association [for the Advancement of Science],）が、英国内各都市で巡回開催した年大会用に作成した参加者向けの開催都市ガイドから選書し、ヴィクトリア期・エドワード期英国地方都市研究のための同時代一次資料集として提供。
- これらのガイドの編集は各都市協会支部に委ねられていたため、編集方針やサイズ、体裁に差異があるものの、いずれもそれぞれの都市の郷土史家や科学愛好家などが中心となり執筆され、各地の地理、歴史、経済、産業、教育、芸術から生態系などを簡潔にまとめ紹介しており、この時代の地方都市の客観的な史資料として信頼できるソースになっている。
- 歴史や都市研究だけでなく、19世紀イギリス小説にも頻繁に登場するこれらの都市のガイドは、英文学研究にとっても貴重な一次文献。
- 第1期北部編、第2期中部・南部編全12巻にイングランド16都市のガイドを収録、多数の折込地図なども含め完全復刻する。

■各巻明細■

Vol. 1: [Newcastle-upon-Tyne] A Hand-book to Newcastle-on-Tyne, 1863, c. 350 pp.

Vol. 2: [York] A Handbook to York, 1906, c. 380 pp.

Vol. 3: [Leeds and Airedale] Handbook for Leeds and Airedale, 1890, c.140 pp.

[Bradford] Handbook to Bradford and the Neighbourhood, 1900, c. 200 pp.

Vol. 4: [Southport] Southport: A Handbook of the Town and Surrounding, 1903, c. 260 pp.

Vol. 5: [Liverpool] Handbook to Liverpool, 1896, c. 200 pp.

[Manchester] Handbook of Manchester, 1887, c. 125 pp.

[Manchester] Manchester in 1915, 1915, c. 120 pp.

Vol. 6: [Sheffield] Handbook & Guide to Sheffield, 1910, c. 510 pp.

◆続刊◆

【第2期】中部・南部編 8文献・合本6巻＋別冊解説

編集・解説：伊藤航多（津田塾大学）

Provincial Towns in Victorian and Edwardian England: A Collection of Local Town Handbooks for the British Association for the Advancement of Science, **PART 2: MIDDLE & SOUTHERN ENGLAND**

2015年9月刊行予定 A5判・約2,200頁（折込地図・図版多数） 本体セット予価¥128,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-89-5

■収録予定■

Vol. 1: [Nottingham] Allen's Illustrated Handbook and Guide to All the Places of Interest in Nottingham and Its Environs, 1866.

Vol. 2: [Leicester] A Guide to Leicester and District, 1907.

Vol. 3: [Birmingham] Handbook of Birmingham, 1886.

Vol. 4: [Bristol] Handbook to Bristol, 1898. / [Bath] Handbook to Bath, 1888.

Vol. 5: [Canterbury] Handbook to the City of Canterbury, 1899. / [Dover] Handbook to Dover, 1899.

Vol. 6: [Portsmouth] Handbook and Guide to Portsmouth, 1911.

英国近代郵便の成立～19世紀文献集成～

全8巻 + 別冊解説

The Foundations of the Modern Post

新刊

-Office in Britain; A Collection of the Nineteenth Century Sources

編集・解説：新井潤美（上智大学）

2015年1月刊行 A5判・約3,000頁 本体セット価¥138,000(+税) ISBN 978-4-902454-87-1



17世紀に始まった英国郵便（ロイヤル・メール）は、18世紀後半には郵便馬車による配達が始まり、郵便網も徐々に広がってゆきましたが、その近代化は1830年代にローランド・ヒルが郵便改革をとるや、全国一律の郵便料金と料金の前納制度を確立、そして世界初の郵便切手（ペニー・ブラック）が創設されたことにより本格的に始まります。鉄道網が発達する19世紀半ばには郵送手段も馬車から鉄道に置き換えられ、街頭に郵便ポストが設置されたことなどもあり取扱い量が飛躍的に増大します。その後郵便小包や郵便為替などサービスも多様化し、英国社会における情報、コミュニケーションや物流の、質、量、スピードのすべてに大きな変革をもたらしました。

本文献集は、これまで資料がまとめられていなかった、この19世紀の英国郵便近代化に関する同時代の主要著作8点を収録する復刻集です。英国郵便史の概説書や、ローランド・ヒルを始め郵便近代化に関わった人物自身による著作を中心に、ヴィクトリア期の英国郵便の実態をできる限り生き生きと伝えてくれる文献を集め、一次史資料集として提供いたします。

郵便改革の影響はヴィクトリア期の人々の生活のすみずみにおよび、19世紀英国の社会経済や生活史の研究には不可避なテーマの一つとなっています。手紙が多用される文学作品の研究でも、郵便の近代化が作り出した新たな社会環境は作品理解のためにも重要な研究対象といえます。本文献集をどうぞ広くご利用ください。

【収録文献】

Vol. 1:

Joyce, Herbert

The History of the Post Office from its Establishment down to 1836

London: Richard Bentley & Son, 1893, c.470 pp.

Vol. 2:

Norway, Arthur H.

History of the Post-Office Packet Service between the Years 1793-1815

London: Macmillan & Co., 1895, c.325 pp.

Vol. 3:

Hill, Rowland

Post Office Reform: Its Importance and Practicability

London: Charles Knight, 1837, c.115 pp.

Smyth, Eleanor C.

Sir Rowland Hill: The Story of a Great Reform, Told by His Daughter

London: T. Fisher Unwin, 1907, c.340 pp.

Vol. 4:

Lewins, William

Her Majesty's Mails: History of the Post-Office and an Industrial Account of its Present Condition, 2nd ed.

London: Sampson Low, Marston & Co. 1865, c.355 pp.

Vol. 5:

Hyde, James Wilson

The Royal Mail: Its Curiosities and Romance, 2nd ed.

Edinburgh & London: William Blackwood, 1885, c.405 pp.

Vol. 6:

Tombs, R. C.,

The Bristol Royal Mail, Post, Telegraph and Telephone

Bristol: J. W. Arrowsmith, nd. [c.1899], c.295 pp.

Vol. 7 & 8

Baines, F. E.,

Forty Years at the Post-Office, A Personal Narrative, Volume 1 & 2

London: Richard Bentley & Son, 1895, c.700 pp.

◆世紀転換期の世界の新聞・雑誌に掲載された時事・社会風刺漫画大コレクション◆

万国風刺漫画大全—世紀転換期の世界

【復刻集成版】全3巻＋別冊

新刊

Caricatures and Cartoons, 1890-1905: A History of the World

編集・解説：橋本順光（大阪大学文学部）

2015年7月刊行 B5判・約1,200頁 本体セット価¥118,000-（+税） ISBN 978-4-86166-186-0

『評論の評論』誌（*The Review of Reviews*）の風刺画コーナーに掲載された、世界各地の新聞・雑誌漫画 数千点を集成。

世界各地の新聞や雑誌から記事を選択、ダイジェストした月刊誌『評論の評論』は、1890年に英国で創刊された後、米国、オーストラリア版も刊行され、世界の情報を通覧できる雑誌として、各地の英語圏の読者に広く受け入れられました。また同誌は、第2巻より、時事、社会風刺漫画を特集するコーナーを設け、テキストだけでなく視覚的にも世界の情勢を伝えることに力を入れました。ほぼ毎月号約20-40点掲載される漫画は、英米だけでなく、独仏伊蘭やロシアなどのヨーロッパの雑誌、カナダ、オーストラリア、南アフリカ、そして日本、インドなどアジアで刊行されていた新聞・雑誌からも転載され、まさにその時々の世界の動向がこれらの漫画を通して一目で理解できるよう編集されています。



本復刻出版は、この風刺漫画特集の始まった1890年の第2巻から1905年までに掲載された、本雑誌各号の漫画コーナー全頁を復刻します。編者による解説とともに、各漫画に付されている英語キャプションとその日本語訳もリスト化し収録する予定です。

これらの風刺画の中には、世界各地の異なる文化が接触し摩擦を起こす、19世紀末から20世紀初頭の帝国主義、人種やオリエンタリズムの問題など、世紀末から世紀転換期の様々なテーマが視覚的に表わされており、西洋近代史、文化史の読み直しのための貴重な視点を提供してくれます。

◎主な出典新聞・雑誌（一部のみ）◎

英国：Fun, Judy, Funny Folks, Ariel, Westminster Gazette, Vanity Fair, John Bull, Moonshine, Birmingham Dart, Pall Mall Budget, Pick-Me-Up, Quiz, Picture Politics, Glasgow Evening News / 米国：Life, Judge, Puck, Minneapolis Times, Philadelphia Times, New York Journal, News of the World, Brooklyn Eagle, North American Review, Chicago Inter-Ocean, Kansas City Times, Washington Times / カナダ：Toronto Grip, Canada Standard, Montreal Daily Witness / アイルランド：Irish Life, United Ireland, Weekly Freeman / フランス：Le Rire, La Silhouette, Le Grelot, La Reforme, Le Perroquet, Charivari, Le Figaro, Le Petit Journal / ドイツ：Lustige Blaetter, Der Wahre Jacob, Beiblatt zum Kladderadatsch, Jugend, Ulk, Simplicissimus, Neue Gluehlichter, Muenchner Odinskarte / オーストリア：Humoristische Blaetter, Der Floh, Kikeriki / スイス：Nebelspalter / イタリア：Il Papagallo, Il Fischietto, Pasquino, O Seculo / スペイン：Gedeon / オランダ：Amsterdanner, Nederlandsche Spectator, Le Courrant / デンマーク：Klods Hans / ハンガリー：Bors em Janko / ロシア：Novoe Vremya / オーストラリア：The Brisbane Boomerang, Australian Life, Melbourne Punch, Sydney Bulletin / 南アフリカ：South African Times, Pretoria Weekly News, Cape Illustrated Magazine, Mosquito / インド：Hindi Punch, Calcutta Recorder / 日本：Jiji-Shimpo, Tokyo Puck 等

＜100点以上のカラー図版とともに、日本、中国、フィリピン、インドネシア、
ミクロネシア、ポリネシアを西洋に紹介した19世紀初頭のシリーズ＞

19世紀ミニチュア世界の中のアジア・パシフィック 全7巻＋別冊解説

The World in Miniature; Japan, China, The Asiatic Islands and New Holland,
& South Sea Islands

新刊

【監修・解説】志渡岡理恵（実践女子大学）

2014年1月刊行 A6判・総約2,320頁（カラー図版102点） 本体セット価¥128,000-（＋税） ISBN 978-4-86166-185-3

ドイツから移民したルドルフ・アッカーマン（Rudolf Ackermann, 1764-1834）が1796年にロンドンに創立したアッカーマン社は、*The Microcosm of London* (3 volumes, 1808?1811), *Westminster Abbey* (2 volumes, 1812) など彩色版画入りの大型絵入り本や、絵入り雑誌 *Repository of Arts, Literature, Fashions* (1809-1829) で知られる、19世紀の初めの英国を代表する書肆です。なかでも *Repository of Arts* の編集者で、自身イラストレーターでもあったフレデリック・ショバル（Frederic Shoberl, 1775-1853）の編著で刊行した *The World in Miniature* (43 volumes, 1821-6) は、世界各地の地理、文化、風習、服飾などをカラー図版入りで紹介し大成功したシリーズです。文字通り一般読者向けの小型本として製作され、海外に目を向け始めたヴィクトリア期直前の英国近代市民の間で人気を博し、6年間に全43巻が刊行されました。

本集では、この *The World in Miniature* シリーズのなかの、日本（全1巻）、中国（全2巻）、フィリピン、インドネシアなど東南アジア地域（全2巻）、ハワイやニュージーランドを含むミクロネシア・ポリネシア地域（全2巻）の計7巻を100点以上の彩色図版とともに復刻するものです。伝聞や想像をもとに著された18世紀の書物の中にある記述とは異なり、この地域を旅し、滞在した西洋人の旅行記などから「事実」を抽出した編集を試みてはいますが、まだそこには多くの誤解や先入観の入ったアジア像が見出されます。産業革命や交通の近代化とともに世界が小さくなりだしたこの時代を象徴する本書は、英国や西洋に日本やアジアの国々がどのように映っていたのかを視覚的にも認識させてくれる興味深い資料です。

●収録内容●

Volume 1:

Japan: containing illustrations of the character, manners, customs, religion, dress, amusements, commerce, agriculture, etc. of the people of that empire

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, 1823

c. 348 pp. incl. 20 colour plates

Contents: Japanese Islands / Persons of the Japanese / Form of Government / The Dairi, or Spiritual Emperor / Dress of Both Sexes / Houses and Furniture / Marriage / Japanese Language / State of the Roads, Modes of Travelling / Public Festivals and Amusements / Agriculture / Fisheries / Foreigners / Islands of Yesso and Sagaleen, etc.

Volume 2-3:

China: containing illustrations of the manners, customs, character, and costumes of the people of the Empire

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1823]

v. 1: c. 275 pp. incl. 15 colour plates

v. 2: c. 304 pp. incl. 15 colour plates

Contents: Mandarin / A Lady of Distinction / Imperial Sedan-Bearer / A Female Bonze / A Watchman / A Matchlock Soldier / An Infantry Soldier / Juggler / A Chinese with Umbrella / Confectioner / Seamstress / Waterman / Itinerant Fruit-Seller / Fruit Stall / A Bookseller's Stall / An Itinerant Flower-Seller / Pedlar / Dog-Seller / Fisherman / Countryman with a Cloak of Rice Straw / Barber / Viper-Seller / Pigeon-Seller / Puppet-Show / The Miao-Tse

/ Chinese Mahometans / Eleuth Tartar / Corean Mandarin / Filial Respect of the Chinese / Mourning / Funeral, etc.

Volume 4-5:

The Asiatic islands and New Holland: being a description of the manners, customs, character, and state of society of the various tribes by which they are inhabited

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1824]

v. 1: c. 338 pp. incl. 14 colour plates

v. 2: c. 324 pp. incl. 12 colour plates

Contents: The Philippine Islands / The Marian Islands / Sumatra / Engano / The Nassau or Poggis Islands / Poulo Nias / Nicoabar Islands / The Andaman Islands / Java / Bali / Timor / Savu / Rottie / Ombay / Borneo / Celebes / Amboyna / Rawak / Waigioo / New Guinea / New Holland / Van Diemen's Land

Volume 6-7:

South Sea Islands: being a description of the manners, customs, character, religion, and state of society among the various tribes scattered over the Great Ocean, called the Pacific, or the South Sea

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1824]

v. 1: c. 362 pp. incl. 11 colour plates

v. 2: c. 362 pp. incl. 15 colour plates

Contents: The Friendly Islands / Sandwich Islands / The Marquesas / Easter Island / Society Islands / The Feejee Islands / New Zealand / Radack Islands / The Caroline Islands / New Caledonia / The New Hebrides / Pitcairn's Island

ジョサイア・コンダー編

世界旅行者大全 【復刻版】全30巻 / 全5回配本

The Modern Traveller

A Description, Geographical, Historical, and Topographical, of the Various Countries of the Globe

By Josiah Conder

底本：London: James Duncan, 1830 (2nd edition) [1st edition 1825-1829]

監修・解説：原田範行（東京女子大学教授）

ヴィクトリア期直前の『大英帝国』が語った世界

- 19世紀前期の英国で、The Eclectic Review や The Patriot 紙の編集者として活躍していたジョサイア・コンダー（鹿鳴館の建築などで著名なコンドルの祖父）が、自ら執筆・編集した世界旅行ガイド全30巻を、多くの図版、折り込み地図を含め完全復刻。
- 蒸気機関の発明による交通革命時代の直前、1825年から数年にわたり出版された本書は、それまでに多く出版されていた空想的な外国旅行記や航海記の内容とは一線を画し、地球が小さくなり始めていたこの時代の旅行者や一般読者に、最新の客観的情報を出来る限り広く提供する方針で、中東諸国、アジア、アフリカ、南北アメリカなどを旅する際に有用な、各国の地理、歴史、政治状況、文化、風習、そして主要都市や旅行ルートに沿った名所旧跡、景勝地などを詳細に解説。携帯可能なポケット版で刊行された。（今回の復刻では約20%拡大しB6判にて復刻。）
- 18世紀の旅行・紀行記の出版スタイルを残しつつも、本書より約10年後に刊行が始まるマレーの旅行ハンドブックなど、今日につながる各国別の旅行ガイドを予感させる出版物で、近代ツーリズム史の研究にはもちろん、19世紀英国文化研究資料としても貴重な文献。
- 各配本毎に監修者による解説（英文および和文）付。



世界旅行記、もしくはヴィクトリア朝覇権戦略の情報源—ジョサイア・コンダー編『世界旅行者大全』の魅力— 原田範行（東京女子大学教授）

ジョサイア・コンダー編『世界旅行者大全』は、1825年から29年にかけて、十二折本全30巻として刊行された。「世界各国の地理、歴史、地誌に関する記述」という副題が示す通り、対象はヨーロッパから中東、アジア、アフリカ、南北アメリカに及び、まさしく世界旅行者のためのポケット版必携書となっている。今回復刻刊行されるのは、地図や図版なども整備されたその第二版（1830年刊）で、原本は初版と同じく十二折本であったが、読みやすさを考え、20%ほど拡大したB6判となっている。

『世界旅行者大全』の魅力は、何といても、その記述が詳細で、各国の地理・歴史のみならず、名所・旧跡や景勝地、そしてそれらを結ぶ旅行ルートの解説まで懇切丁寧になされているということである。その情報は、今日でも少なからず役に立つ。だが、それにも増して魅力的なのは、この詳細な記述こそ、1830年の、すなわちヴィクトリア朝をむかえる直前の「大英帝国」が有した世界各地の情報を如実に反映したものであるということだ。それは、この帝国がその後世界中に覇権を展開していくための橋頭堡でもあったと言えるだろう。大英帝国がそれぞれの国をどう捉えていたのか、それがはっきりと分かるのである。

著述と編纂は、ジョサイア・コンダーという一人の精力的な文筆家によってなされた。『パトリオット』をはじめとする雑誌編集や讃美歌作者としても知られるが、イギリスにおける反奴隷制運動の中心的な人物の一人でもあった。鹿鳴館建築で有名な同名の「コンドル」は、彼の孫にあたる。興味深いことに、この『大全』には、実は重要な二つの地域が抜けている。オセアニアと、そして『ガリヴァー旅行記』のような100年前のフィクションにさえ登場する日本だ。その不在の理由をあれこれ詮索してみるだけでも実に楽しい。それだけ『大全』としての完成度が高いのである。

The Modern Traveller – シリーズ既刊**第1回配本：中東諸国編 全6巻+別冊解説（英文・和文）****Part 1: Palestine, Syria, Asia Minor, Egypt, Nubia, & Abyssinia**

2012年3月刊行 総約頁2,300頁 ISBN 978-4-902454-67-3

本体セット価¥88,000-（+税）[全巻継続注文特価¥74,000-（本体）] ★特価継続予約注文承り中★

【第1回配本 各巻内容】

Vol. 1: 『パレスチナ』 Palestine, c. 382 p.

Vol. 4: 『アラブ諸国』 Arabia, c. 372 p.

Vol. 2: 『シリア』 Syria 1, c. 360 p.

Vol. 5: 『エジプト』 Egypt 1, c. 374 p.

Vol. 3: 『シリア & 小アジア地域』 Syria 2 & Asia Minor, c. 370 p.

Vol. 6: 『エジプト、ヌビア & アビシニア』 Egypt 2, Nubia & Abyssinia, c. 376 p.

第2回配本：インド、ビルマ、ペルシャ、中国 全7巻+別冊解説（英文・和文）**Part 2: India, Birmah, Persia, & China**

2013年2月刊行 総約2,700頁（図版25点、折込地図4点） ISBN: 978-4-902454-68-0

本体セット価¥88,000-（+税）[全巻継続注文特価¥74,000-（本体）] ★特価継続予約注文承り中★

- 第2回配本は、インドおよびビルマ、ペルシャ、中国を対象に、英国の一般読者へ向けてこの時代の「最新情報」を紹介。
- 特に支配力を強めていたインドには4巻を費やし、ヴィクトリア朝直前の英国人のインド像を語る文献としても重要資料。

【第2回配本 各巻内容】

Vol. 7-10: 『インド』 India c.1,545 pp.

Vol. 12: 『ペルシャ』 Persia 1, c. 376 p.

Vol. 11: 『ビルマ』 Birmah, c. 387 pp.

Vol. 13 『ペルシャ、中国』 Persia 2 & China, c. 356 p.

第3回配本：トルコ、ギリシャ、ロシア、スペイン、ポルトガル**全6巻+別冊解説（英文・和文）****Part 3: Turkey, Greece, Russia, Spain, & Portugal**

2014年3月刊行 総約頁2,200頁（図版約20点、折込地図3点） ISBN: 978-4-902454-69-7

本体セット価¥88,000- / 全巻継続注文特価¥74,000-（本体） ★特価継続予約注文承り中★

- 第3回配本は西側諸国とイスラム圏の接点であった5地域を中心に6巻を復刻。帝国主義の時代に、さまざまな国際紛争の舞台となるこれらの地域への、19世紀初期の英国人の関心や理解を探る資料としても貴重な文献。

【第3回配本 各巻収録地域】

Vol. 14: 『トルコ』 Turkey, c. 368 p.

Vol. 17: 『ロシア』 Russia, c. 348 p.

Vol. 15: 『ギリシャ①』 Greece 1 & The Morea, c. 382 p.

Vol. 18: 『スペイン①』 Spain 1, c. 379 p.

Vol. 16: 『ギリシャ②』 Greece 2 (The Morea & Hellas), c. 352 p.

Vol. 19: 『スペイン②およびポルトガル』 Spain 2 & Portugal, c. 352 p.

第4回配本：『アフリカ、北米』全5巻+別冊解説**新刊****Part 4: Africa & North America, c.1,820 p. (incl. 16 plates & 3 folded maps)**

2015年6月刊行 / ISBN: 978-4-902454-70-3

本体セット価¥88,000- / 全巻継続注文特価¥74,000-（本体） ★特価継続予約注文承り中★

Vol. 20: Africa 1, c. 384 p. / Vol. 21: Africa 2, c. 364 p. / Vol. 22: Africa 3, c. 336 p. / Vol. 23: North America 1, c. 383 p. /

Vol. 24: North America 2, c. 342 p.

今後の配本予定（各配本とも 本体セット予価¥88,000- / 全巻継続注文特価 本体¥74,000-）**第5回配本『中南米、南米』全6巻+別冊解説****Part 5: Mexico, Guatemala, Colombia, Peru, Brazil & Buenos Ayres, c. 2,170 p. (incl. 19 plates & 4 maps)**

2016年6月刊行予定 / ISBN: 978-4-902454-71-0

Vol. 25: Mexico 1, c. 382 p. / Vol. 26: Mexico 2 & Guatemala, c. 332 p. / Vol. 27: Colombia, c. 366 p. /

Vol. 28: Peru, c. 372 p. / Vol. 29: Brazil 1, c. 358 pp. / Vol. 30: Brazil 2 & Buenos Ayres, c. 354 p.

1862年国際博覧会（第2回ロンドン万国博覧会）資料総覧

～公式図解カタログと『絵入り家庭新聞』国際博覧会特集～ 【復刻版】全5巻＋別冊解説

The International Exhibition of 1862, London:

Official Illustrated Catalogue & Cassell's Illustrated Family Paper Exhibitor

【監修・解説】松村昌家（大手前大学名誉教授）

新刊

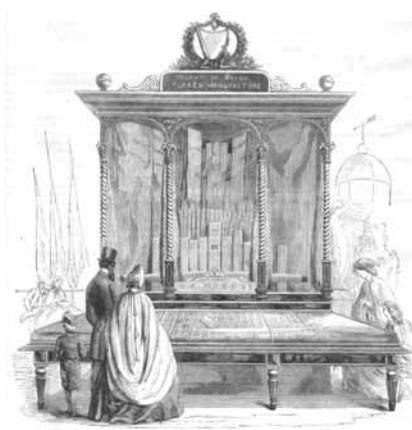
2014年2月刊行 本体セット価¥168,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-82-6

総約3,400頁（全5巻＋別冊）折込地図・図版（一部カラー）多数／判型：B5判（第1-4巻）、A4判（第5巻）

1862年にロンドンで開催された国際博覧会（第2回ロンドン万国博覧会）は、アルバード公死去翌年の開催だったこともあり、水晶宮で行われた第1回ほど華やかさに欠けてはいましたが、世界各地より39か国が参加、1862年5月から半年間に610万人が来場し、会場のスペース含めその規模において第1回ロンドン万博を上回るものでした。クリミア戦争や植民地インドでの反乱などを経験した英国でのこの万博は、大英帝国の国家主義が強く打ち出され、軍需産品や最新の工業製品が広く展示されましたが、また同時に、植民地各地の展示やライバルのパリ万博を意識した美術・工芸品の展示にも大きなスペースを割り、ヴィクトリア中期の大英帝国や世界の最先端の科学・技術、文化・芸術が結集した歴史的なイベントでした。

幕末の日本からは、正式な出展はなかったものの、初代駐日英国公使ラザフォード・オールコックが自身の日本美術品のコレクションを多数出品し、イギリスのジャポニスム・ブームに火をつけることになりました。また、開港延期の交渉に幕府より派遣されていた文久遣欧使節はこの万博の開会式に賓客として出席しましたが、使節団の中には福澤諭吉、福地源一郎も含まれており、彼らがアームストロング砲など西洋の最新兵器や技術に大きな刺激を受けたことは想像に難くありません。

今回の復刻資料集には、第1回ロンドン万博から第2回万博に至る歴史などの解説を含む英国展図入り目録全2巻に、植民地や海外各国の目録各種をまとめ全4巻で刊行された公式資料集に、キャッセル社が発行した『絵入り家庭新聞』の国際博覧会特集を加え全5巻にて出版いたします。いずれも初めて復刻される資料です。博覧会史、ヴィクトリア朝研究、大英帝国史、日英交流史などから産業史、社会経済史研究まで、分野を超えてご利用いただける文献集です。



■ CONTENTS ■

Volume 1-4 : The Illustrated Catalogue of the International Exhibition of 1862, London, Printed for Her Majesty's Commissioners

Vol. 1 (c. 835 pp.): The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, British Division - Vol. I

Grand Plans of Building and of Galleries

A Concise History of the International Exhibition of 1862

Vol. 2 (c. 875 pp.): The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, British Division - Vol. II

Vol. 3 (c. 560 pp.): The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, Colonial and Foreign Divisions

Colonial Possessions: Australia, South / Australia, Western / Bahamas / Barbados / Bermuda / Borneo / British Columbia / Canada / Cape of Good Hope / Ceylon / Channel Islands (Jersey and Guernsey) / Dominica / Hounduras, British / Jamaica / Malta / Mauritius / Natal / New Brunswick / Newfoundland / New South Wales / New Zealand / Nova Scotia / Prince Edward's Island / Queensland / St. Helena / St. Vincent / Tasmania / Trinidad / Vancouvre / Victoria

A Classified and Descriptive Catalogue of the India Department

The Illustrated Catalogue of the International Exhibition, Foreign Division

Africa, Central / Africa, Western / Belgium / Brazil / China / Costa Rica / Denmark / Ecuador / France / France, Colonies of

Vol. 4 (c. 780 pp.): The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, Foreign Division

Germany: Austria at the International Exhibition of 1862

Hanse-Towns / Mecklenburg-Schwerin

Special Catalogue of the Zollverein-Department, First Division

Special Catalogue of the Zollverein-Department, Second Division

Greece / Hawaiian or Sandwich Islands / Hayti / Ioneian Islands / Italy / Japan / Liberia / Madagascar / Netherlands, The / Norway / Peru / Portugal / Rome / Russia / Siam / Spain / Sweden / Switzerland / Turkey / United States / Uruguay / Venezuela

Vol. 5 (c. 315 pp.): Cassell's Illustrated Family Paper Exhibitor - containing About Three Hundred Illustrations, with letter-press descriptions of all the principal objects in The International Exhibition of 1862, Published by Cassell, Peter, & Galpin, London, 1862

日英博覧会（1910年）－公式史料と関連文献集成－

【復刻集成版】 全11文献・合本6巻＋別冊解説（日本語）

The Japan-British Exhibition of 1910:

A Collection of Official Guidebooks and Miscellaneous Publications

監修・解説：松村昌家（大手前大学名誉教授）

2011年11月刊行 約3,500頁（折込地図、図版（一部カラー）多数） [判型] 第1-2巻：A5判／第3-6巻：A4判
本体セット価¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-75-8

20世紀初頭の英国に、近代日本と台湾、朝鮮、満州を紹介した最大級のイベント

- 1910年にロンドンにて開催された日英博覧会に関する、英文公式史料と博覧会に合わせて刊行された関連英文文献をを集成する初の本格的史料・文献集
- 英国や日本で刊行された英文による入場者向けガイドやカタログ、開催後に発表されたレポートに加え、この博覧会開催に合わせて刊行されたロンドン・タイムズ紙の日本関連記事集成、日本の英字新聞ジャパン・ガゼット社刊行の英国産業界向けの日本案内、政治家で英文通信社の経営にも携わっていた望月小太郎が、博覧会記念に出版した800頁を超える日本を宣伝用の大著『今日の日本』など、周辺の英文書も同時に復刻

●収録内容●

■ VOL. 1-3: OFFICIAL GUIDE, CATALOGUES & REPORT OF THE EXHIBITION

VOL. 1: *Japan-British Exhibition, 1910, Shepherd's Bush London, Official Guide*, 2nd ed. revised.

London: The Japan-British Exhibition British Commission, 1910, c. 185 pp. (fold maps & numerous plates, some in colour)
Japan-British Exhibition, 1910, Shepherd's Bush, London, Official Catalogue, 3rd ed.

London: The Japan-British Exhibition British Commission / Bemrose & Sons, 1910, c. 342 pp.

Imperial Geological Survey of Japan: with a Catalogue of Articles exhibited at the Japan-British Exhibition held at London, England in 1910, Tokyo: Imperial Geological Survey, 1910, c. 102 pp. c. 102 pp. (fold maps)

VOL. 2: *An Illustrated Catalogue of Japanese Old Fine Arts displayed at the Japan-British Exhibition, London, 1910.*

Tokyo: The Shimbi Shoin, 1910, c. 255 pp. (numerous plates)

An Illustrated Catalogue of Japanese Modern Fine Arts displayed at the Japan-British Exhibition, London, 1910.

Tokyo: The Shimbi Shoin, 1910, c. 181 pp. (numerous plates)

Kyoto, [Handbook] issued by Kyoto's Exhibitors' Association to the Japan-British Exhibition 1910.

Kyoto Exhibitors' Association, 1910, c. 160 pp. (plates some in colour)

VOL. 3: *Official Report of the Japan British Exhibition, 1910, at the Great White City, Shepherd's Bush, London*

London: Printed by Unwin Brothers, 1911, c. 559 pp. (numerous illustrations and a fold map)

■ VOL. 4-6: MISCELLANEOUS PUBLICATIONS RELATED TO THE EXHIBITION

VOL.4: *The Japanese Empire: A Reprint of the Times Japanese Edition, July 19, 1910*

London: J.P. Bland, 1910, c. 445 pp. (fold maps & numerous plates)

VOL. 5: *The World's Work, June 1910, a Japanese Number (The Alliance and the Empire / The Manchurian Railway /*

The Japan-British Exhibition), London: William Heineman, 1910, c. 110 pp. (plates)

Japan Alliance Exhibitional: to promote Anglo-Japanese Commerce

Yokohama: Japan Gazette, 1910, c. 239 pp. (fold map & numerous plates, some in colour)

VOL. 6: *Japan To-day; a Souvenir of the Anglo-Japanese Exhibition held in London 1910*

(a Special Number of the "Japan Financial and Economic Monthly"), by Kotaro Mochizuki.

Tokyo: "The Liberal News Agency", 1910, c. 892 pp (fold map & numerous plates, some in colour)

女性と医学教育：19～20世紀初頭英国文献集成

19文献・合本5巻＋日本語別冊解説

新刊

Women & Medical Education:

Collected Writings of Female Pioneers in the United Kingdom

【編集・解説】香川せつ子（西九州大学）

2014年2月刊行 A5判（図版白黒）総約2,600頁 本体セット価¥128,000-（＋税）ISBN 978-4-902454-80-2

- 19世紀に始まった英国での女性のための医学教育に関する基本文献18件の復刻資料集。
- 女性の医業進出への道を切り開き、後進の育成にも貢献したパイオニアたちの足跡を、同時代の雑誌記事、パンフレット、書籍で俯瞰する。
- 米英で最初の女性医師として活躍したエリザベス・ブラックウェル、女性への医業開放を推進したバーバラ・レイ・スミスやエミリー・デイヴィスなどのフェミニスト、ブラックウェルに次いで有資格医師となり女性医師の地位確立に貢献したエリザベス・ガレット・アンダースン、ロンドン女子医学校設立の立役者ソフィア・ジェックス・ブレイクなど約10名の女性の著作や同時代の伝記資料を収録。
- 英国における女性医学教育のメッカとされ、多数の女性医師を輩出したロンドン女子医学校の創立時の記録と、世界最初の女性医学カレッジである米国のペンシルバニア女子医学校の関連資料を併せて収録。
- 英領植民地インドでの女性医師の活動記録によって、大英帝国のなかの女性医師の活動と役割を通観、同時代における女性の医業と医学教育の全体像に迫る。
- 医学史、女性教育史の研究資料であるとともに、ヴィクトリア期のジェンダー研究にも重要な一次資料。

■収録文献■

VOL. 1: OPENING THE MEDICAL PROFESSION TO WOMEN

Introduction by Setsuko Kagawa

Barbara Leigh Smith, *Women and Work*, 1857.

Elizabeth Blackwell, *Medicine as a Profession for Women*, *English Woman's Journal*, Vol.V, pp.145-160, 1862.

Emily Davies, *Medicine as a Profession for Women*, 1862, in *Thoughts on Some Questions Relating to Women*, 1860-1908, pp. 34-40, 1910.

Frances Elizabeth Hoggan, *Women in Medicine*, in Theodore Stanton, ed., *The Woman Question in Europe*, pp.63-89, 1884.

Sophia Jex-Blake, *Medical Women : A Thesis and a History*, 1886.

Mary Scharlieb, *Women in Medical Profession*, *Historical Review*; An Address at the Women's Institute on January 25th, 1898, pp.1-16. Appendix pp.17-29, 1898.

VOL. 2: LIFE AND WORK OF FEMALE PIONEER EDUCATORS IN MEDICINE, Pt. 1

Elizabeth Blackwell, *Pioneer Work in Opening the Medical Profession to Women*, 1895.

Louise Garrett Anderson, *Elizabeth Garrett Anderson 1836-1917*, 1939.

VOL. 3: LIFE AND WORK OF FEMALE PIONEER EDUCATORS IN MEDICINE, Pt 2

Margaret Todd, *The Life of Sophia Jex-Blake*, 1918.

VOL. 4: FOUNDING MEDICAL SCHOOLS FOR WOMEN

Pechey-Phipson, Edith, *Inaugural Address: London School of Medicine for Women*, 1878.

Elizabeth Garrett Anderson, *The Student's Pocket Book: Arranged for Students of the London School of Medicine for Women*, 1878.

Mary Scharlieb, *Seven Lamps of Medicine: Inaugural Address delivered at the London School of Medicine for Women*, 1882.

Isabel Thone

Sketch of the Foundation and Development of the London School of Medicine for Women, 1915.

Ann Preston, *Introductory Lecture to the Class of the Female Medical College of Pennsylvania*, 1859.

Clara Marshall, *The Woman's Medical College of Pennsylvania: An Historical Outline*, 1897.

Mary Putnam Jacobi, *Woman in Medicine*, in Annie Nathan Meyer, ed., *Woman's Work in America*, 1891.

VOL. 5: FEMALE WORK IN MEDICINE IN COLONIAL INDIA

Frances Elizabeth Hoggan, *Medical Work for Women in India*, *Englishwoman's Review*, No. CXLIV, April 15th, 1885, pp.145-158 & No. CXLV, May 15th, 1885, pp. 194-200.

Mary Scharlieb, *Reminiscences*, 1924.

Margaret Balfour, Ruth Young & Dame Mary Scharlieb, *The Work of Medical Women in India*, 1929.

女性と身体教育：19～20世紀初頭英国文献集成

全18文献・合本5巻 + 別冊日本語解説

Women's Body, Health and Physical Education
in Nineteenth to Early Twentieth-century Britain

編集・解説：香川せつ子（西九州大学）

2011年11月刊行 A5判（図版白黒多数）・総約2,500頁 本体セット価¥128,000-（+税） ISBN 978-4-902454-74-1

本書の特色

- 19世紀前半～20世紀初頭英国における女性の身体教育問題を中心に、健康、スポーツなど周辺テーマに関する文献も網羅した復刻史料集。
- 女性のためのエクササイズ教本、学校での女子身体教育に関する手引き書、女子学生の健康調査に関する報告書、身体教育者のためのテキストなどに加え、テニス、ゴルフ、ホッケーなど近代スポーツの女性向けハンドブック等、同時代に英国で使われた実践書を中心に、入手の困難なパンフレットなども含む多様な文献18点を収録。多数の図版も含む。
- 女性教育史だけでなく、今日研究の広がっている「女性と身体」の問題についても、新たな研究の視座を提供する重要文献。
- 各巻テーマ別に編集され、編者による別冊日本語解説付。

■収録文献■

VOL. 1: CHANGING ATTITUDE TOWARD THE PHYSICAL HEALTH OF WOMEN

Preface by Setsuko Kagawa

Walker, Donald

Exercises for Ladies; calculated to Preserve and Improve Beauty and to Prevent and Correct Personal Defects, inseparable from Constrained or Careless Habits: Founded on Physiological Principles, London, 1836.

Hamilton, Gustave

The Elements of Gymnastics for Boys and of the Calisthenics for Young Ladies, London, 1840 (new ed.).

Wahl, Anne de

Practical Hints of the Moral, Mental and Physical Training of Girls at School, London, 1847.

VOL. 2: HEALTHFUL EXERCISES FOR WOMEN

Madam Brenner

Gymnastics for Ladies: A Treatise on the Science and Art of Calisthenics and Gymnastic Exercises, London, 1870.

Alexander, A.

Healthful Exercises for Girls, London, 1896 (5th ed. Revised).

Ely, C. M.

Physical Education: Ling's Swedish Drill adapted for Use of Schools, London, 1896.

James, Alice, R.

Girls' Physical Training: being a Series of Healthy and Artistic Movements to Music, London, 1898.

VOL. 3: PHYSICAL TRAINING FROM THE MEDICAL POINT OF VIEW

Blackwell, Elizabeth, M.D.

Laws of Life, with Special Reference to the Physical Education of Girls, New York, 1852 (published in London, 1859).

Galbraith, Anna M., M.D.

Personal Hygiene and Physical Training for Women, Philadelphia & London, 1916.

VOL. 4: HEALTH STATISTICS OF WOMEN STUDENTS AND PHYSICAL TRAINING FOR GIRLS

Howes, Annie

Health Statistics of Women College Graduates: Report of a Special Committee of the Association of Collegiate Alumnae, Boston, 1885.

Sidgiwick, Eleanor

Health Statistics of Women Students of Cambridge and Oxford and Their Sisters, Cambridge, 1890.

Malmesbury, Susan

Cycling for Women, Part III of 'Cycling' (pp.91-96 only), London, 1898.

Dove, Jane Frances

Cultivation of the Body, Section III of Work and Play in Girls' Schools, London, 1901.

Thomas, C. E. (ed.)

Athletic Training for Girls, London, 1912.

VOL. 5: MODERN SPORTS AND GAMES FOR WOMEN

Thompson, Edith

Hockey as a Game for Women, London, 1905 (2nd ed.).

Chamber, Dorothea Katherine Lambert

Lawn Tennis for Ladies, London, 1910.

Leitch, Cecil

Golf for Girls, London, 1911 (3rd revised ed.).

Bolton, Florence

Exercises for Women, New York & London, 1913 (2nd ed.).

女子学園小説

18～20世紀初頭英語圏作品復刻集成 38文献・全6巻

Girls' School Stories in English, 1749–1929

編集・解説：Kristine Moruzi, University of Alberta, Canada & Michelle J. Smith, University of Melbourne, Australia

2013年9月刊行 総約2,400頁 本体セット価¥118,000- (+税) ISBN 978-4-86166-180-8

英米文学研究、児童文化、女性史など様々な領域で関心の高まる、女子校を舞台とした小説の初の学術コレクションです。18世紀末に少女向けの道徳、宗教教育の一つの手段として英国で始まったこのジャンルの出版は、19世紀に入ると宗教色を薄め、学校生活のルール、理想的な女性像や女性間の友情の教えなど、その目的や題材も変化します。女性教育の中流層への拡大や女性の社会意識の向上したこの時代、少女や若い女性向けの小説として英国内で人気が高まると同時にその影響は海外へも広がり、アメリカを始めカナダ、オーストラリアなど大英帝国植民地でも多くのこの分野の小説が発表され、1920年代頃にそのピークを迎えたとされています。

本コレクションはこの女子学園小説の系譜を年代順に追うと同時に、各巻それぞれの時代に特徴的なテーマの代表作品と同テーマの小説の抜粋や女性誌に掲載された短編小説をまとめ、発表時のテキストそのままに復刻します。英国だけでなく、アメリカやオーストラリア、カナダなど大英帝国植民地の作品も含め計38点を収録、この文学ジャンルの全体像を提示いたします。編者の詳しい解説を入ります。

●収録文献 ●※太字タイトルは全テキスト、その他は抜粋を収録。

Vol. I: MORAL EDUCATION

1. Sarah Fielding. *The Governess, or The Little Female Academy*. Dublin: 1749.
2. Dorothy Kilner. *Anecdotes of a Boarding School; or, An Antidote to the Vices of Those Useful Seminaries. Vol. I and II., 1790.*
3. Emma Worboise. "Chapter V", "Chapter VI", "Chapter VII." *Grace Hamilton's Schooldays*, 1856.
4. Grace Stebbing. "Mademoiselle Makes Hot Coffee." *That Aggravating School-Girl*, 1885.
5. Elizabeth Westyn Timlow. "Where is Hester?" and "Mrs Conway." *A Nest of Girls, or Boarding-School Days*, 1901.
6. Ethel Hume Bennett. "Putting It Through." *Judy of York Hill*, 1922.

Vol. II: THE NEW GIRL

7. Anon. "Chapter III." *The Boarding School; or, Familiar Conversations Between a Governess and Her Pupils, Written for the Amusement and Instruction of Young Ladies*, 1823.
8. L.T. Meade. *Wild Kitty*. London: W & R Chambers, 1897. 364 pp.
9. Agnes Adams, "Vic and the Refugee." *Australasian Girl's Annual* (1916).
10. Pamela Hinkson. "Marie." *Collins' Schoolgirls Annual* [1923?].

Vol. III: UNRULY FEMININITY

11. Mary Hughes, *The Rebellious Schoolgirl*, 1821.
12. Edis Seale. "Our Plot." *Maggie's Mistake: A Schoolgirl's Story*, 1874.
13. Evelyn Sharp, *The Making of a Schoolgirl*, 1897.
14. Raymond Jacberns (Georgiana Mary Isabel Ash). *The Girls of Cromer Hall*, 1905.
15. L.L. Weedon. *Madcap Molly*, 1903.
16. Katherine Newlin. "Teddy vs. Theodora." *Australian Girl's Annual* (1910).
17. Lilian Turner. "The Girl from the Back-Blocks" and "In Ambush." *The Girl from the Backblocks*, 1914.

Vol. IV: DUTY AND RESPONSIBILITY

18. Juliana Ewing. "Chapter XIII," "Chapter XIV," "Chapter XV," "Chapter XVI," "Chapter XVII," and "Chapter XVIII." *Six to*

Sixteen: A Story for Girls. (1874). London: George Bell, 1886.

19. Angela Brazil. "The School Union." *The Patriotic Schoolgirl*, 1918.
20. Elsie Jeanette Oxenham, *The Abbey Girls*, 1920.
21. Margaret C. Field. "Out of Bounds." *Australian Girls Annual* (1925).
22. Jean Ashley. "A True Sport." *Our Girl's Annual 2* (1928).
23. Ethel Talbot. "A Guide and a Ghost." *Girl Guide Stories*, 1929.

Vol. V: FRIENDSHIP AND FUN

24. Anon. Little Pansy: *A Story of the School Life of a Minister's Orphan Daughter*, 1864.
25. Isabella Fyvie Mayo. "Aunt Winifred's Friends." *Routledge Every Girl's Annual I*(1881).
26. Louise Mack. *Teens: A Story of Australian Schoolgirls*. Sydney: Angus & Robertson, 1897. 266 pp.
27. Jessie Graham Flower. "The Accident of Friendships." *Grace Harlowe's Plebe Year at High School*. Philadelphia: Henry Altemus, 1910. 7-18. 12 pp.
28. Marjorie Stanton, "The Girl Who Kept to Herself." *Schoolgirls Own Annual I*(1923): 195-223. 29 pp.
29. Constance Mackness. "The Annual Dance." *The Glad School*. Sydney: Cornstalk Publishing, 1927. 125-34. 10 pp.
30. Mary Bourchier Sanford. "The Merry Maids of Meridel: A Story of Canadian School Life." *Schoolgirls Story Bumper*. ND, NP. 41 pp.

Vol. VI: HIGHER EDUCATION AND WOMEN'S RIGHTS

31. SOLA (Olive San Louie Anderson). *An American Girl and Her Four Years in a Boys' College*, 1878.
32. L.T. Meade. "Going Out in the World," "Why Priscilla Peel Went to St. Benet's," "College Life," "Two Extremes," and "Come and Kill the Bogie." *A Sweet Girl Graduate*, 1891.
33. Abbe Carter Goodloe. "Revenge." *College Girls*, 1895.
34. Grace Stebbing. "The New Woman." *Young Woman 4* (1896).
35. L. Elliott. "Woman's Suffrage at St. Austin's." *Girl's Realm 14* (1912)
36. Florence Bone. "The Blues and the Purples." *Margot's Secret, or, The Fourth Form at Victoria College*, 1911.
37. Jean Webster. "The Virgil Strike." *Just Patty*, 1911.
38. Beatrice Embree. "Jill at Work and Play." *The Girls of Miss Clevelands'*, 1920.

ヴィクトリア期女性の「美とファッション」

—同時代文献復刻集成— 29 文献・合本全 6 巻

Women, Beauty & Fashion

Edited by Monika Pietrzak-Franger (University of Siegen, Germany)

2014 年 1 月刊行 総約 2,000 頁 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-178-5

新刊

女性の「美とファッション」というテーマは、女性の身体性の変遷といった視点からだけでなく、文化史学や美学における「理想とする女性の美しさ」、社会経済史や産業史における「ファッション産業とその消費者としての女性」、医学史における「健康と身体美」、そして教育史での「女性の身体教育」など、異なる分野で極めて広範に研究が展開されています。本資料集は、女性の社会進出とともに女性の美しさとファッションの概念が大きく変わっていった英国 19 世紀～20 世紀初頭を対象に、この時代出版された多様な立場の著者による文献を幅広く収録、本テーマへの横断的なアプローチを可能にすることを目的に編集される復刻文献集です。

全体を“Personal Beauty and Care”、“Beauty, Fashion and Health”、“Beauty Education and Self-Management”という 3 つの大項目に分類し、各テーマ年代順に文献を配列することにより、参政権運動など女性史に沿いながら、それぞれの時代の女性の美やファッションに対する意識や社会通念の変化を、同時代の文献で追ってゆきます。

今まで紹介されたことのないパンフレットや稀覯書を多数含み、女性史だけでなく、家政学（服飾史）、教育史（女性教育）から経済史、文学・文化史研究にいたるまで、非常に有用な一次資料集です。



CONTENTS

Volume 1: Personal Beauty and Care

Volume II: Personal Beauty and Care (continued)

Volume III: Personal Beauty and Care (continued)

Volume IV: Beauty, Fashion and Health

Part 1: Beauty vs. Fashion

Part 2: Corsetry

Volume V: Beauty, Fashion and Health (continued)

Part 3: Dress Reform

Volume VI: Beauty Education and Self-Management

Part 1: Beauty and (Physical) Education

Part 2: Self-Management, Economy and Women Consumer



ボーイスカウトとガールスカウト運動の誕生

第1回：英国の初期文献・資料集成 全4巻＋別冊

Boy Scouts and Girl Guides in the UK – A Collection of Early Sources

編集・解説 藤本茂生（帝塚山大学教授）

(The Foundation of Boy & Girl Scout Movements, Series 1)

2012年6月刊行 B5判・約1,550頁 本体セット価¥78,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-76-5

- 20世紀初頭の英国で始まり、米国や日本を含む世界へと国境を越えて広がったボーイスカウト、ガールスカウト（ガールガイド）運動の成立と初期の活動史を、同時代文献でまとめるシリーズ第1回配本。
- 初回配本では英国の文献全4点を復刻集成し、第2回配本で米国の資料をまとめる。
- 運動の創始者ロバート・ベーデン-パウエル自身が執筆し6分冊で刊行した『スカウティング・フォア・ボーイズ』と題するボーイスカウト最初のハンドブック、ベーデン-パウエルが妹アグネスと共著し『少女はいかにして帝国の建設を助け得るか』という副題をもつガールスカウト最初のハンドブック、そして英国ボーイスカウト、ガールガイドそれぞれの連盟が公式な活動史として出版した二つの著作を収録。
- イラスト、写真等も含め原著を忠実に復刻。
- 編者の解説（日本語）に加え、日本のボーイスカウト運動の始まりを英文で紹介した戦前の稀覯なパンフレットを付録。
- 英米児童文化・教育史の資料としてだけでなく、国境を越えたグローバルな観点から、20世紀初頭の子どもと革新主義・帝国主義の関係、少年向けと少女向けの資料の対比からのジェンダー史研究、児童教育と環境保護との関係等々、今日の多様な研究テーマのための一次文献として活用可能。

◆収録文献◆

VOL. 1:

Preface by Shigeo Fujimoto

Baden-Powell, Robert

Scouting for Boys: A Handbook for Instruction in Good Citizenship, Part I-VI

London: Horace Cox, 1908, c. 425 pp.

VOL. 2:

Baden-Powell, Agnes, and Robert Baden-Powell

The Handbook for Girl Guides, or How Girls Can Help to Build the Empire

London: The Girl Guides Association, 1912, c. 475 pp.

VOL. 3:

Wade, Eileen Kirkpatric

Twenty-One Years of Scouting:

The Official History of the Boy Scout Movement from Its Inception

London: C. Arthur Pearson Ltd., 1929, c. 345 pp.

VOL. 4:

Kerr, Rose

The Story of the Girl Guides

London: The Girl Guides Association, 1932, c. 300 pp.

別冊：－解説（藤本茂生）

－大日本少年團聯盟編（Dai Nippon Shonendan Renmei, ed）

Scouting in Japan for Fifteen Years

Imperial Headquarters of Boy Scouts of Japan, 1937, c. 15pp.

－The Boy Scouts, Chapter CCLIII of *The Times History and*

Encyclopaedia of the War

London: The Times Publishing Company, 1918, c. 38pp.



●続刊●●●●

ボーイスカウトとガールスカウト運動の誕生

第2回：米国の初期文献・資料集成

全4巻＋別冊

編集・解説：藤本茂生（帝塚山大学教授）

Boys and Girl Scouts in the USA -

A Collection of Early Sources

The Foundation of Boy & Girl Scout Movements, Series 2

2015年4月刊行 本体セット価¥98,000-

ISBN 978-4-902454-77-2

ヴィクトリア時代女性のための大衆小説誌

プリンセス・ノヴェレット【復刻版】 全6巻＋別冊解説

The Princess's Novelettes, Complete Story, Vol. 1-6 (March 1886 - January 1888)

Edited by Edwin J. Brett

【監修・解説】川端有子（日本女子大学） / 【協力】村上リコ

近刊

2016年刊行予定 A4判・全約2,550頁 本体セット予価¥138,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-84-0

- 労働者階級の少年向けの週刊誌 *Boys of England* を成功させた編集者 Edwin J. Brett が1886年に創刊、自ら編集した女性向けの大衆小説週刊誌。
- 第955号（1904年）まで刊行が続けられたペニー・マガジンで、本復刻では創刊号より約3年分（全6巻）の全号を収録する。
- 各号16頁は読み切りの小説1点と号末の王室やセレブリティーに関する短いゴシップ記事からなり、イラストも数多く掲載されている。
- 内容はほとんどがロマンティックな恋愛物語で、その後の少女向け大衆小説、今日のハーレクイン・ロマンスやライト・ノベルの系譜につながる。
- 比較的資料の揃っているヴィクトリア時代の中流階級の女性向け出版物に対し、同時代の資料がわずかに散在するだけで研究の対象になりにくかった女性向け大衆誌を復刻し、この時代の労働者階級の女性の読書体験や生活史研究の一次文献として提供する。
- 原本は国内外図書館の所蔵もほとんどない極めて入手の困難な文献で、英国19世紀女性史、女性文学、児童文学の資料として大変貴重。



■各巻収録年号■

Vol. 1: March 9, 1886 - August 31, 1886 (Vol. I # 1-26, incl. A Summer Number), 432 pp.

Vol. 2: September 7, 1886 - February 22, 1887 (Vol. II # 27-51, incl. A Christmas Number), 416 pp.

Vol. 3: March 1, 1887 - August 9, 1887 (Vol. III # 52-75, incl. A Summer Number), 416 pp.

Vol. 4: August 16, 1887 - January 31, 1888 (Vol. IV # 76-100, incl. A Christmas Number), 416 pp.

Vol. 5: February 7 - July 24, 1888 (Vol. V # 101-125, incl. A Summer Number), 416 pp.

Vol. 6: July 31, 1888 - January 22, 1889 (Vol. VI # 126 - 151, incl. A Christmas Number), 432 pp.

監修者の言葉

川端有子（日本女子大学）

『プリンセス・ノヴェレット』(*The Princess's Novelettes*)という雑誌は、エドウィン・J・ブレット (Edwin J. Brett 1827-95) が1886年から刊行し、労働者階級から中流階級の若い女性に非常に人気のあった短編小説を載せた週刊誌である。この雑誌の所在は、たとえば労働者階級の女性の手記や日記などから、題名は知られているが、今までほとんど研究されたことも、内容が吟味されたこともなかった。なぜなら、全世界でこの雑誌を一部でも所蔵しているのは十館程度の図書館にすぎず、大英図書館においてすら全巻を保存はしていないからである。国内の図書館ではまったく所蔵が確認されていない。

また、エドウィン・ブレットはもっぱら研究者の間で、少年読み物の編集者として知られている。彼は、「ペニードレッドフル」を刊行して、スリルとサスペンス、ホラーと冒険で少年たちを魅了し、また絶大な人気を誇っていた、宗教叢書協会発行の『ボーイズ・オウン・ペーパー』(*The Boy's Own Paper*, 1879-1967)の向こうをはった『英国の少年たち』(*The Boys of England*, 1866-99)の編集者として有名であり、二十一種類の少年向け読み物新聞を手がけたことは、つとに知られているが、少女向けの出版に手を染めていたことは、どの研究書や解説を見ても明らかにされていない。

この女性向けの読み物新聞は、おもに上流階級の世界を舞台にしたロマンスや、ロマンティックなミステリーなど、短編小説を一号につき一篇と、ちょっとしたゴシップ記事を一面載せ、一ペニーで売り出されており、そんな華やかな上流の生活とは無縁の、都会の女店員やメイドなどに広く愛読されていたようである。安価なわりには豊富な挿絵の質がかなり高く、ブレットは、若い女性読者を惹きつけるこつもよく知り抜いていたように思われる。

この雑誌の初期の巻の復刻により、今まで「中流階級でない」ため、「若い女性」向けであるため、二重に周縁化されて研究が進んでいなかった層への、ヴィクトリア朝文化研究のすそ野の広がりが、大いに期待される。

英領インドと女性

18～20世紀初頭の一次史資料集成 全5巻

Women in Colonial India: Historical Documents and Sources

編集&解説：Pramod K. Nayar, University of Hyderabad, India

2013年9月刊行 総約2,000頁 本体セット価：¥128,000-（+税） ISBN: 978-4-86166-179-2

エディション・シナプスでは『女性と大英帝国 - Women & Empire』、『帝国史の中の子ども - Children & Empire』など、帝国主義に関する同時代資料のテーマ別復刻集をまとめてまいりましたが、本コレクションは「英領インドと女性」に関する文献集です。

英国の支配が強まった18世紀から大英帝国のなかで植民地化の進む19世紀のインドには、数多くの英国人女性が滞在します。外交官、商人の妻として同地に居住または旅する女性、宣教、教育、医療などの職業に携わり、インドに新たな世界を求め移住する者、その目的は様々ですが、既に女性教育が進み知的水準も高かったこれらの女性の多くは、近代的な女性の意識で植民地インドにおける女性の諸問題に関わり、新聞・雑誌等のメディアで報告や問題提起を行います。本書はこれら同時代の文献約180点の史資料を集め復刻するもので、英国や植民地インドで刊行された英文資料を中心に、雑誌、新聞、パンフレットなどの記事を各巻テーマ別に編集、編者の解説を付します。

教育、健康、結婚といった一般的なテーマと合わせ、女児殺し (Female infanticide)、サティー (寡婦焚死) といったインドにおけるジェンダーの問題に真っ向から取り組んだ多数の文献も収録、女性による著述と同時にに関する男性側からの主張も併録し、この時代のインドの女性問題の全体像を俯瞰できるよう配慮しています。

今日も解決できていない深刻なテーマを含む本資料集は、大英帝国史、インド女性史等歴史研究の史資料としてだけでなく、現在のジェンダー研究や現代インド研究者の方々も是非ご活用ください。

◆収録文献の一部◆

Volume 1: The Woman Question

Preface / A Note on the Texts / Acknowledgements / Introduction

'Account of the Zenana of an Asiatic Chief', The Edinburgh Magazine, or Literary Miscellany (Nov. 1789)

'Description of Tippoo Sultaun's Zenana', The Weekly Entertainer (16 Dec. 1799)

'Nautch-Girls', Calcutta Journal 20 October 1819, Selections from the Indian Journals. Vol. I: Calcutta Journal. Calcutta: Firma KL Mukhopadhyay, 1963

Review of WB Hockley's The Zenana, The Oriental Herald and Journal of General Literature (Jun. 1827)

Emma Roberts, from Scenes and Characteristics of Hindoostan, London: WH Allen, 1835.

+その他 計49文献

Volume 2: Female Infanticide

Edward Moor, from Hindu Infanticide (1811)

John Cormack, 'Manner of Destroying Female Infants', 'Difficulties Experienced by Colonel Walker ... in the Abolition of Female Infanticide'

Review of John Cormack's Account of the Abolition of Female Infanticide in Guzerat, The Literary Panorama (May 1815)

'Female Infanticide', from, Selections from the Indian Journals. Vol. II: Calcutta Journal. 1965

'Female Infanticide', The Literary Examiner (Oct. 1823)

+その他 計16文献

Volume 3: Sati

JZ Holwell, from Interesting Historical Events, Relative to the Provinces of Bengal and the Empire of Indostan, Part II, London: T. Becket and PA De Hondt (1767)

John Wilson, 'The Custom of Women Burning themselves with their

Husbands Still Practised in India', The Weekly Miscellany (19 Jan 1778)

'Narrative of an Hindoo Woman, who lately Burnt herself on the Funeral Pile of her Husband', The Weekly Entertainer (25 June 1804)

'Account of an Indian Woman Burning Herself', Scots Magazine and Edinburgh Literary Miscellany (Mar 1809)

'Burning of Widows', 'Horrible Human Sacrifice', 'Another Sacrifice', 'Prevented Sacrifice' from, Selections from the Indian Journals. Vol. I 1963

+その他 計25文献

Volume 4: Education

'Native Female Education', Calcutta Gazette 2 May 1825. From, Anil Chandra Das compiled and edited, The Days of John Company: Selections from the Calcutta Gazette 1824-1832.

'Female Education', The Friend of India (27 July 1837)

Priscilla Chapman, from Hindoo Female Education (1839)

'Native Female Education': Review of Alexander Duff's The Life and Happy Death of Charlotte Green, Calcutta Review 25 (1855)

Mary Carpenter, On Female Education in India. London: WW Head, 1868

+その他 計31文献

Volume 5: Health and Marriage

'Marriage of Hindoo Widows', The Friend of India (7 Dec. 1837)

'Parsi Marriages', from, Erskine Perry, Cases Illustrative of Oriental Life, 1853

'Indian Marriage Ceremonies', The London Journal (11 Aug. 1860)

'Indian Marriage Customs', The London Reader (13 Jun. 1863), 156-7.

WJ Elmslie, 'On Female Medical Missions to India', The Indian Female Evangelist 1.5 (Jan. 1873)

+ その他 計60文献 (全5巻計180文献)

※詳細は⇒ <http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-179-2.html>

ヴィクトリア朝文化研究の主要テーマに関する同時代文献を集成する新シリーズ

『ヴィクトリアン・コンセプト』第 1 回配本

スピリチュアリズムと近代社会

～英米スピリチュアリスト文献集成 全 4 巻

Spiritualism and Anglo-American Society, 1840-1930

新刊

(New Series “Victorian Concepts” Series I)

Edited and introduced by Patricia Pulham, Univ. of Portsmouth, Christine Ferguson, Univ. of Glasgow, Rosario Arias, Univ. of Málaga, Spain & Tatiana Kontou, Univ. of Sussex

2014 年 1 月刊行 約 1,600pp. 本体セット価 ¥98,000- (+税) ISBN 978-4-86166-177-8

ヴィクトリア朝研究は文学、思想、歴史、経済、科学など他領域間での複合研究がテーマ別に進んでいますが、2013 年より刊行が始まる新シリーズ『ヴィクトリアン・コンセプト』は、今日特に関心を集めるトピック毎に、同時代の雑誌記事やパンフレットを中心に資料を編集する一次文献集です。書籍、論文集などからの抜粋も加え、可能な限り復刻にて収録し詳細な解説および索引を付します。英国の文献だけでなく、米国や英国植民地での関連出版物も対象とし、該当のテーマ研究や教育には必要不可欠なシリーズとして継続出版する予定です。

第 1 回は、スピリチュアリズムの文献集です。近代科学や進化論の普及する 19 世紀英国の社会の一方で広がった、魂の不死を信じそれを証明しようとするこの主義・思潮は、宗教家、思想家だけでなく作家、文学者から精神医学者、心理学者など科学者をも巻き込んでゆきました。20 世紀にいたるまで社会の様々な側面に影響を与え続けたスピリチュアリズムは、英国文化研究の大きな主題の一つで、これまでも資料集はいくつか編集されています。それら資料集の大部分が「スピリチュアリズムに関する」資料集であるのに対し、今回のコレクションは 19 世紀～20 世紀初頭のスピリチュアリズムの実践家やその信奉者の著述を中心に選択され、より直接的なヴィクトリア朝スピリチュアリズムへのアプローチを可能にするものです。70 点近い資料を「人間（人種と優生学）」、「文学」、「科学・技術」という 3 つの分野に大別し 3 巻に収録、さらにこの時代の反スピリチュアリストによる文献を 1 巻にまとめ加えます。各巻に編者の解説が書き下ろされ、最終巻末には索引を備えます。

シリーズ続刊では「デカダンス」、「子どものための演劇」などのテーマの一次資料集が予定されております。

【収録内容】

Volume 1: Spiritualism: Health, Race, and Human Variation
Edited by Christine Ferguson

Volume 2: Spiritualism in Literature
Edited by Patricia Pulham

- Part 1: Spiritualism in Poetry
- Part 2: Spiritualism in the Novel
- Part 3: Communing Spirits
- Part 4: Seances and Clairvoyance
- Part 5: Spirit Writings
- Part 6: Hauntings

Volume 3: Spiritualism, Science and Technology
Edited by Rosario Arias

- Part 1: Spiritualism and Science before Psychic Research
- Part 2: Spiritualism, Science and Psychic Research
- Part 3: Spiritualism, Science and Technology

Volume 4: Anti-Spiritualism
Edited by Tatiana Kontou



※収録文献の詳細は

<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-177-8.html> でご覧いただけます。

黄禍論－英語文献復刻シリーズ－

第1回配本：英国黄禍論小説集成 全7巻

Yellow Peril, Collection of British Novels 1895 - 1913

編集・解説 ■ 橋本順光 (大阪大学)

2007年1月刊行 本体セット価 ¥138,000-(+税) ISBN 978-4-86166-031-3

本書の特色

- 世紀転換期に欧米で吹き荒れた反東洋、黄禍論に関する同時代の一次資料を集成する新シリーズ
- 第1回配本は「怪人フー・マンチュー博士」シリーズに代表される英国の小説9編の初版または今日の研究に重要な版を図版含め復刻
- 続刊では黄禍論に援用された日本人、東洋人の著作も収録し、この時代の西洋 vs. 東洋のメディア戦争を再現



■収録作品 ■◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第1巻 [約560頁]

Hemyng, Bracebridge

Jack Harkaway and His Son's Adventures in China

London: "Boys of England" Office, 1895: pp. 171

いわゆる Penny Dreadful の中国物ながら、冒険小説として人気を博し、作中の中国人の悪役は Fu Manchu の原型の一つに。

Shiel, M. P. (Matthew Phipps)

The Yellow Danger

New York, R. F. Fenno & company; London, G. Richards, 1899., 388 p
英国における黄禍論小説の原型。父が日本人、母が中国人という Yen How が西洋世界に復讐すべく策略をめぐらす。既に Routledge から復刻されている初版 (London, 1898) でなく、アメリカについての記述を変更したアメリカ版。

第2巻 [約390頁]

Henty, George Alfred

With the Allies to Peking. A Tale of the Relief of the Legations ...

Illustrated, etc., London, 1904: Blackie & Son, 1903: pp. 384

Henty はヴィクトリア朝後期を代表する冒険小説家で、これは義和団事件に取材した作品。ここで早くも描かれた日本の微妙な位置は、映画『北京の55日』(1963)まで連続と続くことになる。

第3巻 [約325頁]

Griffith, George

The Stolen Submarine. A Tale of the Russo-Japanese War.

London: F. V. White & Co., 1904. : pp. 320.

Griffith は、飛行船の脅威を描いた *The Angel of the Revolution* (1895) が既に復刻され、Wells 以前の SF 作家として有名だが、黄禍論をしばしば訴えた。ここでは飛行船ではなく、潜水艦の脅威を描く。

第4巻 [約320頁]

Sedgwick, Sidney Newman

The Last Persecution.

London; Mitchell Kennerley; New York: Grant Richards, 1909: pp. 314.

英国では珍しい中国軍の英国征服を描く終末論的小説。

第5巻 [約320頁]

Dorrington, Albert

The Radium Terrors., Eveleigh Nash, 1912: pp. 316.

日本人の科学者、Teroni Tsarka 博士が、ラジウムを使って西欧世界の転覆を謀る小説。

第6巻 [約300頁]

Westerman, Percy F.

When East Meets West: A Story of the Yellow Peril

London: Blackie & Son, 1913: pp.292.

Osaka Toya なる日本人スパイが暗躍するなか、日中同盟軍が西洋に反旗を翻す。Shiel が二番煎じの *The Dragon* を書いた同じ年に、彼の *The Yellow Danger* のプロットを、人気作家 Westerman は巧みに換骨奪胎してみせた。これ以降、著者は、両大戦を舞台にした少年向け冒険小説を百冊以上書き続けることになる。彼が好んで描いた飛行機はこの小説にも登場。

第7巻 [約440頁]

Lengyel, Melchior

Typhoon: a Play in Four Acts / English Version by Laurence Irving,

London: Methuen, 1913: 120 p

レンジェルは、『ニノチカ』などで知られるハンガリーの劇作家で原作はドイツ語。しかし、この戯曲も翌年には早川雪洲主演で映画になったように、英語圏で広く流布。殉死を厭わない日本人スパイたちとその陰謀という主題はその後の黄禍論小説の定番に。

Rohmer, Sax, pseud.

The Mystery of Dr. Fu-Manchu.

London : Methuen & Co., 1913: pp. vi. 308.

黄禍論小説の代表作。多数復刊されているものの、今回は稀覯な初版の初めての復刻。

黄禍論－英語文献復刻シリーズ－

第2回配本：黄禍論史資料集成 全4巻

Primary Sources of Yellow Peril Series II

Yellow Peril, Collection of Historical Sources

編集・解説 ■橋本順光（大阪大学文学部）

2012年6月刊行 A5判・約1,900頁 本体セット価¥118,000-(+税) ISBN 978-4-86166-033-7

- 反日・反アジア主義小説集の第一回配本に続き、今回はそれらの小説とも密接に関連する史資料40点を復刻集成。
- 19世紀末から第一次世界大戦まで、作家、外交官、研究者、ジャーナリストらの論説や研究書からの抜粋、パンフレット、雑誌論文などを収録し、経済的・軍事的脅威論の系譜を追う文献集。
- 同時に、日本やアジアのナショナリストたちの反論も収載、東西の複雑なメディア戦争を再現する。
- 日本、東アジア、英国の近代史研究だけでなく、明治から大正初期のアジアと西洋間の関係史、そして比較文学・文化、メディア史の資料として広く利用可能なコレクション

◆収録内容◆

第1巻：Pearson's Prediction: Yellow Peril or White Hope?

「黄禍論の予言者ピアソンとその余波」

Introduction and Bibliographic Notes by Yorimitsu Hashimoto

第2巻：The Boxer Rebellion - Letters to and from China

「中国と西洋の覚醒 義和団事件をめぐる往復書簡」

第3巻

Part 1: The Spectre of Genghis Khan: Japan as Model and Monster

「第1部：ジンギスカンの亡霊とモデルとしての日本」

Part 2: The Russo-Japanese War as Racial Conflict

「第2部：人種戦争としての日露戦争」

第4巻：The Breakup of China and Asia for the Asiatics

「アジア主義への警戒と辛亥革命」

※収録文献の詳細は、<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-033-7.html> でご覧いただけます。



シリーズ—アジアを旅したヴィクトリア朝時代の女性たち 第1回配本

マリアンヌ・ノース自伝 全3巻

Recollections & Further Recollections of a Happy Life :
being the Autobiography of Marianne North

2005年9月刊行 A5判・約1,505頁 本体セット価¥48,000-(+税) ISBN 978-4-86166-026-9



イザベラ・バードとならぶヴィクトリア朝時代の女性旅行家マリアンヌ・ノース(1830-1890)は、今日でもその名を残す英国王立植物園キュー・ガーデンのマリアンヌ・ノース・ギャラリーに収められた膨大な植物画でよく知られています。幼少時代より父の友人であった科学者や知識人と接して育った彼女は、若い頃から家族や父に連れられヨーロッパそして中近東へと旅して回ります。父の亡き後、旅は彼女にとっての生きがいとなり、北南米、シンガポール、インド、オーストラリアなどなど、世界各地を訪れることとなります。日本へも1875年から76年にかけて、横浜、神戸、京都周辺を訪問しています。バードと異なり、旅行記を自ら著すことのなかったノースですが、その情熱は、恵まれた芸術面の才能をいかした植物の写生に向かいます。その才能を評価したチャールズ・ダーウィンが、さらなる旅へと彼女を後押ししたこともあるようです。こうして書き溜められた植物画の一般公開のため、前述のノース・ギャラリーが1882年にオープンしています。彼女の功績を称えた王立植物園は、5種の植物に彼女にちなんだ命名をしています。

本書は、ノース自身が残した膨大な旅の記録を、その死後に妹が全3巻にまとめたものです。彼女自身の旅行での体験や他の女性旅行家の逸話などが挿入されており、ヴィクトリア朝女性旅行家の同時代の記録として代表的な文献です。

■ 内容明細 ■

第1-2巻

Recollections of a Happy Life : being the Autobiography of Marianne North

Edited by Mrs. John Addington Symonds

2nd ed., with corrections, London ; New York : Macmillan, 1893

Vol. 1: viii, 351pp.

Vol. 2: 343pp.

CONTENTS

Early Days and Home Life

Canada and United States

Jamaica

Brazil

Teneriffe-California-Japan-Singapore

Borneo and Java

Ceylon and Home

India

Hill Places in India

Rajputana

Second Visit of Borneo-Queensland-New South Wales

Western Australia-Tasmania-New Zealand

South Africa

Seychelles Islands

Chilli

第3巻

Some Further Recollections of a Happy Life, selected from the Journals of Marianne North, chiefly between the year 1859 and 1869

Edited by Mrs. John Addington Symonds

London : New York : Macmillan, 1893

viii, 316 p., [3] leaves of plates

CONTENTS

In the Pyrenees and Spain

Switzerland-Italy-Trieste-Pola-Fiume,,,

Adriatic and Syria

Egypt

Palestine and Syria

In the Dolomite Alps, Australia

Mentone and Sicily

Syracuse and its Neighbourhood - Taormina, Monte Generoso, and Trafoi

シリーズ—アジアを旅したヴィクトリア朝時代の女性たち 第2回配本

復刻集成

ヴィクトリア朝女性たちの

アジア旅行記 第1期 全5巻+別冊日本語解説

Victorian Lady Travellers in Asia-Collection of Travel Writings, Pt. 1

解説■志渡岡理恵（実践女子大学専任講師）

2006年9月刊行 A5判・2,150頁（図版白黒多数） 本体セット価 ¥98,000-（+税） ISBN 978-4-86166-027-6

- 日本を含むアジアを広く旅した4人のヴィクトリア朝時代の女性の旅行記を復刻集成。
- 今日、コロニアリズムや女性史研究だけでなく、19世紀英文学、文化研究、そしてジェンダー、セクシャリティーに関する史資料として読み直しの進む、海を渡った女性達の異国での体験の記録。

“こうした旅行記こそ、その図版ともども、当時の東洋への関心やジャポニズムの生み出したもうひとつの産物であると同時に、女性の眼にうつった事実を通してそれらを増幅し、かつのその修正を迫ったものであるだろう。”

—富山太佳夫「推薦文」より—

【収録内容】

第1巻

A Voyage in the "Sunbeam" : Our Home on the Ocean for Eleven Months

by Mrs. Brassey (Brassey, Annie Allnutt)

London : Longmans, Green and Co., 1878

xv, 504 p., 14 plates

第2—3巻

Wanderings in China, 2 vols.

by C.F. Gordon Cumming (Gordon Cumming, Constance Frederica)

Edinburgh ; London : W. Blackwood, 1886

Vol.1: vi, 382p., 4 plates / Vol.2: vi, 370p., 5 plates

第4巻

Newfoundland to Cochin China by the Golden Wave, New Nippon, and the Forbidden City

by Mrs. Howard Vincent (Vincent, Ethel Gwendoline)

with Reports on British Trade and Interests in Canada, Japan, and China, by Col. Howard Vincent

London : Sampson Low, Martson & Co., 1892

xii, 404p., 13 plates

第5巻

When We Were Strolling Players in the East

by Louise Jordan Miln

2nd ed., London : Osgood, McIlvaine, 1895

xii, 354 p., 25 plates



モダン・ツーリズム・ライブラリー 第3回配本

世界周遊旅行の始まり – 英文旅行ガイド・ハンドブック復刻集成

9 文献・合本 5 巻 + 別冊日本語解説

The Emergence of the World Tour - A Collection of Early Travel Guides and Handbooks

監修・解説：伊藤久子（元横浜開港資料館調査研究員）

2010年11月刊行 A5判・約3,100頁（折込地図多数） 本体セット価¥143,000-（+税） ISBN 978-4-86166-136-5

- 「世界周遊旅行」が始まった19世紀後半に英米で出版され、世界旅行者に広く利用された旅行ガイドや旅行者用の要覧など計8点を5巻に収録
- アメリカ太平洋郵船が太平洋航路を開設するにあたって作成した『中国・日本新航路要覧』、ユニオン・パシフィック鉄道とセントラル・パシフィック鉄道によるアメリカ大陸横断鉄道の開通にあわせて出版された旅行ガイド、中国や日本の開国で設けられた開港場の情報を詳しく網羅した旅行者・商人・住民用の完全ガイド、英国で出版されたレディー・トラベラー用の心得、そして英国の鉄道時刻表「ブラッドショー」が世界周遊旅行者のために初めて出版した1903年の世界旅行ガイドなど、いずれもこの時代の貴重な資料類を、多数の折り込み地図も含め収録

◆収録文献◆

Vol. 1: (約 630 頁) ◇太平洋横断定期航路、アメリカ横断鉄道ガイド 3 点◇

A Sketch of the New Route to China and Japan, by the Pacific Mail Steamship Co.'s Through Line of Steamship between New York, Yokohama, and Hong Kong, via the Isthmus of Panama and San Francisco. San Francisco: Turnbull & Smith, 1867. 104, [4] p.

Great Trans-Continental Tourist's Guide, Containing a Full and Authentic Description of Over Five Hundred Cities, Towns, Villages, Stations, Government Forts and Camps, Mountains, Lakes, Rivers, Sulphur, Soda and Hot Springs, Scenery, Watering Places, Summer Resorts... over the Union Pacific Railroad, Central Pacific Railroad of Cal., Their Branches and Connections by Stage and Water from the Atlantic to the Pacific Ocean. New York: Geo. A. Crofutt, 1870. 208 p., 1 folded map.

The Pacific Tourist: Williams' Illustrated Trans-Continental Guide of Travel, from the Atlantic to the Pacific Ocean, Containing Full Descriptions of Railroad Routes ...: A Complete Traveler's Guide of the Union and Central Pacific Railroads, edited by Henry T. Williams. New York: H. T. Williams, 1876. 293 p., 5 folded maps.

Vol. 2: (約 750 頁) ◇中国・日本開港場ガイド◇

The Treaty Ports of China and Japan: A Complete Guide to the Open Ports of Those Countries, together with Peking, Yedo, Hongkong and Macao, Forming a Guide Book & Vade Mecum for Travellers, Merchants, and Residents in General, edited by N. B. Dennys, Wm. Fred Mayers, and Chas. King. London: Trubner, 1867. 668 p., 29 folded maps.

Vol. 3: (約 720 頁) ◇世界周遊旅行者のための主要都市・港・旅行ルート事典◇

Our Ocean Highways: A Condensed Universal Hand Gazetteer and International Route Book, by Ocean, Road, or Rail, edited by J. Maurice Dempsey & W. Hughes. London: E. Stanford, 1870. cciv, 482 p.

Vol. 4: (約 340 頁) ◇レディー・トラベラーのためのガイド、女性ジャーナリストによる中国・日本旅行ガイド、P&O 汽船会社の乗客用ガイド◇

Hints to Lady Travellers at Home and Abroad, by Lillias Campbell Davidson. London: Iliffe & Son, 1889. 256 p.

Peninsular & Oriental Steam Navigation Company's Guide Book for Passengers, London, 1893

Westward to the Far East, A Guide to the Principal Cities of China and Japan with a Note on Korea, by Eliza Ruhamah Scidmore. 4th edition. [Montreal] Canadian Pacific Railway Co., 1893. 76 p., 1 folded map.

Vol. 5: (約 550 頁) ◇ブラッドショーの世界旅行ガイド◇

Bradshaw's Through Routes to the Capitals of the World and Overland Guide to India, Persia, and the Far East: A Handbook of Indian, Colonial and Foreign Travel. London: Bradshaw's Guide Offices, 1903. xlviii, 500 p. [pp.453-500 advertisements], 15 folded maps.

復刻集成 **19世紀英国のアジア・イメージ**

—ヴィクトリア時代評論誌所収論文選集— 全6巻＋別冊日本語解説

Asian Images in the 19th Century British Reviews

編集・解説■東田雅博（金沢大学文学部教授）

2008年2月刊行 A5判・約3,200頁 本体セット価 ¥138,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-24-6

本書の特色

- 英国ヴィクトリア朝社会の観念＝「文明化の使命」が醸成された場、評論誌で展開されたアジア3国に関する重要な論述を精選収録
- 近代英国のアジア・イメージ、さらに英国自身の帝国イメージの変遷を辿る好企画
- 経済のみならず科学技術、芸術、文芸、教育、法制度、布教など多様な視角から論文記事を選出

【日本】	Vol. 1-2 : Japan	Vol.1: 461pp, Vol.2: 481pp (38 文献)
【中国】	Vol. 3-4 : China	Vol.3: 482pp, Vol.4: 521pp (40 文献)
【インド】	Vol. 5-6 : India	Vol.5: 604pp, Vol.6: 580pp (41 文献)

【編者の言葉】

金沢大学文学部 東田雅博

ヴィクトリア朝英国の評論誌はどれくらいあるのだろうか。The Wellesley Index に掲載されているものだけでも40を越える。これらの評論誌には、きわめて多様な論文が掲載されている。ためしに、アロー戦争が終結した1860年1月号の『クォーターリー・レビュー』 *Quarterly Review* の目次を見てみよう。オーストラリア植民地と金の供給、綿紡績機、中国と戦争、ローマの壁、宗教的リヴァイヴァル、改革計画、こうした論文が掲載されていた。実に多様である。

これらの多種多様な論文を掲載していた評論誌は、イギリスの文化と歴史に関心を持つ者には資料の宝庫といってよい。しかし、これらの雑誌の紙質はかなり劣悪であり、そのコピーを入手するのも困難になりつつある。大学によっては、コピーを禁じているところもある。適当なテーマでまとめたこれら雑誌論文の復刻資料集が求められていると言えよう。

この度これらの評論誌から4誌を選び、そこに掲載された日本、中国、インドに関する論文をまとめた資料集が刊行されることになった。『クォーターリー・レビュー』、『エディンバラ・レビュー』 *Edinburgh Review*、『ウェストミンスター・レビュー』 *Westminster Review*、『ブラックウッズ・マガジン』 *Blackwood's Edinburgh Magazine* の4誌である。少なすぎるかもしれない。だがこの時代に刊行されていた評論誌はかなり多いが、ヴィクトリア朝時代を通じて発行されていた雑誌は意外に少なく、*The Wellesley Index* に掲載された雑誌の中では、これらの4誌のみである。さらに、これらの4誌は、それぞれ保守、自由、急進、トーリーというヴィクトリア朝の主要な政治的立場を代表してもおり、4誌の選択はバランス的にも問題がない。

先に述べたが、これらの雑誌論文は多種多様である。その中に、先の『クォーターリー・レビュー』の例にあるように、日本や中国、あるいはインドなどのアジア諸国に関係する論文も含まれていた。これらの論文を読むことでヴィクトリア朝英国におけるアジア観と英帝国のセルフイメージの変遷がかなりあざやかに浮かび上がるであろう。また、日本、中国、インドに対する認識の差異も理解できるであろう。

近年のアジア観、より広くオリエンタリズム研究の資料はきわめて多様になっている。言説資料でも、たとえば *Penny Illustrated Paper* のような大衆的な資料も入手できるようになっているし、絵画やイラスト、あるいは写真なども大いに利用されている。しかし、それでも『クォーターリー・レビュー』などの雑誌論文の資料的価値が減じるわけではない。

本コレクションを、専門研究者および、関連する学術機関・図書館に広く推したい。

アーサー・ミー編集 **イギリス児童大百科**

Children's Encyclopedia, 10 volumes edited by Arthur Mee

全 10 巻 総 7,500 頁を 2 回配本にて復刻

PART 1: VOL. 1-5

別冊解説：高山宏（明治大学国際日本学部教授）

2009年1月刊行

A5判 約3,750頁 図版入（白黒・カラー多数）

本体セット価¥128,000-（+税）

ISBN: 978-4-902454-49-9

PART 2: VOL. 6-10

別冊解説：窪田憲子（都留文科大学文学部教授）

2009年11月刊行

A5判 約3,700頁 図版入（白黒・カラー多数）

本体セット価¥128,000-（+税）

ISBN: 978-4-902454-50-5



Arthur Mee

20世紀初頭に編集者アーサー・ミーが発案し隔週刊で創刊、英国家庭向けに大成功した子ども百科が復刻されました。図解百科*I See All*を始め、子ども向け教育、参考書を数多く企画、編集したミーの代表作で、ヴィクトリア朝末期の英国でもっとも広く予約購読された出版物の一つとされています。その成功は世界各地へと広がり、ヨーロッパ各国語版が出版されています。

日本においても、大正時代に新教育運動を主導し成城学校を創設した沢柳政太郎が、後に玉川学園を創立する小原國芳への外遊土産として英国より本書を持ち帰り、この百科事典をもとに1932年小原が『玉川児童百科』全30巻を出版したことが知られています。

I See All 同様、本書においてもミーの独創性はいかなく発揮されており、従来のA-Z式の記事の配列をまったく用いず、子どものための知識を〈Earth and Its Neighbours〉、〈Men and Women〉、〈Ourselves〉、〈Things to Make & Do〉など19の大項目に分類、各巻中でそれぞれの項目をさらに数件のテーマにわけて解説するという斬新きわまる編集方針が採られています。（各項目の明細は次頁以降を参照ください。）また、ミーが得意とする図版、イラストを多く用いた視覚的な編集方針も全巻を貫いており、いわゆる「引く」ための事典でなく、まさに「読み、見る」ことにより知識を身に付けさせることを目的とした、「本」としての百科事典の真髓がこの事典の魅力でしょう。

出版後一世紀を経た今日、本書は英米児童文学・文化史研究の貴重な資料であると同時に、新たな知や文化の枠組みを形作り、それにより20世紀の新しい精神で子どもたちを育てようとした英国出版文化の記念碑的鴻業とも言えます。英米文化、比較文化の広範な研究の資料としてどうぞご利用ください。



「情報」ではない「知識」の気宇壮大

高山 宏

グローバルに知識が検索できるこんな便利な時代が来るなどと誰が想像しただろう。コンピュータがうまく使いこなせる能力さえあれば史上最強の百科事典を持っていることになる。しかし検索画面に次々現れるものはその限りでは、知識と呼ばれるものが断片として現れては消える〈情報〉でしかない。そういう〈情報〉をいかに集め、いかに編んで知識と化すか、たとえばそれが今大学の試験制度を悩ませて話題の「コピペ」レポート是か非かの問題であったりする。

まさしく知識の〈情報化〉が時代の問題となったヴィクトリア朝末期の英国にあつて、あくまで一人の子供の血肉となり、その子供が大人になった時、教養と呼べるものと化す知識とはどういうものかの具体的コンテンツをさし示した天才的編集者アーサー・ミーの画期的百科、*Children's Encyclopedia* (1908-10) が待望の復刻をみる。絵引き百科 *I See All* で編集の異才をうたわれるミー渾身の、なにしろアルファベット順でつくられていない (!) 百科事典の傑作だ。子供の理想的な認知発達を言うピアジェその他、現代の教育心理学のエッセンスを先取りした瞳目の編集工学がそこにある。

アルファベット順の編集というものが検索に至便な代りに、世界の構造をいかに全体的有機的に伝える書物本来のあり方を歪めてきたものか。それを我々は他のどこよりもこの近代最初の児童百科の独創的きわまる目次構成案に見て、我々が何を得た代りに何を喪ったか、戦慄をもって味わい知ることになるだろう。が、戦慄した後はあくまで楽しい。「ペットはどう飼うの」から、「真理って何」まで、子供に尋ねられて困っているパパやママのために、ありとあらゆるテーマが、これ以上なく易しいレベルで、これ以上平易ということのあり得ない言葉で説かれるリーダブルで楽しいエッセイの塊は〈情報〉べったりの今時、一寸他には得がたいからである。

『ハリー・ポッター』全巻邦訳なる 2008 年。ちょうど百年前の子供たちが家庭で、学校で何を考えて暮らしていたものか知るに絶好の出版物が、なんとも絶好のタイミングで復刻される。ユーリカ・プレスの戦略的大英断は近來の欣快事である。

◆ CONTENTS OF VOLUME 1 -5 ◆

GROUP 1: EARTH AND ITS NEIGHBOURS

The Big Ball We Live On / How the Earth was Made / Three Ways the Earth Moves / Inside the Wonderful Ball / How Fire and Water Made the World, etc.

GROUP 2: MEN AND WOMEN

The First Flying Men / The Kings of Music / The Famous Men of Venice / The Fairy-Story People / Cromwell and His Men, etc.

GROUP 3: STORIES

GROUP 4: ANIMAL LIFE

Nature's Thousands of Children / The Animals Most Like Men / Bats and Their Friends / Big Cats and Little Cats / The Wild Dogs, etc.

GROUP 5: HISTORY

Man Sets Out on a Journey / Man Builds Himself a House / Man Feels His Way to Power / The Wondering Egyptian / Man Begins to Think of God, etc.

GROUP 6: FAMILIAR THINGS

Iron and Steel / Cotton / Rope / China / Airways / Bridges / Piano / Wood / Sponge / Engines / Rubber / Paper / Tyres / A Grain of Salt, etc.

GROUP 7: WONDER

GROUP 8: ART

The Rich Treasure That is Ours / The Cave Men and Their Pictures / The Artists of the Old Empires / A Great Light Shines / The Wonder Men of Florence, etc.

GROUP 9: OURSELVES

Life that Fills the Earth / The First Living Things / Why Life Left the Sea / Life Makes the Body / The Tiniest Living Things, etc.

GROUP 10: PLANT LIFE

How Life Goes Round and Round / A Plant's Struggle for Life / Birth, Life, and Death of a Flower / How Plants Work for their Living / How Plants Move and Feel, etc.

GROUP 11: COUNTRIES

Their Great World of Ours / Our Homeland / Seeing Our Homeland from the Sea / Our Great and Little Hills / England in the Long Ago, etc.

GROUP 12: PICTURE ATLAS

GROUP 13: POETRY & NURSERY RHYMES

GROUP 14: POWER

The Very Heart of Matter / What is Electricity / The Ocean of Power We Live In / The Electric Current / The Story of the Dynamo, etc.

GROUP 15: LITERATURE

The Realms of Gold / Poetry More Precious than Gold / Our First Storytellers / The Greatest English Book / The Book as Sweet as Music, etc.

GROUP 16: IDEA

Movement / Justice / Courage / Truth / Direction / Distance / Space / Number / Faith / Eternity / Vision / Beauty, etc.

GROUP 17: THE BIBLE

The Way Our Bible Came / The Bible Story of Creation / The Story of Cain and Abel / The First Days of Evil / Abraham, the Friend of God, etc.

GROUP 18: THINGS TO MAKE & DO

GROUP 19: SCHOOL LESSONS

Reading - Learning to Read / Small Letters / Reading Words / Our Own Pictures / Figures and Shapes, etc.

イギリス・モダニズム女性大百科 全8巻

Every Woman's Encyclopædia

2009年6月刊行 本体セット価 ¥188,000- (+税) ISBN 978-4-86166-123-5

A5判・c. 5,920 pp. (図版、写真多数、カラー口絵入) 底本: London: Educational Books, c.1910-1912

本書の特色

- 20世紀初頭の英国の家庭で最も広く使われた女性百科。
- 1910年頃より隔週で刊行され、家庭の主婦に広く配布された分冊事典。(完結後、各巻に索引を付し出版された累積版を底本に復刻。)
- 「ビートンの家庭の手引」など、ヴィクトリア朝の女性向けガイドが扱ったテーマを踏襲しつつも、その内容は新世紀に入り急速に変化するライフ・スタイルや合理的な生活・家事のための実用書を目指したモダン・リビング読本であり、また同時に、職業、法律から世界各国の宗教や女性といった、20世紀の女性が身に着けるべき教養、知識を縦横無尽に集成した膨大な記事から成る。
- 多数の図版や写真は、アール・ヌーボーからアール・デコへと移行期の装飾・デザインが満載。
- 英国女性史の資料としてだけでなく、ヴァージニア・ウルフなどモダニズム期の文学、文化、芸術そして大衆文化研究の文献としても利用可能。

【収録大項目】

- * [家庭] Woman's Home
- * [美容] Woman's Beauty Book
- * [子ども・教育] Children
- * [職業] Woman's Work
- * [結婚] Marriage
- * [健康・医学] Woman's Medical Book
- * [上流階級] The Lady of Quality
- * [服飾] Womans's Dress
- * [裁縫] Needle Work
- * [料理] Kitchen & Cookery
- * [世界の著名な女性] The World of Women
- * [法律] Woman's Law Book
- * [恋愛] Woman in Love
- * [宗教] Woman and Religion
- * [芸術] The Arts
- * [園芸] Women in her Garden
- * [スポーツ・娯楽] Woman's Recreations
- * [ペット] Woman's Pet



英国スポーツ・レジャー大百科

～ 19 世紀文献復刻集成～ 全 5 巻＋別冊日本語解説

Sports & Leisure in England - A Collection of Nineteenth-Century Sources

監修・解説：小林章夫（上智大学文学部教授）

2010 年 3 月刊行 B5 判・約 3,100 頁（図版白黒多数） 本体セット価 ¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-61-1

本書の特色

在庫僅少

- 英国 19 世紀に刊行されたスポーツ・娯楽に関する大著 3 点を完全復刻。
- 19 世紀初、中・後期にそれぞれ刊行され、英国スポーツ史を詳細に通観する文献集成。
- スポーツ、身体教育史のレファレンスとしてだけでなく、多数の図版を含む英国社会・文化史の視覚資料としても利用可能。

英国におけるスポーツ、レジャーの歴史は古く、キツネ狩りや乗馬など代表される上流階級のものだけでなく、庶民の間でも熊いじめや闘鶏などが、広く人々の楽しみとして親しまれてきたことが知られています。また今日のサッカーやテニス、ゴルフの原型も古くから競技されてきました。こういったレジャーやスポーツにおいても、近代化は英国にいち早くあらわれ、19 世紀後半になると、フットボール（サッカー）、ラグビー、テニス、クリケット等の協会が組織化され、各競技のルールが定められ、近代的なスポーツとして確立してゆきます。これらは中産階級の拡大とともに社会に広く受け入れられ、また、徐々に人々の娯楽としてだけでなく、身体教育の手段としても英国社会・文化を形成する重要な要素となってゆきます。

本コレクションは、このようなスポーツ・レジャーの近代化が始まった英国 19 世紀に編纂された大百科 3 点を復刻するものです。それぞれ、19 世紀初期、中期、末期に刊行された大著で、英国スポーツ・レジャー史を通観する上で非常に貴重な文献集成です。また、各書数多くの図版を収録しており、英国文化の視覚的資料としてもご利用いただけます。

■収録明細■

VOLUME 1:

Joseph Strutt

Glig-gamena angel-deod, or, The sports and pastimes of the people of England : including the rural and domestic recreations, May-games, mummeries, pageants, processions, and pompous spectacles, from the earliest period to the present time, illustrated by engravings selected from ancient paintings, in which are represented most of the popular diversions, 2nd ed., London : Printed by T. Bensley, 1810, c.460 pp.

* 古代から 18 世紀までの英国スポーツ・娯楽の歴史を語った重要文献。60 点弱の図版を含む貴重な第 2 版の復刻。

VOLUME 2 & 3:

Delabere P. Blaine

An encyclopaedia of rural sports : or, a complete account, historical, practical, and descriptive, of hunting, shooting, fishing, racing, and other field sports and athletic amusements of the present day, illustrated by six hundred engravings on wood, by R. Branston, from Drawing by Alken, T. Lndseer, Dickes, etc. [bound in 2 volumes], London : Longman, 1840, c.1,260 pp.

* 英国田園地域での伝統的スポーツの歴史。19 世紀中期に版を重ねたこの時代の代表的スポーツ百科。600 点近い図版入り。

VOLUME 4 & 5

Earl of Suffolk and Berkshire, Hedley Peek, and F.G. Aflalo, (eds.)

The Encyclopaedia of sport, 2 volumes, London : Lawrence and Bullen, 1897-98, c.1,385 pp.

* 前述 2 点の文献を参照しつつ、女性のスポーツ、サイクリングなどこの時代最新のスポーツ・レジャーに関する情報から競技のルールまで、各項目をそれぞれの専門家 180 名以上が執筆した、ヴィクトリア朝期後半の最大のスポーツ百科。

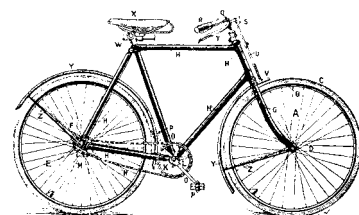


FIG. 1—THE MODERN BICYCLE.

英国美術重要文献復刻シリーズ 1 (Series: Primary Sources on British Art History)

英国芸術家列伝 全6巻＋別冊日本語解説

The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects,
by Allan Cunningham

監修・解説：潮江宏三（京都市立芸術大学長）

2009年10月刊行 本体セット価¥98,000-(+税) ISBN 978-4-902454-55-0

B6判・約2,175頁（図版白黒多数） 底本：London: John Murray, 1830-1833

本書の特色

- ジョルジョ・ヴァザーリの著名な『(ルネサンス) 美術家列伝』にならい、19世紀前半のスコットランド人著述家アラン・カニンガム (1784-1842) を数年間に亘り執筆した、英国画家・彫刻家・建築家の人物事典。その刊行には *Quarterly Review* の編集長ジョン・ギブソン・ロックハートやロバート・サウジーなどが協力した。
- エリザベス期からホルバイン、アントニオ・モア、ルーカス・デ・ヘール、ファンダイク、ピーター・レリー、ゴドフリー・ネラー、ジェイムズ・ソーンヒルら18世紀初頭までの画家を概説した後、英国で活躍した47名の主要美術家の生涯と業績を肖像画とともに詳しく紹介*。
- ポケットサイズで出版され、ヴィクトリア朝期の英国上・中流家庭で広く愛用された。また、その人気は海を渡り、米国ではハーパー社が3巻の抄録版を刊行している。
- 英国美術を網羅的に扱った本格的なレファレンスとして最初期のもので、今日でも美術史の資料として価値を失っていない。同時に19世紀英国内での自国美術の評価や人気などの研究にも貴重な文献。
- 美術・芸術系大学図書館や英文学・文化研究の学科に必携。

*収録されている47名の詳細は <http://www.aplink.co.jp/ep/4-902454-55-0.html> でご覧いただけます。

本書を推薦する。

京都市立芸術大学長 潮江宏三

スコットランド生まれの文人、アラン・カニンガム (Allan Cunningham 1784-1842) の *The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects* (『英国芸術家列伝』) は、標題に *Lives* の文字があるように、イタリア・ルネサンスの『芸術家列伝』を著した画家、ジョルジョ・ヴァザーリの故事に倣い、書かれたものである。近代的な意味での「美術史」ではない。しかしながら、ヴァザーリの『列伝』が、美術史を含む広汎な意味での文化史研究にとって、同時代および歴史的な証言と考察という点から、未だに新たな解釈と見解を抽出し得る尽きせぬ泉であるように、カニンガムの『列伝』もこれまでその役割を果たしてきた。しかも、この『列伝』が扱っている時代は、「絵画の偉大な世紀」(ゴント)と名づけられる、英国固有の画派が確立した時代である。まさに、イギリスのヴァザーリと呼ばれる所以である。

このカニンガムの『列伝』でまず注目されるのは、その人選である。それは、今日の美術史的価値評価と同じではない。多少は出身地への臆見目を含みつつも、アカデミーという権威からだけではなく、ブレイクへの希少な言及など、当時話題となった芸術家が広くその対象となっている。エピソードや証言を通して芸術家の予想外の顔に出会うことができるだけでなく、当時の、むしろ標準的とも言える知識人が、こと芸術に関して、どのような関心の持ち方をしていたのかも感じ取ることができるのである。

学として整理される前の、このようなジャーナリスティックな内容こそが、『列伝』のおもしろさであり、新たな解釈構築の種となるものであろう。時代は、英国がまさにヨーロッパの、そして世界のリーダーとなろうとしている時代のことでもあり、その意味においては、美術史や文化史の研究者はもちろんのこと、文学や社会史・社会思想の研究者にとっても、是非とも一読に値する原典として本書を推薦するものである。

ヴィクトリア朝セレブリティ大事典 全2巻

People of the Period,

a Collection of the Biographies of Upwards of Six Thousands Living Celebrities

編集 ■ A. T. Camden Pratt

2005 年 9 月刊行 本体セット価 ¥78,000- (+税) ISBN 978-4-901481-85-4

■底本 1897 年刊 B5 判約 1,092 頁

本書の特色

- 19 世紀末にロンドンで刊行された Who's Who
- ヴィクトリア期の著名人約 6000 人の人物情報
- 今日の学術人物事典に収録されていない当時の有名人や、英国社会で名の知れた他国人も多数掲載
- 同時代の大衆への知名度や評判を知るための最良の人物資料

スタンリー・ウェルズ編・解説

《Eureka Press》

19 世紀のシェイクスピア・バーレスク集成

全5巻

残部僅少

Nineteenth Century Shakespeare Burlesques

2004 年 9 月刊行 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-02-4

本書の特色

- 19 世紀に英米で流行したシェイクスピア風刺戯曲選集
- スタンリー・ウェルズの選書した 33 (英国 27 作、米国 7 作) の台本と各巻毎の詳説に加え、今回の復刊を記念した編者書き下ろし序文入り
- シェイクスピア受容史研究だけでなく、19 世紀英米の大衆文化、大衆演劇研究の重要一次文献

クリストファー・ドレッサー 他 著

《Edition Synapse》

図版入り・復刻版

ヴィクトリア朝産業デザイン・技術教育百科

全4巻

The Technical Educator: An Encyclopaedia of Technical Education

2003 年 10 月刊行 本体セット価 ¥98,000- (+税) ISBN 978-4-901481-71-7

■底本 Cassell, Peter & Galpin, 1870-73 B5 判・約 1700 頁 (図版入り)

本書の特色

- ジャポニスムやモダン・デザインの中心人物ドレッサーらが執筆した百科
- 豊富な図版はヴィクトリア朝時代の視覚的資料としても貴重
- 詳細な索引でクロス・レファレンスが可能

最盛期のヴィクトリア時代英国と黎明期の明治日本を結んだ歴史的エンサイクロペディア

チェンバーズ編

インフォメーション・フォー・ザ・ピープル

全2巻+別冊

Chambers's Information for the People, Edited by William and Robert Chambers

監修・解説 ■ 桃山学院大学教授 松永俊男

2005年9月刊行 本体セット価 ¥78,000- (+税) ISBN 978-4-902454-13-0

底本 ■ Fifth Edition, 1874. W. & R. Chambers, Edinburgh., B5判・約1,650頁

文部省訳『百科全書』の英文原書、初の復刻が実現！

残部僅少

本書の特色

- 雑誌「エジンバラジャーナル」や『英国歳時記 (Book of Days)』等で名高いヴィクトリア朝期の出版人チェンバーズ兄弟が、すべての階級の人々に向けて執筆・出版し大成功した啓蒙書
- 明治初期日本の西洋文化移入に大きな役割を担った、文部省訳『百科全書』の原書 (初の復刻)
- 「歴史」「思想」「教育」「経済」「政治」「文学」「自然」などすべての分野にわたる「知の宝庫」



Fig. 1.—Caucasian.



Fig. 2.—Mongolian.



Fig. 3.—African.



Fig. 4.—American.



Fig. 5.—Malay.

復刻集成 19世紀英国大衆文化と出版・印刷メディア — 同時代新聞・雑誌記事集成 — 全3巻

Popular Print Media 1820-1900

編集・解説 ■ Andrew King, University of Kent at Canterbury & John Plunkett, Exeter University, UK.

2004年5月刊行 A5判・約1,700頁 (図版入り) 本体セット価 ¥93,000- (+税) ISBN 978-4-901481-77-9

大衆文化の誕生したヴィクトリア朝時代の出版メディア・ジャーナリズム論集

残部僅少

本書の特色

- エジンバラ・レヴュー、ブラックウッズなどの高級誌・紙やペニーマガジンのような大衆紙やマイナー雑誌にいたるまで、40以上の定期刊行物から約115点の記事・論文を集成
- ハズリット、アーサー・シモンズ、サッカー・ウィルキー・コリンズ、ハーティなど著名作家の記述から匿名投稿記事まで幅広く網羅

■ 各巻内容 ■

- VOL. 1 1) 1820s: setting the scene
2) 1832-1841: Reforming Readers: Influence, Improvement and the Cheap Periodical
- VOL. 2 3) 1842-1854: The Commercial Model: The ILN, the Family Herald and the Dominance of Commercialism
4) 1855-1869: Regulatory Reform: Removal of the Stamp Tax and the Independent Press
- VOL. 3 5) 1870-1888: The Education Act and the Creation of a Mass Market
6) 1889-1900: The New Journalism, Decadence and the Fin-de-Siècle

J・S・ミル フランス日記

1820年5月～1821年7月

関西学院大学図書館所蔵未公刊日記手稿

ファクシミリ・リプリントおよび翻刻・注釈

【編集・解説】井上琢智（関西学院大学教授）

J. S. Mill's Journal and Notebooks of a Year in France, May 1820-July 1821:

A Complete Edition with A Facsimile Reprint of the Rediscovered Notebook of John Stuart Mill
in Kwansei Gakuin University and Transcribed Text, Annotation and Comparative Studies

<Historical Archives: Primary Sources from Kwansei Gakuin University, Series 1>



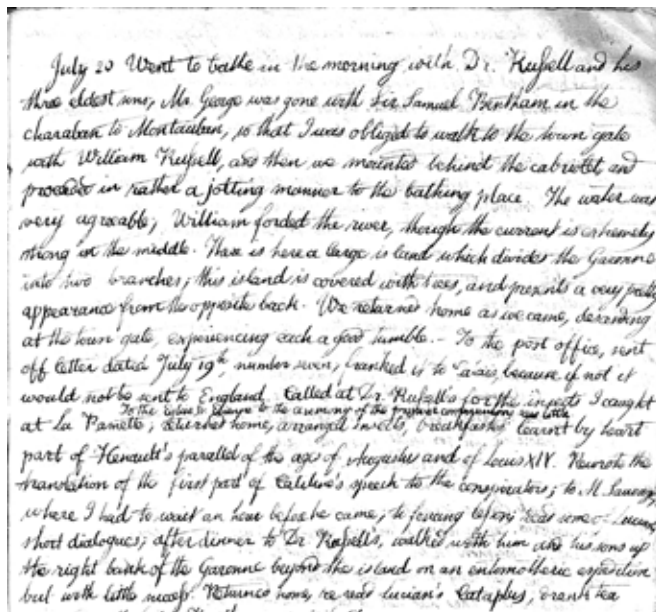
新刊

2014年1月刊行 A4判・総約300頁 本体価¥24,800- (+税) ISBN 978-4-86166-181-5

- 英国を代表する思想家、経済学者である John Stuart Mill が青年期に留学し、1年強を過ごしたフランスでの記録。
- ミルのフランス日記の原本はこれまで大英図書館とセント・アンドリュース大学所蔵の2種が知られ、これら2種のテキストは J.S. ミル全集 *The Collected Works of John Stuart Mill* 中に翻刻収録されているが、本書はこれらとは異なる関西学院大学図書館所蔵の第3番目の原本をファクシミリ復刻。
- 合わせて、3種すべての原本のテキストを忠実に活字化し収録、詳しい注釈と3種のテキスト間の比較研究を加えている。
- 『J. S. ミル評伝』(A. ペイン著)に「...最も重要な記録は彼が15世の時のフランス旅行」と記されるように、ジェレミー・ベンサム の指導を受け、ジャン＝バプチティスト・セイらから薫陶を受けたフランスでの経験は、若きミルの思想形成に最も重要な影響を与えたと言われている。
- 今回の日記完全版の公刊により、このミルのフランス時代の全貌が初めて明かされる。

◆収録内容◆

- 1) Introduction
- 2) Editorial Notes and Acknowledgements
- 3) Facsimile Reproduction of the Notebook
in Kwansei Gakuin University Library, 76 pp.
- 4) Transcribed Text of the Notebooks
with Annotations, 220 pp.



▲ 手稿頁サンプル

復刻文献シリーズ **ヴィクトリア時代の育児論****第1回配本：エイダ・バリン著作集****【復刻集成】14タイトル・合本4巻**

Ada S. Ballin - Motherhood Childhood and “Baby, The Mothers’ Magazine”

Modernizing Nursery in Late Victorian Britain, Series I: Collected Writings of Ada S. Ballin

編集・解説：三井（山本）淳子（津田塾大学）

2011年4月刊行 A5判・約1820頁 本体セット価¥88,000-（+税） ISBN 978-4-902454-63-5

健康推進、育児、幼児教育のエキスパートとしてヴィクトリア後期の英国で活躍したエイダ・バリンの著作の初めての集成（復刻版）です。大英帝国が繁栄を続けるこの時代、産業革命による社会の変革に加え、科学の進歩や進化論思想の広がり、育児や社会に求められる母親のありかたにも大きな変化が生じていました。ロンドン大学（UCL）にて公衆衛生学を学んだバリン（Ada S. Ballin, 1863-1906）は、科学的な子育てや乳幼児の健康管理を広く提唱し、母親向けの雑誌 *Baby, An Illustrated Monthly Magazine for Mothers* を創刊、この雑誌を基盤に *Baby’s Exhibition* を開催するなど、英国中流家庭に発言を続けました。ちょうど、バリン自身も講演した国際健康博覧会が1884年にロンドンで開催されるなど、衛生問題や健全な子育てに関心が高まっていた19世紀後半の英国で彼女の活動は広く受け入れられ、*Baby* 誌も35年に亘り刊行が続きます。

本シリーズでは、第1回配本にてバリンの主要著書や、上述国際健康博覧会での彼女の講演録および母親への育児ガイド本シリーズなど、14点の著作を収録、第2回以降に *Baby* 誌の復刻を予定しています。19世紀から20世紀にかけての英国での母親像の変化や母子に関わる衣食住環境の近代化について、あらたな視点をあたえてくれる資料集です。

【収録内容】

VOLUME 1: Introduction by Junko MITSUI -YAMAMOTO

Children’s Dress. A lecture, etc.

W. Clowes & Sons: London, 1884, [International Health Exhibition Lectures, 1884, vol. 1] pp.27

The Science of Dress in theory and practice. With ... illustrations.

Sampson Low & Co.: London, 1885, pp.xvi. 273

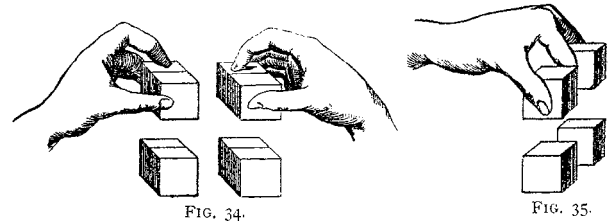
VOLUME 2: *Personal Hygiene.*

F. J. Rebman: London, 1894, pp. xii. 227

BALLIN, Ada S., and WELLDON (Elinor A.)

The Kindergarten System explained.

London : F. L. Ballin, [1896], pp. vii, 132

VOLUME 3: *From Cradle to School. A book for mothers.*

A. Constable & Co.: London, [1902], [Constable’s New Home Series] pp. vii. 344.

BALLIN, Ada S. (ed.) & PILLOW, H.

Nursery Cookery

London : F. L. Ballin, [1900], vii, 107,

VOLUME 4: *Mothers’ Guide Series.* Office of “Baby,” etc.: London, [1896-1914]

No. 1: How to Feed our Little Ones

No. 2: Baths and Bathing

No. 3: Early Education

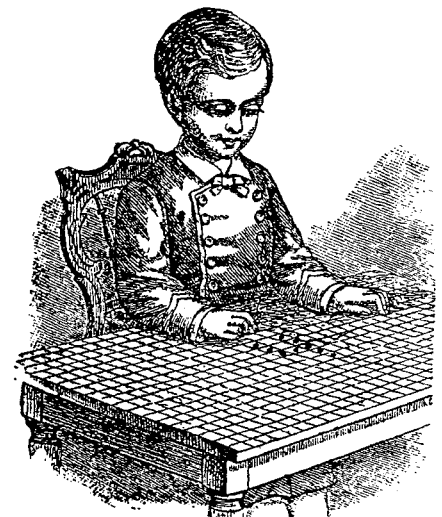
No. 4: Children’s Aliments

No. 5: The Expectant Mother

No. 6: Baby’s First Year

No. 7: The Skin Diseases of Childhood

No. 8: The Health Nursery



KINDERGARTEN TABLE.

フェミニズムとキリスト教信仰： ヴィクトリア朝～20世紀初頭文献集成 全6巻

Women and Belief, 1832-1928

編集・解説：Jessica Cox, University of Wales Lampeter

2012年10月刊行 約2,750 pp. 本体セット価¥128,000- (+税) ISBN 978-4-86166-128-0

西洋での女性の歴史のなかで、女性の解放と宗教信仰の関係の重要性は以前より言及されて来ましたが、最近より専門的学術研究のテーマとして論じられ始めています。本コレクションは女性運動が始まり、社会に広がったヴィクトリア朝時代から20世紀初頭まで、この問題につき論じた文献を書籍、雑誌記事、パンフレット類から選書し復刻で収録します。女性運動家、社会改革家、思想家、神学者、歴史家、経済学者、人類学者、心理学者などによる政治・宗教的論争、教会の説教、風刺小説、伝記、作法書等々多様な文献により、この時代の女性達の政治・社会的権利を求める信念と宗教上の信仰の間の葛藤を、あらゆる歴史的側面から探り、フェミニズムの発達の過程を明らかにします。対象とするのは英国からアメリカ、カナダ、そして植民地インドでのイスラム、ヒンドゥー、仏教に関する史・資料も含まれます。編者による総合解説と、各巻毎により詳細な文献解題と著者に関する伝記的注釈が加えられます。

◆収録文献明細◆

VOLUME I: General Introduction / Introduction & biographical notes.

Kavanagh, Julia. *Women of Christianity, exemplary for acts of piety and charity ... with portraits.* (London, 1852).

VOLUME II: Introduction & biographical notes.

1. Lee, Luther, *Woman's right to preach the Gospel* (1853).

2. Folio, Fred, *A Book for the Times: Lucy Boston, or, Woman's rights and spiritualism: illustrating the follies and delusions of the nineteenth century* (New York: J.C. Derby, 1855), including illustrations

VOLUME III: Introduction & biographical notes.

3. Landels, William, *Woman's sphere and work, considered in the light of scripture. A book for young women* (London: James Nisbet and Co., 1859).

4. Kay, William, *The Influence of Christianity on the position and character of Woman: A sermon [on Romans xvi.1]* (Calcutta, 1859).

5. Booth, Catherine Mumford, *Female ministry: or, woman's right to preach the Gospel* (London, 1859).

6. Seymour, Richard, *Woman's work: a speech delivered in the Lower House of Convocation on Tuesday, July 19, 1861* (London, 1862).

7. Armstrong, I.T., *Plea for modern prophetesses* (Glasgow, 1866).

8. Anon, *Female Franchise. Have Women Immortal Souls? The popular belief disputed. ... By a Clerk in Holy Orders* (London, 1868).

VOLUME IV: Introduction & biographical notes.

9. Bushnell, Horace, *Women's Suffrage: The Reform Against Nature* (1869).

10. Stagg, Annie Rollo, *The importance of religion to woman* (Stratford, Ont.? : s.n.), 1875).

11. Mandley, J. G., *Woman outside Christendom. An exposition of the influence exerted by Christianity on the social position and happiness of women* (London, 1880).

12. Machardie, Elizabeth, *What is Spiritualism? A paper read at the Annual Conference of the Christian Women's Union, held in Glasgow* (London, 1884).

13. Samson, Louisa, *Why women should be secularists* (London, 1891).

VOLUME V: Introduction & biographical notes.

14. Soulsby, Lucy Helen, *Religious Education for Women* (1894).

15. Stanton, Elizabeth Cady, Preface and Introduction to *The Woman's Bible* (1895).

16. Kare, B.H., *How is Woman treated by Man and Religion?* (Bombay, 1896).

17. Burt Gamble, Eliza, *The God-Idea of the Ancients or Sex in Religion* (1897), extract from conclusion.

18. Tyack, Lena, 'Joyce Maxwell's Mistakes' (1899).

19. Dietnick, Ellen Battelle, *Women in the Early Christian Ministry* (1897).

20. Gould, Frederick James, *Will women help? An appeal to women to assist in liberating modern thought from theological bonds* (London, 1900).

21. Dixie, Florence Caroline, "Towards freedom: an appeal to thoughtful men and women" *The Agnostic Journal* (London, 1904-5).

22. Hickey, Emily. *Thoughts for creedless women* (London, 1906).

VOLUME VI: Introduction & biographical notes.

23. Mordecai, Margaret. *Phases of Progress. A study of the evolution of religion, education and woman* (London & Edinburgh: Sands & Co., 1910).

24. Bushnell, Katherine. *God's Word to Women* (1910).

25. Keating, Joseph, S.J., "Christianity and 'Woman's Rights.'" [Catholic Social Guild Pamphlets. no. 16] (London: Catholic Truth Society, 1912).

26. Collegium, *The religious aspect of the women's movement: being a series of addresses delivered at meetings at the Queen's Hall, London, on June 19, 1912* (London: Collegium, 1912).

27. Ali, Syed Ameer, *The Legal Position of Women in Islam* (1912).

28. Despard, Charlotte, Theosophy and the woman's movement [Riddle of life series; no. IV] (London: Theosophical Publishing Society, 1913), including illustrations

29. Cohen, Chapman, *Woman and Christianity: The Subjection and Exploitation of a Sex* (London: The Pioneer Press, 1919).

30. Whitehead, George, *Religion and Woman* (London: Secular Society, 1928), extract from Chapter II.

女性と職業：英国 19 世紀～ 20 初頭文献集成

11 文献・合本 5 巻＋別冊解説

Women and Employment in 19th to Early 20th century Britain

監修・解説：松村豊子（江戸川大学教授）

2011 年 1 月刊行 A5 判・約 2,300 頁 本体セット価 ¥118,000 - (+税) ISBN 978-4-902454-72-7

産業革命は英国における女性の職種を拡大させ、それまでの乳母やガヴァネスといった限られた職業から、工場労働、荷役、清掃などから医療関係などのより専門性の高い職業まで、女性の労働力が社会の様々な分野で求められるようになりました。この働く女性たちの姿は、チャールズ・ディケンズ、エリザベス・ギヤスケルらによる 19 世紀英国小説にたびたび登場しますが、女性の職業や労働環境、職業訓練や教育等は当時の英国でも社会の重要な問題として論じられています。

本文献集は、この女性と職業に関する同時代の特徴的な文献を選び復刻し、英国 19 世紀文化・文学研究、女性史研究の資料としてご提供するものです。著名な女性解放論者ジョゼフィン・バトラーの著したパンフレットや、彼女がフランス・コップ、ジェームス・スチュアート、ジョージ・バトラー（彼女の夫）らの著述を編集した論集、よりよい職業を目指す女性のためのハンドブック、19 世紀末に労働省が行った調査報告と統計、ロンドンの職業養成協会がまとめた女性のためのガイド（男性のためのガイドも同時収録）など計 11 点の文献を収録いたします。

■収録文献■

VOL. 1: (c. 460 p.)

Butler, Josephine

The Education and Employment of Women, Liverpool: T. Brakell, 1868, 28 p.

Butler, Josephine (ed.)

Woman's Work and Woman's Culture, London: Macmillan, 1869, 430 p.

VOL. 2: (c. 440 p.)

Milne, John Duguid

Industrial Employment of Women in the Middle and Lower Ranks, revised ed., London: Longmans, Green & Co., 1870, 430 p.

VOL. 3: (c. 490 p.)

Pascoe, Charles Eyre

Schools for Girls and Colleges for Women. A Handbook of Female Education chiefly designed for the use of persons of the Upper Middle Class together with some chapters on the Higher Employment of Women, London: Hardwicke and Bogue, 1879, 271 p.

Bryant, Sophie

Over-Work: From the Teacher's Point of View, with Special Reference to Work in Schools for Girls, London: Francis Hodgson, 1885, 25 p.

Pfeiffer, Emily Jane (Davis)

Women and Work, London: Trubner, 1888, 190 p.

VOL. 4: (c. 400 p.)

Board of Trade - Employment of Women (Labour Dept.)

Report by Miss Collet on the Statistics of Employment of Women and Girls, London: HMSO, 1894, 160 p.

Macdonald, J. Ramsay (ed.)

Women in the Printing Trades: A Sociological Study, London: P. S. King & Son., 1904, 234 p.

VOL. 5: (c. 490 p.)

Berry, T. W.

Professions for Girls. With a Preface by Lady Grove, London: T. Fisher Unwin, 1909, 142 p.

The Apprenticeship and Skilled Employment Association

Trades for London Boys and How to Enter Them, London: Longmans, Green & Co., 1908, 175 p.

The Apprenticeship and Skilled Employment Association

Trades for London Girls and How to Enter Them, London: Longmans, Green & Co., 1909, 167 p.

19世紀英国家庭と子どものための 職業読本 全6巻＋別冊解説

Book of Trades: A Collection of the Nineteenth-Century Handbooks

編集・解説 ■ 小林章夫（上智大学教授）

2008年11月刊行 A5判・2,450頁（図版白黒多数） 本体セット価 ¥128,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-48-2

本書の特色

- 産業革命の広がりとともに誕生した、様々な近代的職業に関する子ども向けガイドや大衆向けの絵入り事典など7点の復刻集成。
- 時代とともに細かく分業化していく職業や使用される道具、そして商業製品などを、これから子ども、学生そして一般の人々に多くの図版とともに紹介した、ヴィクトリア朝時代の多様な文献集。
- ロンドンそしてグラスゴーで出版された最初期の稀覯ガイド本から、ヴィクトリア朝最盛期にいたる半世紀をカバー。
- 19世紀英文学の背景研究そして文化史、教育史、産業史等の広い分野の資料として利用可能。

◆収録文献内容◆

VOL. 1:

The Book of English Trades and Library of the Useful Arts, A New Edition Enlarged, with 500 Questions for the Exercise of Students, London: Richard Phillips & Co., 1824, c.480pp.

VOL. 2:

The Book of Trades or Circle of the Useful Arts, Glasgow: Richard Griffin & Co., 1835, c.370pp.

VOL. 3:

The Handbook of Trade and Commerce or, A Concise Dictionary of the Terms and Principles of Trade, Commerce, Manufactures, Commercial and Common Law, etc., with Tables of Money, Weights, and Measures, New Edition., London: Darton and Clark, 1842, c.330pp.

VOL. 4:

The Dictionary of Trade, Commerce, and Navigation: Explanatory of The Objects, Terms, Statistics, Laws and Regulations of the Excise, Customs, Public Affairs, Banking, Monies, Weights, Shipping, Fisheries, Imports, Exports, Book-Keeping, Commercial Geography, National Flags, and the General Affairs of Business Corrected up to the Latest Period, London: Brittain & Paternoster, 1844, c.390pp.

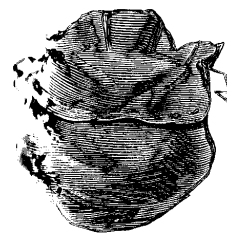
VOL. 5:

The Book of Trades, Arts, & Professions, relative to Food, Clothing, Shelter, Travelling and Ornament for the Use of the Young by Peter Paley, London: Darton and Co., 1855, c.125pp.

The Boy's Book of Trades and the Tools Used in Them, London: George Routledge & Sons, 1866, c.320pp.

VOL. 6:

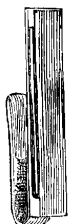
The Book of Trades: A Circle of the Arts and Manufactures, Adapted for Schools, Colleges and Families, New Edition, by James Wylede, London & Edinburgh: Gall & Inglis, 1878, c.414pp.



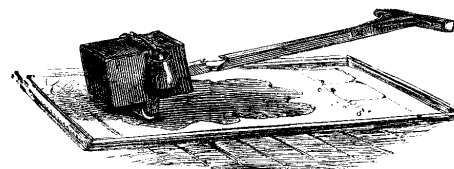
Apron.



Gloves.



Whetter.



Roller.



Leoline.



ガヴァネス・ノヴェルズ

全3巻＋別冊日本語解説

A Collection of Governess Novels in the Nineteenth Century Britain

監修■奈良女子大学大学院教授 横山茂雄 / 解説■岡山県立大学準教授 杉村寛子

2007年4月刊行 B6判 本体セット価¥78,000-(+税) ISBN 978-4-902454-28-4

本書の特色

- ヴィクトリア朝盛期に成立した、近代イギリス小説のサブジャンル＝ガヴァネス（女家庭教師）小説から、18世紀末から19世紀初期にかけて出版され、現在では入手が不可能な初期作品をも含む、代表作6点を精選し復刻
- 教訓物語、社会小説、ビルドゥングスロマン、シルヴァーフォーク小説等の多様な要素を内包するテキスト群
- 『ジェイン・エア』『アグネス・グレイ』『虚栄の市』…ガヴァネスを登場人物に据えた小説や、その社会背景および女性観の理解に不可欠の資料

■収録文献■

VOL. 1: c.348 pp

S.,H. *Anecdotes of Mary; or, the Good Governess*

London, E. Newbery. First Edition, 1795. 163pp

ガヴァネスを主な登場人物とする本格的な小説としては最初期の作品で、8歳になる貴族の娘 Mary に施される教育とその成果を通じて児童教育の大切さを説く教訓物語である。反抗的な主人公が、ガヴァネスの指導に従い、次第に性格上の欠点を克服していく様子が描かれる。

Hofland, Mrs. *Ellen, the Teacher: A Tale for Youth*

London, J. Harris and Son, Second Edition, 1819. 207pp

神に帰依することによって主人公が苦難を乗り越え、精神的に成長していく過程や結末はのちの『ジェイン・エア』を彷彿とさせる。ブロンテ姉妹が読んでいたかもしれないとして、この小説の影響の可能性を指摘する研究もある。

VOL. 2: c.626 pp

Mathews, Mrs. *Ellinor: or The Young Governess, A Moral Tale*
York, Thomas Wilson and Son. First Edition, 1809. 107pp

住み込みのガヴァネスと雇い主（家族）との関係をテーマとして取り上げた本格的なガヴァネス小説。厳しい境涯にある少女を主人公に、忍耐と刻苦勉勵の末にガヴァネスとして自立し、幸福をつかむ過程を描く。経済的理由からその道を選んだ、多くの現実のガヴァネスの人生を写しとっている。作者は自身スクール・ガヴァネスであった経験を生かし、子供を対象とする教育的な内容の本を執筆している。本作は死後出版されている。

Sewell, Elizabeth *Amy Herbert*

London, Longman, 1844 (two vols. bound in one), 519pp

10代の少年少女を対象にして書かれた長編小説。主人公の12歳の少女 Amy が母から信仰上、道徳上の訓練を受け、ガヴァネスとの交際などを通して精神の成長を遂げていく過程を追う。作者は、多くの小説を発表しており、ガヴァネスの問題に言及する教育書 *Principles of Education, Drawn from Nature and Revelation, and Applied to Female Education in the Upper Classes* (1865) も執筆している。

VOL. 3: c.356 pp

Sherwood, Mrs. [Mary Martha]

The Governess: or, the Little Female Academy

Wellington, F. Houlston and Son, Third Edition, 1822. 252pp

13章からなる物語で、9人の少女たちの過去の生活や行状が語られる。非常な人気を博したセアラ・フィールディングによるオリジナルの同名小説（1749）は版を重ね、19世紀に入ってからも広く読まれ続けた。寄宿舎学校を舞台とする点で厳密な意味でのガヴァネス小説ではないが、歴史的にみて重要性が高い。本集では、主に福音主義を基盤とした道徳的な内容の作品を著した作家、メアリ・マーサ・シャーウッドによる改作版（1822）を収録。

Craik, Dinah Mulock

Bread upon the Waters; A Governess's Life

London: Printed for the Governesses' Benevolent Institution, 1852 (Reprint, Leipzig, 1865), 99 pp

本作の表題は旧約聖書伝道の書の一節に由来し、「報酬を求めずに人に尽くす」の意で、大多数のガヴァネスが耐えた現実に忠実な結末を用意することにより、自己犠牲のもとに働くことの美徳を説く。著者はベストセラー *John Halifax, Gentleman* (1857) によって文学史に名をとどめる小説家。本作はガヴァネスへの経済的援助や年金制度の確立などを目的として設立されたガヴァネス援護協会 (Governesses' Benevolent Institution) の慈善活動の一環として書き下ろされた。



ブリティッシュ・サーヴァント

— 18-19 世紀「手引書」 — 【復刻集成】 全 5 巻 + 別冊日本語解説

British Servants - A Collection of Early Guides and Companions

編集・解説：小林章夫（上智大学文学部教授）

2006 年 4 月刊行 A5 判 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN 978-4-902454-22-2

本書の特色

- 英国近代化を裏で支えたサーヴァントに関する 18-19 世紀の文献集
- この時代に刊行された多くのガイドブックより、主要または特徴的な 13 点を精選
- 18 世紀初頭から 19 世紀末まで各時代の文献を出来る限り均等に選書し時代順に配置
- サーヴァントと彼らの仕えた英国貴族や勃興する中産階級の生活の変容、あるいは男女召使いそれぞれの「手引き」の差からのジェンダー史研究への資料としての応用など、さまざまな利用が可能な一次文献集

“今回ここに復刻したものは、18 世紀から 19 世紀のイギリスで大量に出回った「召使い本」の一部である。仕事の心構えに始まり、主人との関係、家事の能率的なこなし方、あるいは善良なる召使いとしての道徳を説いたものまで、そこに含まれた内容は、この時代の召使いの実相を知る上で、重要な手がかりになるに違いない。イギリス史はもちろんのこと、イギリス文学に関心のある読者にとっても、裨益するところはきわめて大きいのではないか。”

—小林章夫（上智大学教授）「刊行によせて」より

■各巻収録文献■

第 1 巻：[c.520pp]

Jacob, Giles

The compleat court-keeper: or, land steward's assistant. Containing, first, the nature of courts-leets and courts-baron; ... Fifthly, the power ... The second edition, with additions and amendments, London, 1715, 514p

第 2 巻：[c.310pp]

Anon.

A present for servants, from their ministers, masters, or other friends, London, 1710, 95p

Dodsley, Robert

The footman's friendly advice to his brethren of the livery; and to all servants in general : ... To which is prefix'd, an introduction, humbly ..., London, 1730, 31p

Anon.

The complete man and maid servant: containing, plain and easy instructions for servants of both sexes, ..., London, 1764, 87p

Johnson, Mary

[Some plain and necessary directions to maid-servants in general, and several useful tables], extract from *Madam Johnson's present: or, every young woman's companion, in useful and universal Knowledge. ...* The fourth edition, London, 1766, 17p

Anon.

A present for servants. Containing several useful articles of information, for persons in dependant stations of life; as L.Laws relating to servants and labourers, Salisbury, 1769, 23p

Barker, Anne

The complete servant maid: or young woman's best companion. Containing full, plain, and easy directions for qualifying them for service in general, ... By Mrs. Anne Barker, ..., London, 1770, 47p

Anon.

The servant's friend; or, the master and mistresses best gift to their servants, apprentices, and workmen. Being a set of excellent maxims; which, if duly practised, will render their service delightful and profitable, both to themselves and their employers., Edinburgh, 1793, 7p

第 3 巻：[c.525pp]

Raffald, Elizabeth

The experienced English housekeeper, for the use and ease of ladies, housekeepers, cooks, &c. Written purely from practice, ... The twelfth ed.,..., London, 1799, 411p

Anon.

Domestic management, or the art of conducting a family; with instructions to servants in general. Addressed to young housekeepers, London, 1800, 109p

第 4 巻：[c.510pp]

Adams, Samuel and Sarah

The complete servant; being a practical guide to the peculiar duties and business of all descriptions of servants..., London, 1825, 506p

第 5 巻：[c. 540pp]

Anon.

The servants' guide and family manual: with new and improved receipts, arranged and adapted to the duties of all classes of servants' Third edition, London, 1832, 334p

Anon.

The servants practical guide. A handbook of duties and rules, London, 1880, 204p

英国反フェミニズム文献集成第2回配本

20世紀初頭の反フェミニズム文献 全6巻

Anti-Feminism in Edwardian Literature

編集・解説：Lucy Delap and Ann Heilmann, University of Wales, Swansea

2006年3月刊行 本体セット価¥128,000- (+税) ISBN 978-4-901481-88-5

英国の反フェミニズム文献をまとめる復刻資料シリーズ第2回配本は、20世紀初頭の英国にて発表された文芸作品や様々な反フェミニズム評論と雑誌記事計11点を集成。女性参政権に反対したことで知られるこの時代の代表的女性小説家 Humphry Ward の反離婚小説、社会主義者・マルクス主義者からのフェミニズム批判論、英国植民地女性の反フェミニズム言説、優生学の立場からのフェミニズムへの反論等々、この時代の様々な社会の側面に影響を与えはじめていたフェミニズムに相対した、多様な立場の同時代人の危機感が、これらの文献から読み取れます。女性学、女性史研究だけでなく、広く20世紀初頭の社会学や文学、モダニズム研究に興味深い一次資料集です。詳細な解説が付されています。

【収録内容】

第1巻：[反離婚小説]

Mrs Humphry Ward, *Daphne or, Marriage à la Mode* (London: Cassell, 1911).

第2巻：[社会主義・進歩主義者の反フェミニズム論]

Belfort Bax, three chapters from *Essays in Socialism: New and Old* (London, Grant Richards, 1906).Frederic Harrison, four essays from *Realities and Ideals* (London: Macmillan and Co, 1908).Gasquoine Hartley, *The Truth About Women* (London: Eveleigh Nash, 1913).

第3巻：[雑誌に掲載された文芸作品および英国植民地における女性の反フェミニズム]

W. H. Mallock, 'Women in Parliament', *Nineteenth Century and After*, July 1912.'The Suffragettes', *Dominica Chronicle*, May to October 1913 (with an introductory note and annotations by Sue Thomas).Ardeshir Ruttonji Wadia, *Ethics of Feminism* (London, G. Allen & Unwin, 1923).

第4巻：[フェミニズム論への同時代の反論]

Ethel Colquhoun, *The Vocation of Woman* (London, Macmillan, 1913)

第5巻：[反女性参政権および母性・生命礼賛の反フェミニズム思想]

Marie Corelli, *Woman or Suffragette? A Question of National Choice* (London: C. Arthur Pearson, 1907). (40pp)Arabella Kenealy, *Feminism and Sex Extinction* (London: Fisher Unwin, 1920). (313pp)

第6巻：[男性作家の女性論]

Arnold Bennett, *Our Women: Chapters on the Sex-Discord* (London: Cassell, 1920). (264pp.)

反フェミニズム：

ヴィクトリア朝から20世紀初頭の雑誌記事・パンフレット集成 全4巻 [英国反フェミニズム文献集成 第3回]

Victorian and Edwardian Anti-Feminism

編集・解説：Lucy Delap, University of Cambridge & Valerie Sanders, University of Hull

2010年4月刊行 約1,600pp. 本体セット価¥88,000- (+税) ISBN 978-4-86166-127-3

本コレクションは、19世紀英国の主要評論誌や諷刺雑誌だけでなく、入手、閲覧の極めて難しい大衆雑誌やパンフレット類なども対象に、19世半ばから1920年代前半までの記事80件強を復刻にて収録しています。内容は11のテーマに分類され、教育、法律、科学、職業、結婚、母と家庭、社会諷刺、レジャー、文学、参政権、モダニズム、戦争など、現代の女性史研究に必要な視点がすべて網羅されています。

フェミニズム運動が同時代の政治、社会、世論に与えた影響を精査し、新たに女性史研究を展開させるための一次資料として、どうぞ広くご活用ください。

*収録文献の明細は <http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-127-3.html> でご覧いただけます。

英米 20 世紀初頭のフェミニズムと 雑誌ジャーナリズム – 同時代雑誌記事復刻集成 – 全 3 巻

Feminism and the Periodical Press, 1900-1918

編集・解説: Lucy Delap, King's College, Cambridge, Maria DiCenzo, Wilfrid Laurier University, Ontario & Leila Ryan, McMaster University, Ontario

ES Series: Historical Sources of Women's Studies

残部僅少

2006 年 1 月刊行 B5 判・約 1,410 頁 本体セット価 ¥98,000- (+税) ISBN 978-4-901481-93-9

本書の特色 ●フェミニズムの大きく展開した 20 世紀初頭の英米の雑誌文献集

- 今日のジェンダー研究の主要テーマ 20 項目ごとに集成
- 分野毎の解説入り
- メディアと女性の関係の研究にも貴重な資料

●収録分野●

1. Feminism, 'Femininity', and the Public Sphere / 2. International Networks of Learning and Exchange / 3. Issues of Race and 'The Race' / 4. Dissent and Conflict / 5. Mediating Culture: Reviews, Commentaries, and Literary Contributions / 6. Men and Masculinity / 7. Contesting the Boundaries of Public and Domestic Space / 8. Intersection of Social and Political Movements / 9. Publicity / 10. The Press / 11. Women and the Law / 12. The State and the Citizen / 13. Motherhood and the Family / 14. Women's Bodies/Health / 15. Violence, War, Militarism/Militancy / 16. Utopias and Modernity / 17. Professions, Work, Education / 18. Religion, / 19. 'Celebrity' and Famous Women / 20. Temperance and the Women's Movement

復刻版 フリー・ウーマン

《Eureka Press》

The Freewoman 全 2 巻 + 別冊日本語解説

復刻版監修・解説 ■出水純子 (大谷女子大学短期大学部教授)

2006 年 11 月刊行 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-27-7

残部僅少

本書の特色

- 1911 年にフェミニスト達が「性」を論じる場として創刊、英語圏におけるモダニズム運動の原動力となった雑誌『フリーウーマン (The Freewoman)』を初の完全復刻
- 女性運動、セクシュアリティ、ジェンダーに関する研究を始めとする人間性に関する研究、20 世紀初頭の英米思想史の研究に必備の重要文献
- 関与あるいは論議の対象とされた人物: パンクハースト夫人、J・バトラー、R・ウェスト、H・G・ウェルズ、H・エリス、E・カーペンター、S・ブラウン、O・シュライナー、ドライズデイル夫妻、O・ワイルド、D・H・ロレンス等

【収録内容】

Volume 1: No. 1 - No. 26 (1911 年 11 月 23 日 ~ 1912 年 5 月 16 日)

Volume 2: No. 27 - No. 47 (1912 年 5 月 23 日 ~ 1912 年 10 月 10 日)



女性と大英帝国：

18世紀初頭～20世紀初頭の一次資料集成 全5巻

Women and Empire, 1750-1939: Primary Sources on Gender and Anglo-Imperialism

ES Series: *Historical Studies of Women's Studies*

編集・解説： Susan K. Martin, LaTrobe University, Australia (Volume I: Australia);
Caroline Daley, University of Auckland, New Zealand (Volume II: New Zealand);
Elizabeth Dimock, LaTrobe University, Australia (Volume III: Africa);
Cheryl Cassidy, Eastern Michigan University, USA (Volume IV: India);
and Cecily Devereux, University of Alberta, Canada (Volume V: Canada)

2009年2月刊行 総約2,000頁 本体セット価¥98,000- (+税) ISBN 978-4-901481-95-3

大英帝国と女性の関わりに関する文献を、植民地地域毎にまとめます。各地に駐在した外交官や実業家の妻たち、女性旅行家、宣教のためキリスト教団体から各地に送られた女性宣教師、ジャーナリストや女医などの職業人等々、19世紀から20世紀前半に活躍した英国女性（一部米国人も含む）による日記、手記、書簡、新聞や雑誌記事、そして各種団体の文書など一次資料330点強を、各分野専門研究者が選書、解説を付しています。

【対象地域】

第1巻：オーストラリア（111文献） / 第2巻：ニュージーランド（83文献）
第3巻：アフリカ（72文献） / 第4巻：インド（31文献） / 第5巻：カナダ（39文献）

*収録文献の明細は <http://www.aplink.co.jp/synapse/4-901481-95-3.html> でご覧いただけます。

帝国史のなかの子ども

—19世紀～20世紀初頭の史資料復刻集成— 全4巻

Children and Empire

Edited and Introduced by Cheryl M. Cassidy & Andrea Kaston-Tange, Eastern Michigan University, USA

2012年12月刊行 234 x 156 mm・約1,600頁 本体セット価¥88,000- (+税) ISBN 978-4-86166-176-1

- 好評既刊『女性と大英帝国』に続く帝国史関連一次文献集成の第2弾
- 英米を中心に子どもと帝国主義に関わる多様な史資料180点弱を復刻収録
- 子どものありかたが大きく変わった19世紀における、国家の理想とする子ども像や国家間の差違、身体、育児、教育、道徳、遊び、労働、移民、キリスト教宣教など多様な問題に同時代の文献でせまる画期的資料集
- 同時代の新聞・雑誌記事、書籍からの抜粋に加え広告、写真図版も多数掲載。編者による詳細な解題付
- 英米帝国史、英米児童教育・文学・文化研究に必携

■各巻構成■

Volume 1: The "Civilizing" Mission: Education, Morality and Conversion

Volume 2: Management of Children: Life in Sickness and in Health

Volume 3: Migrations and Cultural Differences: Children throughout the Empire

Volume 4: Empire's Children at Home: The Domestic Impact of a Presence Abroad

*収録文献の詳細は、<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-176-1.html> でご覧いただけます。

女性ジャーナリストの誕生：

英米 19 世紀末～ 20 世紀初頭の文献集成 全 4 巻

Female Journalists of the Fin de Siècle

編集・解説：Lorna Shelley (University of Wolverhampton, UK)

(ES Series Historical Sources of Women's Studies)

2011 年 1 月刊行 約 1,600 頁 本体セット価 ¥94,500- (+税) ISBN 978-4-86166-130-3

世紀末の英国では、都市部の中流階級を中心に、従来の女性像の範疇でとらえられないタイプの女性たちが出現します。今日「新しい女＝New Woman」と称され、英国文学、文化史の研究テーマの一つとなっているこれらのグループは、選挙や教育の機会均等を求めると同時に、職業人として社会での自立を目指します。この New Woman たちに人気を得た専門職業の一つがジャーナリストでした。新聞、雑誌の読者層が、大衆、女性へと広がったヴィクトリア朝後期、婦人向けの家庭誌だけでなく、一部の一般誌紙も女性執筆者を迎え入れますが、それは保守的男性ジャーナリスト達の反感も招き、*Gentleman's Magazine*、*Pall Mall Magazine* といった主要評論誌も含め様々な論争を呼びます。また、世紀末文学のなかにも女性ジャーナリストを主人公とした小説がしばしば発表されます。これらの同時代の文献では、しばしば揶揄や批判の対象とされながらも、社会との軋轢を乗り越え、20 世紀初頭には *The Freewoman*、*The Egoist* といった、女性による優れた雑誌を生むことになります。

ヴィクトリア時代の女性の社会的役割の変化、女性と職業というテーマは、いまでは女性史の確立した研究分野となっていますが、近代ジャーナリズム成立期における女性ジャーナリストについての研究も最近注目を集めており、Margaret Beetham, *A Magazine of Her Own?*, 1996, Barbara Onslow, *Women of the Press in Nineteenth Century Britain*, 2000, Hilary Fraser et al., *Gender and the Victorian Periodical*, 2003 など優れた研究書が発表され始めています。しかしながら、このテーマの教育と、さらなる研究の展開に必要とされる同時代の史・資料は極めて入手が困難でした。今回出版されたこの文献集は、この欠落を埋めるべく、女性ジャーナリストや彼女たちと新聞・雑誌社との関係、女性の専門職業としてのジャーナリスト、彼女たちの執筆活動、そして世紀末英国社会における位置といった問題についての一次文献と、この時代に数多く発表された女性ジャーナリストをテーマにした小説など合計 49 点の資料を収録します。テーマ別 4 巻に収録し、編者による詳しい解説と、対象とされた新聞、雑誌に関する情報を付録しています。

◆収録内容◆

VOLUME I: THE ADVANCED WOMAN IN JOURNALISM AND THE CASE AGAINST THE WOMAN JOURNALIST

Part 1. The Advanced Woman in Journalism

Part 2. "Women and Print do not mix": The Case against the Woman Journalist

VOLUME II: FICTION I

Part 1. Women Journalists as Characters in *fin de siècle* stories

Part 2. Independence, Cross-Dressing, and Journalism

VOLUME IV: PRESS WORK IN FICTION AND IN FACT

Part 1. The Female Journalist and the "Yellow" Press in Fiction.

Part 2. "Is the woman journalist wanted?" The Female Journalist after the *fin de siècle*.



"I met my editor at a party."

英国モダニズム文学に描かれた女性参政権

全6巻

Women's Suffrage Literature

〈ES Series: Historical Sources of Women's Studies〉

編集・解説：Katharine Cockin, University of Hull, Glenda Norquay, Liverpool, John Moores University & Sowon Park, Corpus Christi College, Oxford University

2007年1月刊行 c.2600pp. 本体セット価¥138,000- (+税) ISBN 978-4-86166-046-7

本書の特色

- 女性参政権運動が一般に広がった英国 20 世紀初頭の文学、演劇作品集
- 6 編の長編小説と雑誌などに発表された短編や戯曲など約 50 の作品を復刻集成
- 全ての作品を抜粋でなく全文掲載
- 女性参政権論者による作品だけでなく、反参政権側の作品も収録
- 女性作家の団体 = Women Writers' Suffrage League や、女優の団体 = Actresses' Franchise League など異なる立場の女性参政権運動団体にも配慮し、今日の研究に必要な作品を限りなく広く網羅
- モダニズムや自然主義の文学とフェミニズム、ジェンダー、政治問題との関係を探るためのまたとない一次資料集
- 各巻毎に編者による詳細な解題入り

◆収録内容◆

Volume I: エリザベス・ロビンズ作品集

フェミニストの女優、小説家として著名なエリザベス・ロビンズの小説2編です。

Volume II: ガートルード・コルモア作品集

ラディカルな文学手法で女性参政権を表現したガートルード・コルモアの代表作 *Suffragette Sally* と、雑誌に発表された多くの短編小説を集成します。

Volume III: 演劇作品における女性参政権

設立されたばかりの女優団体 *Actresses Franchise League* にとって、女性参政権の問題といかに取り組むかはもっとも重要かつ複雑な問題であると同時に、演劇がこの参政権運動のもっとも効果的なプロパガンダの手法であることも認識していました。この巻では、この時代に上演された演劇の戯曲や雑誌に発表された劇作を一部アメリカの作品も含め収録します。未公刊戯曲も含まれます。

Volume IV: 大衆小説に描かれた女性参政権運動

女性参政権運動が一般に広がりを見せる中、フェミニスト/反フェミニストの境界を特に意識しないような大衆小説のなかにも女性参政権を扱うものが発表され始めます。ここでは代表的な長編1点と短編をまとめます。

Volume V: 反女性参政権小説『家庭の破壊者たち』

女性参政権は女性だけの問題ではなく男性の生活にも大きな影響を及ぼすという立場からの、反女性参政権小説の代表的な小説を収録します。

Volume VI: 女性参政権運動を回顧したイーディス・ザングウィルの小説

女性参政権運動後期に発表された本作品は、小説の形で発表されたこの問題に関する作品では最も成功したとされています。それまで運動に携わった多くの人々に捧げられ、作者自身も関わった参政権運動を回顧しながらもそれに留まらず、女性の社会活動や女性性的の問題などを明確に語る本書は、その後のフェミニズム運動につながる力強いメッセージを持った作品となっています。



アイルランドのフェミニズム

【復刻文献集成】 全5巻

Irish Feminisms, 1810-1930

編集・解説：Mary Pierse and Ann Walsh, University College Cork, Ireland

[ES Series: Historical Sources on Women's Studies]

2010年1月刊行 c. 2,500pp. 本体セット価¥118,000- (+税) ISBN 978-4-86166-113-6

アイルランドにおける近代フェミニズムの誕生から その変遷を追う、初めての一次資料復刻集

ヴィクトリア朝期からモダニズム期にいたる著作を、文学、思想、政治など様々なバックグラウンドを持つ作品から広く選書し、フェミニズムという多様な思想が、政治、宗教的にも複雑な位置にあり続けたアイルランドの社会、文化の中にいかに築かれていったのかを探るための、他に例のない史資料集です。収録する文献は単行本著作の抜粋やアイルランドでこの時代に発行されたパンフレット、雑誌、新聞記事などの一次資料を中心に、Lady Gregory、ALady Wilde(オスカー・ワイルドの母)、Parnells といった著名人の著作から無名の著者のものまで含みます。フェミニズムに対するアプローチの差異は、それぞれの著者の政治、宗教的背景により他の西洋諸国よりさらに色濃く出、アイルランド女性の置かれていた状況を時代の変遷とともに読み解くことを可能にします。収録される文献はほとんどが日本だけでなく海外図書館でも入手の不可能な文献ばかりです。

各巻以下の分野別構成で、各分野毎に詳しい解説が编者より書き下ろされています。

Volume I: Leading the Way

「フェミニズム思想の潮流」

Volume II: Land and Labour

「アイルランド土地戦争時代の政治変動と女性土地同盟」

Volume III: Eire Abu? - Ireland Forever ?

「新たなアイルランド社会のなかでの女性」

Volume IV: In the Real World

「アイルランド女性の社会、教育、性、結婚、宗教」

Volume V: Literary Approaches

「アイルランド文学者のフェミニズム」



* 収録文献の明細は

<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-113-6.html>

でご覧いただけます。

ヴィクトリア朝少年・少女雑誌 復刻シリーズ第2回配本

ボーイズ・オウン・ペーパー 1879-1882年**全4巻+別冊（解説&索引）**

Boy's Own Papers Vol. 1 - 4

監修・解説：川端有子（日本女子大学） / New Introduction: Kimberley Reynolds, University of Newcastle upon Tyne

2008年11月刊行 本体セット価¥128,000-（+税） ISBN 978-4-902454-18-5

A4判（原寸）・約3,300頁・図版多数（一部カラー）

【巻構成】

Volume 1: #1-37 (Jan. 1879 - Sept. 1879) Volume 2: #38-89 (Oct. 1878 - Sept. 1880)

Volume 3: #90-141 (Oct. 1880 - Sept. 1881) Volume 4: #142-194 (Oct. 1881 - Sept. 1882)

本書の特色

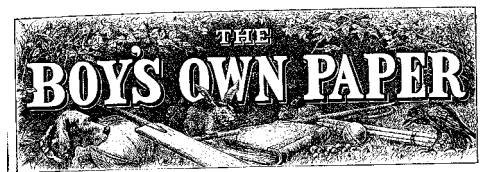
- 19世紀英国で始まった子ども向け教養雑誌のなかで、圧倒的な人気を得た少年向け雑誌 *Boy's Own Paper* の最も稀覯な創刊号から4年間の194号を完全復刻
- マンガのような挿絵や連載小説、読者通信欄など、今日につながる少年向けの大衆メディアの原型を作った雑誌
- 大英帝国の理想とする男児の啓蒙を目的とした本書はイギリス児童文学研究だけでなく、英国近代史、メディア史そして男性性の研究やジェンダー史の資料としても利用価値大
- 監修者による解説と日本語主題付記索引が別冊に収録

監修者の言葉

川端有子

1879年1月18日、その後1967年まで続き、英語圏の少年たちに読み物を提供し続けた雑誌、『ボーイズ・オウン・ペーパー』（BOP）が創刊された。出版元は、日曜学校向けの宗教冊子や、子ども向けの雑誌出版で経験をつんだ福音主義系の宗教叢書協会（Religious Tract Society）。同様の雑誌がひしめくなか、BOPは、群を抜いて売り上げを伸ばし、創刊から5年以内には、25万部の発行部数を誇る成功を収める。ふんだんに挿絵をあしらった連載小説、冒険談やスポーツ記事、ゲームや工作など、少年たちの興味関心を引く話題を惜しげもなく満載しながら、週にたった1ペニーという値段は、容易におこづかいで買える範囲であった。作文コンテストで優勝すれば賞金がもらえ、投稿が採用されれば名前が載る。印刷物が大量生産され、輸送され、消費される社会が整い、識字層の拡大により雑誌文化が開花した19世紀末のイギリスで、BOPは、文字通り「少年自身」のメディアとして、今日のテレビや携帯に匹敵するコミュニケーションを提供したのである。

しかし宗教叢書協会は、単に少年たちに娯楽を提供するために、この雑誌を発行したわけではなかった。その重要な目的の一つには、やはり1ペニーで巷にはびこる「ペニー・ドレッドフル」と呼ばれる暴力的で扇情的な読み物の悪影響から、青少年を守る、という大義があったのである。現在もその名が残る有名な作家たち、たとえばバランティン、ジュール・ベルヌ、コナン・ドイルらの書く「健全な」冒険小説や学校小説は、誠実で勇敢なクリスチャンの男性理想を描きだし、わくわくさせながらも、少年たちの想像力を「正しい」方向へ導くことを期待された。「オモシロクテタメニナル」。ともすれば、共倒れになるこの二つの理念を掲げて成功したBOPは、あすをになう少年へ向けて「男らしさ」の理想を描き出す格好の媒体であっただろう。BOPの復刊は、イギリスの19世紀末から20世紀にいたる児童文学の研究にはもちろんのこと、社会変化に伴う男性性の理想、帝国の繁栄とその変容の歴史といった研究に、不可欠の一次資料となるはずである。



MY FIRST FOOTBALL MATCH.
It was a proud moment in my existence when Wright, captain of our football club, came up to me on school one Friday and said, "Ah, you mean to go down to play in the match against Green's?" I could have knighted him on the spot. To be one of the picked "heroes," whose glory it was to fight the battles of their school in the Great Game, had been the best and best of wishes of my life—I suppose I ought to be ashamed to confess it—ever since, as a little chap of ten, I entered football six years ago. Not a winter Saturday but had seen me either looking on at some big match, or officer still scrambling about with a score or so of other games in a match game. The first long time, do what I would, I always seemed as far as ever from the coveted goal, and was half-dropping of ever trying to win my "first fifteen cap." Lastly, however, I had noticed Wright and a few others of our best players were then once bringing about in the Little Close where no games used to play, without taking observations with us up to business. Under the averted gaze of those boys, and I say I carried away as I had never done before? What could I for back or knees, so only that I could distinguish myself in their eyes? And never was music sweeter



ヴィクトリア朝少年・少女雑誌 復刻シリーズ第1回配本

ガールズ・オウン・ペーパー 1880-1883年

全4巻+別冊（解説&索引）

The Girl's Own Paper Vol. 1-4

残部僅少

監修・解説：川端有子（日本女子大学） / New Introduction: Kimberley Reynolds, University of Newcastle upon Tyne

2006年10月刊行 本体セット価 ¥128,000- (+税) ISBN 978-4-902454-17-8

約3200頁（全4巻+別冊）・図版（白黒）多数 サイズ：A4判（原寸）

本書の特色

- 19世紀英国の代表的な子供向け雑誌を復刻する新シリーズの第1弾
- 少女向け雑誌として階級を問わず人気を誇った、ガールズ・オウン・ペーパーの創刊号より4年分を復刻
- 恋愛・結婚についての読み物や、家事・服飾など生活に関する実用的アドバイス、人生相談などの投書欄等々、ヴィクトリア期の児童、女性文化、そして教育の研究に必携の一次文献

■収録巻号■

Vol. 1: #1-39 (Jan 1880-Sept 1880), c.640pp / Vol. 2: #40-91 (Oct 1880-Sept 1881), c.840pp

Vol. 3: #92-139 (Oct 1881-Sept 1882), c.865pp / Vol. 4: #140-197 (Oct 1882-Sept 1883), c.835pp

【女性史 教育史 ヴィクトリア朝研究 19世紀英文学 ジェンダー・フェミニズム】

《Edition Synapse》

ヴィクトリア朝女性教育

同時代雑誌記事・論文集成 全6巻

Nineteenth-Century British Women's Education, 1840 - 1900

ES Series: Historical Sources of Women's Studies

Edited by Susan Hamilton, University of Alberta & Janice Schroeder, Carleton University

2007年9月刊行 A5判・約2,400頁 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN 978-4-86166-047-4

本書の特色

- 女性教育に関する近代的諸問題の論議や改革が進んだヴィクトリア朝時代の教育論や著述を、同時代の評論誌、女性雑誌、教育機関誌やパンフレット、そして論集からの抜粋などにより集成。
- *Quarterly Review*, *Contemporary Review*, *Edinburgh Review*, *Frazer's Magazine* 等の主要誌から、*English Woman's Journal* のような女性向け雑誌、National Association for the Promotion of Social Science, The School Board of London などの教育機関のマイナー出版物にいたるまで、150点近い文献を網羅。
- 「少女の教育」「労働者階級の女性の教育」「女性向けの高等教育」「性と精神」といったテーマ別の章に加え、Girton College, Cambridge の創設に関わった Emily Davies, Cheltenham Ladies College の校長を長く務め、St.Hilda's College, Oxford を設立した Dorothea Beale、Camden School for Girls を立ち上げた Mary Buss、フレーベルの影響の下 Girls' Public Day School で幼児教育を実践した Maria Grey と Emily Shirreff 姉妹、貧困層の教育や児童の矯正教育に力を注いだ Mary Carpenter など女性教育の先駆者の著述を著者毎に編集した章を並列。
- 小社既刊で、単行本の復刻を中心に女性教育書を復刻した叢書、『女性教育－19世紀英国基本文献集成』（香川せつ子編全18巻）と合わせ、女性教育に関するヴィクトリア朝の文献コレクションが完成。

*内容明細は、<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-047-5.htm> でご覧いただけます。

トマス・バウドラー編

19 世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集

【復刻版】 全 10 巻 + 別冊日本語解説

The Family Shakespeare, in which nothing is added to the original text; but those words and expressions are omitted which cannot with propriety be read aloud in a family.

By Thomas Bowdler.

復刻版監修・解説 ■金子雄司（中央大学教授）

2009年9月刊行 本体セット価¥138,000- (+税) ISBN 978-4-902454-16-1

B6判・約3,550頁 (1820年改訂第2版ファクリミリ版)

本書の特色

- 性的・冒瀆的表現を徹底的に削除、「換骨奪胎」されたシェイクスピア。「バウドラー化する」(boudlerize)という単語を生むほど大衆に浸透し、改版を重ねた大ベストセラー、初の復刻。
- バウドラー自身の編集による改訂第2版全10巻(1820年)を復刻。
- 19世紀イギリスのシェイクスピア受容の実態、また、当時の倫理観を知る上で、不可欠の一次文献。
- カルチュラルスタディーズ、特にセクシュアリティ、身体論の研究にも重要な視座を提供

本書を推す。

喜志哲雄（京都大学名誉教授）

シェイクスピアに関わる人は無数にいるが、それが原因で自分の名前から英語の単語が生れた人は、おそらく十指にも満たないであろう。そういう極めて稀な人物のひとりがトマス・バウドラー (Thomas Bowdler, 1754-1825) というイギリス人の医師である。シェイクスピアの作品は確かに名作だが、卑猥な表現や冒瀆的な表現がしばしば現れるので、そのままのかたちで家庭で読むのは具合が悪いと、彼は考え、不適切だと自分が判断した字句を削除したテキストをわざわざこしらえた。それが『19世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集』(*The Family Shakespeare*)である。1807年の出版で、シェイクスピア劇20篇の削除版が収められている。これは実は彼の双子児の姉妹ヘンリエッタ・マライア・バウドラー (Henrietta Maria Bowdler, 1754-1830) の仕事であったらしいのだが、いずれにせよ、トマスが残りの作品をやはり無害なものにした版が、1818年に出版され、削除版は完成した。この本は非常によく売れ、文藝作品から差障りのある箇所を削除することを意味する「バウドラー化する」(bowdlerize)という単語が生れた。

当然ながら、バウドラーは余計なことをした人間だと見なされている。しかし彼は当時の読者の道徳観を考慮してテキストを作ったのだから、この仕事はシェイクスピア受容史の非常に重要な一面を表していることは誰にも否定できない。19世紀のシェイクスピア受容の実態を知るには、これほど都合の良い本はない。あいにく大抵の研究者は、バウドラーを悪名高い人物と決めつけ、彼を軽視して来た嫌いがある。だがこの復刻版によって、わが国の研究者にとっても、バウドラーの仕事の詳細がようやく明らかになる。シェイクスピアの作品がどのように受容されて来たかという問題を真剣に研究しようとする人にとっては、これは不可欠の一次資料なのである。

-TABLE OF CONTENTS-

VOLUME 1:

Preface by Thomas Bowdler
Tempest
Two Gentlemen of Verona
Merry Wives of Windsor
Twelfth-Night: or, What You Will

VOLUME 2:

Preface to the Following Theatre Copy of
Measure for Measure by Thomas Bowdler
Measure for Measure
Much Ado about Nothing
Midsummer-night's Dream
Love's Labour's Lost

VOLUME 3:

Merchant of Venice
As You Like It
All's Well that Ends Well
Taming of the Shrew

VOLUME 4:

Winter's Tale
Comedy of Errors
Macbeth
King John

VOLUME 5:

The Life and Death of King Richard II
Preface of the Editor to the Two Parts of
Henry IV
First Part of King Henry IV
Second Part of King Henry IV
King Henry V

VOLUME 6:

First Part of King Henry VI
Second Part of King Henry VI
Third Part of King Henry VI

VOLUME 7:

Life and Death of King Richard III

King Henry VIII

Troilus and Cressida

Volume 8:

Timon of Athens
Coriolanus
Julius Caesar
Anthony and Cleopatra

VOLUME 9:

Cymbeline
Titus Andronicus
King Lear

VOLUME 10:

Romeo and Juliet
Preface to Hamlet by Thomas Bowdler
Hamlet, Prince of Denmark
Preface to Othello by Thomas Bowdler
Othello, the Moor of Venice

女性フェアリー・テイル作家復刻選集

オーノワ夫人 / アン・サッカレー・リッチー / メアリー・ド・モーガン
全4巻＋別冊日本語解説

Literary Fairy Tales by Women Writers

監修：松村昌家（大手前大学名誉教授） / 編集・解説：村井まや子（神奈川大学准教授）

2010年9月刊行 A5判・約1,860頁（白黒図版多数） 本体セット価 ¥98,000-（＋税）

ISBN 978-4-902454-66-6

英国の読者に最も古くから親しまれた文芸フェアリー・テイルを著したフランスのオーノワ夫人、オーノワ夫人に直接的な影響を受けた、英国のアン・サッカレー・リッチーに加え、モリス、ラスキン、ロセッティ兄妹などラファエル前派との家族ぐるみの交流のなかで育ち、ヴィクトリア時代の女性の視点から辛辣な社会批判に満ちた幻想物語を創造したメアリー・ド・モーガン。これら3作家の主要作品を網羅する復刻文献集です。ウィリアム・ド・モーガン、ウォルター・クレインなどによる貴重な挿絵も多く含まれます。近年再評価の進む、近代フェアリー・テイル文芸の発展と、女性作家が果たした役割を考察する上で欠かせない作品群であり、児童文学研究のみならず、女性史・社会史・比較文化の研究にもお薦めいたします。



◆収録内容◆

VOL.1 (c.530 pp.)

Madame d'Aulnoy,

'The Tales of the fairies'

(Chap. IV of *The Diverting Works of the Contess d'Anois*,
2nd edition), London: John Nicolson, 1715

De Morgan, Mary,

On a Pincushion, and Other Fairy Tales,

London: Seeley, Jackson & Halliday, 1877

(with Illustrations by William de Morgan)

VOL.2 (c.465 pp.)

De Morgan, Mary,

The Necklace of Princess Fiorimonde, and Other Stories,

London: Macmillan & Co., 1880 (with Illustrations by Walter Crane)

De Morgan, Mary,

The Windfairies,

London: Seeley & Co., 1900 (with Illustrations by Olive Cockerell)

VOL.3 (c.430 pp.)

Ritchie, Anne Thackeray,

Bluebeard's Keys and Other Stories,

London: Smith, Elder & Co., 1874

VOL.4 (c.440 pp.)

Ritchie, Anne Thackeray,

Five Old Friends and a Young Prince,

London: Smith, Elder & Co., 1868

(with Illustrations by Frederick Walker)

ロバート・チェンバース編著

スコットランド歌謡・バラッド・伝承詩集成

全4巻＋別冊日本語解説

Scottish Songs, Ballads and Popular Rhymes, edited by Robert Chambers

監修・解説：照山顕人（関東学園大学）

2010年12月刊行 B6判・c.1,555 pp. 本体セット価¥ 88,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-65-9

本書の特色

- 18世紀以降のナショナリズムの高まりに呼応し創作された、スコットランドのナショナルソング、バラッド、さらに発掘された伝承古謡・古詩を注釈・解説と共に集成。後のチャイルド版の重要な資料の一つとなった。
- 「チェンバース教育叢書」「チェンバース百科」など、19世紀のエジンバラで数々の百科事典・啓蒙書を執筆、雑誌を刊行した文人・出版人のロバート・チェンバースが編纂。
- 明治以降の日本でも『小学唱歌集』などの音楽教科書で取り上げられた、スコットランドのナショナルソングおよびバラッドを集大成した2巻、伝承古謡・古詩などの言語伝承を紹介、解説した1巻を同時復刻。

【収録内容】

- Vol. 1 & Vol. 2 : *The Scottish Songs; Collected and Illustrated*. Edited Robert Chambers
Edinburgh: William Tait, 1829. lxxix, 254 pp. (vol. 1) / vii, 399 pp. (vol. 2)
- Vol. 3 : *The Scottish Ballads; Collected and Illustrated*. Edited by Robert Chambers
Edinburgh: William Tait, 1829. vii, 399 pp.
- Vol. 4 : *Popular Rhymes of Scotland*, new edition. by Robert Chambers
London and Edinburgh: W & R Chambers, 1870. vii,402 pp.

監修のことば

照山顕人（関東学園大学）

ロバート・チェンバース (Robert Chambers, 1802-71) は 19 世紀出版界のマルチ人間で、まれに見る奇才である。彼の知的好奇心はとどまるところを知らず、兄のウィリアムとともに書籍販売業、出版業を生業としながら数多くの著作をものにした。特に緻密な調査に基づいた、啓蒙的なレファレンス・ブックはきわめて重要である。百科事典 (*Chambers's Encyclopaedia*)、文学事典 (*The Cyclopaedia of English Literature*)、伝記事典 (*A Biographical Dictionary of Eminent Scotsmen*)、また年中行事百科事典 (*The Book of Days*)、家庭年鑑 (*Domestic Annals of Scotland*)、エディンバラの記録集 (*Traditions of Edinburgh*) など枚挙に暇がない。また自然科学への関心からダーウィンの先行理論となる『生物進化の証跡』 (*The Vestiges of the Natural History of Creation*) を匿名で著し、画期的な自然観を説いた。

レファレンス・ブック編纂で彼が見せた深い考察は、スコットランド歌謡集に対しても反映された。彼が幼少の頃から親しんだ伝承歌には詳細な注釈・解説が加えられ *The Popular Rhymes of Scotland* (1826)、*The Scottish Ballads* (1829)、*The Scottish Songs* (1829) へと結実する。*The Popular Rhymes of Scotland* は、スコットランドに伝わる様々な言語伝承を取りまとめたものであるが、特に注目すべきことは ナーサリー・ライムが項目の一つとして立てられていることである。それまでの歌謡集にはナーサリー・ライムが収録されることがあっても、ソングの一つとしての扱いであり、ナーサリー・ライムとして独立してまとめたものはこれが最初である。初版 (1826) への収録はわずかに 2 ページ 4 篇であったが、1870 年の新版では 37 ページへと増補されている。今回の復刻シリーズでは、質・量ともに最も充実した新版 (1870 年版) が元本である。1829 年に出版された *The Scottish Ballads* と *The Scottish Songs* は、注釈も含めて当時のスコットランド歌謡の状況を知るには格好の文献であり、後年 Francis James Child (1825-96) が編集した *The English and Scottish Popular Ballads* (5 vols, 1882-98) の重要な資料の一つとなった。Child のこの作品は伝承バラッドの集大成であり、今日ではバラッド研究の規範ともなっている。Chambers の時代、バラッドとソングの区別はそれほどはっきりしておらず、Chambers がソングとして扱った「歌」を Child がバラッドとしていることも多い。テキストのみならず認識の変遷を知る上でも *The Scottish Ballads* と *The Scottish Songs* はスコットランド歌謡研究に不可欠であろう。

【復刻集成】 子どものためのチャップブック

— 19 世紀英国伝承歌・物語・絵本集 — 全 1 巻 + 別冊和文解説

Songs and Tales for Children:

A Collection of Chapbooks in 19th-Century Britain

編集・解説 ■ 三宅興子（梅花女子大学名誉教授） 協力 ■ 梅花女子大学図書館

2008 年 5 月刊行 B5 判・約 211 頁（図版多数） 本体価 ¥19,800-（+税） ISBN 978-4-902454-40-6

本書の特色

- 19 世紀前半の英国で子ども向けチャップブックのシリーズを発行した重要出版社、ケンドリュー社（ヨーク）、ラッシャー社（バンバリー）の出版物 40 点（他 3 点）を完全復刻。いずれも現在、入手は極めて困難な貴重資料。
- 児童文学のみならず広く大衆文化史研究の素材としても重要。



編者のことば

三宅興子（梅花女子大学名誉教授）

「チャップブック」というのは、チャップマンという行商人が荷物に入れて売り歩いたことから、後に、本のコレクターが総称するようになったイギリスの民衆本のことである。流布していたのは、17 世紀後半から 200 年ぐらいの間である。一枚の紙の裏表に木版で刷られ、さし絵がついていることが多い。それを、折りたたんで、8 か 16 か 32 ページなどの小型本にして、発売した。

本を読むという行為が社会のかなりの人々に広がり、19 世紀に入ると人口の約半数が識字できたといわれている。それに加えて、印刷技術の普及によって、地方にも家内工業ではあるが、出版業が成立していったことが、チャップブックがイギリス全域で普及した背景にあった。

チャップブックは、簡単に印刷できるので、話題性のある出来事や流行している小話や唄、占いなども含めて、多岐にわたるテーマを取り扱っており、18 世紀末になると、明らかに、子ども読者向きとおもわれるものも出てくるようになった。ヨークのケンドリューやバンバリーのラッシャーなど 19 世紀前半には、子ども向きのシリーズを出版する者もあらわれてくる。こうした民衆本によって、その時代の読者に受け入れられ、普及したタイトルが何であったのか、また、稚拙な木版に表現された図像によって表象されているものが持つ意味を考察することができる。

この復刻コレクションは、主に、19 世紀前半の地方出版のものが中心になっている。同一タイトルの人気作品が、各地の出版社でみられるなど、教育的な立場から、否定的に扱われていた民衆の好む伝承性の高い作品—昔話やロマンス、マザーグース、特にノンセンスな唄など—が多数みられることは注目し得るだろう。また、教育的な材料である「ABC 絵本」も楽しいものにできあがっているし、「ロンドンの物売り」などのタイトルは、当時の物売りの声や風俗を知ることが出来る。児童文学、伝承文学、文化史、社会史、読者論、図像学など、さまざまな分野に関わる方々に興味深いコレクションになっている。

ヴィクトリア朝の室内装飾と 世紀末審美改革運動 — 同時代文献集 —

Aesthetic Movement in Victorian Life 全6巻 + 別冊日本語解説

編集・解説：福島大学行政政策学類教授 辻みどり

2005年11月刊行 本体セット価 ¥138,000- (+税) ISBN 978-4-86166-019-1

残部僅少

本書の特色

- 19世紀末英国の中流家庭でブームとなった、インテリアやライフスタイル向上のための啓蒙書9点を多数の図版とともに復刻集成
- ヴィクトリア朝文学の背景研究、デザイン、居住学、ジェンダーや消費・生活文化史研究など幅広く活用可能
- 英国の図書館でも体系的収集がされていない稀覯文献集

刊行によせて

福島大学行政政策学類教授 辻みどり

1870年代以降英国では、室内装飾の啓蒙書が数多く出版された。室内装飾とて侮ってはいけぬ。発行年を追いつながらそれぞれの内容を吟味することによって、読者と想定されたミドルクラス層の生活文化の変遷が浮かび上がる一方、「審美啓蒙家」を自認する著者たちが、一般大衆の「審美改革」を通して国家の progress に貢献しようとした使命感といった、ヴィクトリア朝社会の諸相を映す鏡として活用することができるからである。

当時の主な読者は、性別役割分業により「家庭の天使」となることを期待された郊外住宅の専業主婦たちであった。啓蒙書の内容を通時的に比較すると、貴族たちの「文化資本」を反映した美の原理や良い趣味の原則といった抽象的な解説から、次第にミドルクラスの身の丈にあった新しいライフスタイルを提案して、予算に留意しながら部屋の目的別に家具・壁紙・装飾品等の選択とコーディネートの方法を解説する、実践的マニュアルへと変化していく様子が伺われる。

「審美啓蒙家」たちが推奨する家具・壁紙・装飾品等に注目すれば、よき趣味の規範となるデザインを知ることになり、ヴィクトリア朝小説の登場人物について、当時の読者同様に理解する手がかりを得ることができる。ミドルクラスを核として消費社会が拡張する中で、室内装飾は誇示的消費による差別化の手段として用いられるようになり、啓蒙書の内容はモノが集積した室内空間を解説する記号のコード表として機能するからである。啓蒙書の中には家具製造業者の名前と価格が添えられたカタログ的なものも登場する。

差別化のための具体的アイデアの中で、日本の扇子や雑貨が紹介され、日本人村 (1885) やサヴォイオペラ『ミカド』(1885) の人気と相乗して、通俗的「ジャポニズム」の爆発的ブームを引き起こす要因を提供した。「アン女王様式」とともに「エステティック」或いは「アーティスティック」ブームの核をなし、その席卷ぶりが社会現象として雑誌『パンチ』で頻りに風刺されるに至った、通俗的「ジャポニズム」ブームの実態を、啓蒙書の記述から辿ることができる。

こうしてみると、英文学の文化背景のみならず居住学、デザイン史や、ジェンダースタディーズ、消費社会論を切り口としたヴィクトリア朝ミドルクラスの生活文化研究の史料としての、室内装飾の啓蒙書の価値は明示的だが、ごく最近まで大衆向け出版物として捨て置かれてきたことから、英国の図書館でも体系的な収集が行き届いておらず、資料収集そのものに変な労力を要するという難点があった。今回の文献集は、1870年代から1900年の間に英国で出版された啓蒙書を網羅したうえ、文献末の広告に至るまで復刻し、英国でもアクセスが困難な文献を収録している点が貴重であり魅力的である。

【収録文献】約2,500頁(図版多数)

Vol. 1 Introduction by Midori Tsuji

Mrs H.R. Haweis, *The Art of Decoration*, 1881, 407pp

Vol. 2 H.J. Cooper, *The Art of Furnishing on Rational and Aesthetic Principles*, 1876, 116pp, 32 plates

Mrs H.R. Haweis, *Beautiful Houses: being a description of certain well-known artistic houses*, 1st ed. 1882, 283pp

[Anon], *Artistic Homes or How to Furnish with Taste*, c. 1881, 120pp

Vol. 3 R.W. Edis, *Decoration and Furniture of Town Houses*, 1881, 290pp

Vol. 4 Lewis F. Day, *Everyday Art, Short Essays on the Arts Not-Fine*, 1882, 283pp

Mrs J.E. Panton, *From Kitchen to Garret*, 1889, 248pp

Vol. 5 Lucy Crane, *Art and the Formation of Taste*, 1882, 292pp, ill.

Vol. 6 Mrs J.E. Panton, *A Gentlewoman's Home, the Whole Art of Building, and Beautifying the Home*, 1896, 449pp, ill.

ヴィクトリア朝ガイドブック・シリーズ

ヴィクトリア朝の生活と芸術

【復刻版】 全12タイトル・合本4巻＋別冊日本語解説

The Art at Home

監修・解説：辻みどり（福島大学教授）

2010年2月刊行 本体セット価¥88,000-（＋税） ISBN 978-4-86166-100-6

B6判・約1,570頁 [Originally published by Macmillan in London, UK and Porter & Coates in Philadelphia, USA]

In these decorative days the volumes bring calm counsel and kindly suggestions, with information for the ignorant and aid for the advancing, that ought to help many a feeble, if well-meaning pilgrim along the weary road, at the end whereof, far off, lies the House Beautiful....-*Examiner*, 1876

ヴィクトリア朝最盛期に一般向けの美術入門書、建築や名所旧跡ガイドの著者、編者として大活躍したロフティーの発案により創刊され、中流階級向けに家庭生活をいかに芸術で彩るかを解説し人気を博したマニュアル本シリーズ、*Art at Home* 全12点の復刻集成です。拡大してゆく中流層（lower middle-class）を読者層に想定し、より豊かな生活を目指すこの階級の上昇志向に合わせるべく、編者のロフティーは上流階級（upper-middle class）の女性を「中流階級の生活指導者」として、著者に多用します。また、英国で大成功したシリーズは、直ちに海を越え、米国フィラデルフィアでも刊行が始まり、東海岸の中流家庭の間でも「おしゃれな英国流生活」への入門書として広く読まれました。

シリーズの内容は、インテリアや衣服といった生活に密接に関わるものから、美術教育、美術品収集、音楽や芝居の楽しみ方など多岐にわたり、シリーズ後期にはアンドリュー・ラングのような著名作家による著作や、ケイト・グリナウェイが挿絵を入れたガイドも刊行されます。

イギリス19世紀の生活文化の資料としてだけでなく、研究が進むヴィクトリアン・アメリカの貴重な文献としても、どうぞ活用ください。

●収録内容● ※底本はすべて Macmillan, UK 刊を用います。

VOL. 1: c.410pp.

Introduction by Midori Tsuji

Loftie, W. J.

A Plea for Art in the House, with Special Reference to the Economy of Collecting Works of Art, and the Importance of Taste in Education and Morals, 1876, c.108pp.

Garrett, Rhoda and Agnes

Suggestion for House Decoration in Painting, Woodwork, and Furniture, 1876, c.98pp.

Hullah, John

Music in the House, 1877, c.90pp.

Orrinsmith, Mrs.

The Drawing-Room: Its Decorations and Furniture, 1877, c.100pp.

VOL. 2: c.390pp.

Loftie, Mrs.

The Dining-Room, 1878, c.140pp.

Barker, Lady

The Bedroom and Boudoir, 1878, c.130pp.

Oliphant, Margaret

Dress, 1878, c.115pp.

VOL. 3: c.400pp.

Pollock, Walter Herries & Lady Pollock

(illustrated by Kate Greenaway)

Amateur Theatricals, 1879, c.90pp

Glaister, Elizabeth

Needlework, 1880, c.140pp

Leland, Charles G.

The Minor Arts: Porcelain Painting, Wood-Carving, Stencilling, Modelling, Mosaic Work, etc, 1880, c.170pp.

VOL. 4: c.370pp.

Lang, Andrew (illustration by Austin Dobson)

The Library, 1881, c.200pp.

Ellis, Tristram J.

(illustration by Stacy Marks)

Sketching from Nature, A Handbook for Students and Amateurs, 1883, c.170pp.



復刻出版シリーズ：ヴィクトリア朝諷刺雑誌関連資料・シリーズ第1回

ファン誌選集コレクション

6タイトル・合本3巻＋別冊日本語解説

FUN - A Collection of Books from the Victorian Weekly Magazine

[British Satirical Periodicals of the Nineteenth Century Series I]

監修・解説：新井潤美（上智大学）

2010年1月刊行 本体セット価¥58,000-（+税） ISBN 978-4-86166-126-6

総頁数：約1,050頁（ほぼ全頁に図版入）/サイズ：B5判

『パンチ』のライバル誌『ファン』掲載の諷刺画、漫画、記事を精選した
6タイトルを復刻集成

本書の特色

- ‘Poor man’s Punch’ または ‘Funch’ と称され、ヴィクトリア朝の諷刺雑誌『パンチ』としのぎを削った『ファン』誌の編集部が、雑誌の全盛期1870-80年に雑誌掲載のカリカチュア、漫画（カートゥーン）や諷刺記事を選び出版した、精選集6点を復刻集成。
- 『パンチ』より低所得者層を対象読者として1ペニーで販売された週刊誌で、よりリベラルな編集方針のもと1861年より約40年間にわたり刊行が続き、特に今回復刻される諸選集が編まれた70年代には、発行部数も2万部に上ったとされる。
- 当初『パンチ』誌用の図版製作に携わっていた著名な彫版工ダルジエフ兄弟が1870年より出版者となり、トム・フッドを編集長に、アンブローズ・ビアス、G・R・シムズなどの諷刺作家を執筆者に起用し、なかでもサヴォイ・オペラの作者W・S・ギルバートが本誌に深く関わったことが広く知られている。
- 『ファン』誌を所蔵する図書館は極めて少なく、『パンチ』に比し今まで研究対象とされることは少なかったが、今回は雑誌全盛期編まれた主要精選集を復刻し、そのエッセンスを研究・教育用に提供する。
- 英国19世紀文化・社会史研究を初め、西洋漫画史の資料としても重要な文献。

■収録明細■

VOLUME 1: c.490 pp.

Preface by Megumi ARAI

The Essence of Fun with 250 Pictures, Selected and Arranged by Tom Hood

London: The “Fun” Office, 1872, c.255 pp.

The Cream of Fun with 250 Pictures, Selected and Arranged by Tom Hood

London: The “Fun” Office, 1873, c.220 pp.

VOLUME 2: c.250 pp.

The British Working Man by One who does not Believe in him and other

Sketches, by J. F. Sullivan, Engraved by Dalziel Brothers

London: The “Fun” Office, 1878, c.115 pp.

The British Tradesman and Other Sketches including The Complete Builder, by J. F. Sullivan, Engraved by Dalziel Brothers

London: The “Fun” Office, 1880, c.120 pp.

VOLUME 3: c.300 pp.

One Hundred Cartoons from the Pages of Fun

London: The “Fun” Office, 1880, c.100 pp.

The Extract of Fun, A Cordial for Young and Old with Hundreds of Comic Illustrations

London: The “Fun” Office, [c.1800] c.200 pp.



19世紀初頭ロンドン・イギリス漫遊探訪記

【復刻版】全8巻＋別冊

Tour, Adventure and Rambles in England: A Collection of the Early 19th Century Sources

■監修：松村昌家（大手前大学名誉教授） ■解説（別冊・日本語）：中島俊郎（甲南大学教授）

2005年6月刊行 約3,910頁・モノクロ図版多数 本体セット価 ¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-07-9



“...ペンとペンシルで描かれた
19世紀初期のイギリス全域にわたる
世相の大パノラマが
ここにくりひろげられている。”
松村昌家

本書の特色

- 「鉄道以前」イギリスの都市、地方の社会と生活をエネルギッシュに活写し、人々の高い支持を得たジャンル＝探訪記の知られざる傑作を集成
- クルックシャンク、ロウランドスン他、19世紀英国を代表する挿絵画家による挿画を多数収録
- 19世紀初頭のイギリス社会事情、風俗習慣、言語、制度等の理解に、好個の資料

■収録文献■

第1-3巻

R・サウジー著

『ドン・マニエル・アルヴァレイス・エスプリエラのロンドン通信』

Letters from England by Don Manuel Alvarez Espriella

Written by Robert Southey, London, 1808.

Vol.1 (xvii, 365 pp.), Vol. 2 (ix, 369 pp.), Vol. 3 (vii, 365 pp): 1127pp

第4巻

W・クーム著

『シンタックス博士のロンドン探訪記』

The Tour of Dr. Syntax through London, or the Pleasures and Miseries of the Metropolis.

Written by William Combe. Illustration by Thomas Rowlandson., London, 1820, 3rd edition.

Vol. 4: (iv. 319 pp)+ ill. 19 : 361pp

第5-6巻

『ロンドンの実生活』

Real Life in London, or the rambles and adventures of Bob Tallyho, esq., and his cousin, the Hon. Tom. Daschall, through the metropolis: exhibiting a living picture of fashionable characters, manners, and amusements in high and low life / by an Amateur.

Illustration by William Heath, Henry Thomas Alken, Richard Dighton, Thomas Rowlandson, etc. London, 1821.

Vol. 5 (iii. X.[3] 656 pp.) Vol. 6: (i. x. [3] 668 pp.)+ill. 32:1418pp

第7-8巻

C・ウェストマコット著

『イングリッシュ・スパイ：パーナード・ブラックマントル氏の英国探訪記』

The English Spy: an original work, characteristic, satirical, and humorous.

Comprising scenes and sketches in every rank of society, being portraits of the illustrious, eminent, eccentric, and notorious/ drawn from the life by Bernard Blackmantle. Written by Charles Molloy Westmacot. Illustrations by Robert Cruikshank. London, 1826.

Vol. 7: (xxiii, 417 pp.) Vol. 8: (xv, 399 pp.)+ ill.73:1000pp



マリオ・プラーツ編

文学、歴史、芸術の饗宴 全10巻・2回配本

English Miscellany: A Symposium of Literature, History and Arts

Edited by Mario Praz

Reprint of the Complete Collection of Articles in English and Selected Writings in Italian by Mario Praz

監修・解説 ■ 中島俊郎（甲南大学文学部教授） * 監修者による和文解説書が別冊として付いています。

第1回配本（1950年-1965年）・全5巻 A5判 約2,410頁

2007年9月刊行 本体セット価 ¥98,000-（+税） ISBN 978-4-902454-19-2

第2回配本（1966年-1983年）・全5巻

2008年9月刊行 本体セット価 ¥98,000-（+税） ISBN 978-4-902454-20-8

本書の特色

- 現代ヨーロッパを代表する著述家マリオ・プラーツ（1896-1982）が1950年から30年間、編集を主幹した定期刊行誌に掲載された英語論文約230点（プラーツ自身によるイタリア語論文を含む）を収録
- 中世、ルネサンス芸術からモダニズム文学まで、文学・歴史学・哲学・宗教学・美学・美術史・ヴィジュアルカルチャーなど人文学すべての領域を横断する画期的な論考を集成

※収録文献の詳細は、

<http://www.aplink.co.jp/ep/4-902454-20-8.html>

でご覧いただけます。

…すぐれた翻訳者になるためには、文化の障壁をのりこえ、二重のアイデンティティを自らのなかに獲得しなければならないが、プラーツは、文学、文化研究の越境、横断を、個々の文学テキストの翻訳よりもさらに大きなかたちで実践してみせた。その集成が1950年から1982年（没年）にかけて発行された『イングリッシュ・ミセラニー』（English Miscellany）である。

その意味で『イングリッシュ・ミセラニー』は編集主幹であるプラーツの研究手法、深度、範囲をみごとに反映している。ロマン主義を中心にした美意識の変遷、イギリス、イタリア文学における影響関係、テキストの遡源追究、文学と視覚芸術の照応、歴史と文学のインターテクスチュアリティなどが主たるテーマであったが、プラーツの知己、友人、俊英たち！が寄稿した論文、エッセイはいずれも水準を凌駕し、いかんなく「プラーツエスコ」（prazzesco）を発揮し、発展させている。だから他には見られない執筆者の充実ぶりも本誌の特徴になっている。ボナミー・ドブレ、W. H. オーデンのエッセイと若き日のヘイドン・ホワイトの論文が同時に掲載されているような研究誌がほかにあるだろうか。

「イタリア通信」（『ロンドン・マーキュリー』）というコラムのなかで、小さな声を英語圏の読者に対して初めて発したプラーツは、『イングリッシュ・ミセラニー』全30巻という、端倪すべからざる広大な森をつくりあげた。文学研究の沈滞化がささやかれる今日こそ、その森のなかでくりひろげられている饗宴の声に耳を傾けるときではあるまいか。

—甲南大学文学部教授 中島俊郎「編者のことば」より—



ウェールズへの旅

～英国 18-19 世紀紀行記・案内書復刻集成 全 4 巻＋別冊解説

Picturesque Wales - Facsimile Reprints of "Pennant's Tours" and "Wales Illustrated"

監修・解説：森野聡子（静岡大学）

2009 年 10 月刊行 本体セット価 ¥98,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-54-3

判型：A5 判 (Vol. 1-3) / B5 判 (Vol. 4) ・約 1860 頁（図版・白黒：156 点）

「連合王国」の周縁にあり独自のルーツを持つウェールズ文化は、同じブリテン島のなかでイングランド文化と複雑に交渉しあいながら共存していますが、英国内でのウェールズへの関心は、18 世紀のウェールズ文化復興と期を同じくする英国でのピクチャレスク・ツアーの流行が、景観鑑賞の対象としてウェールズの人気をよび、ウェールズ観光が誕生していった頃に端を発するとされます。この時代ウェールズの知識人やウェールズを訪れたイギリスの作家達は、様々な旅行記や旅行ガイドを執筆、積極的にこの文化復興や観光に関わり、ウェールズの地位向上に貢献します。

今回の集成では、この時代を代表する以下の 2 種の文献を復刻し、18 紀末から 19 世紀にかけてのウェールズがどのように描かれ、イメージされていったのかを知るための基本史料として提供します。図版を数多く含むこれらの文献は、視覚資料としても価値が高く、研究、教育に広くご利用いただけます。

【収録内容】

VOLUME 1-3 (size: A5)

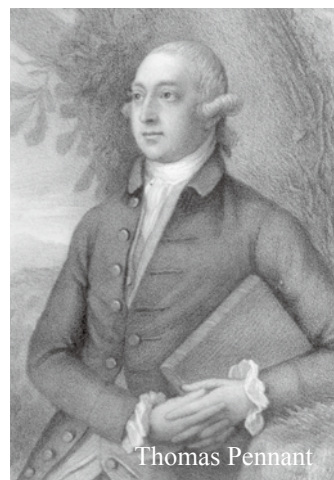
Preface by Satoko Ito-Morino

Thomas Pennant (edited by John Rhys)

Tours in Wales, by Thomas Pennant, with Notes, Preface and Copious Index by John Rhys, Professor of Celtic in the University of Oxford, to which is added, An Account of the Fine Tribes of Cambria, and of the Fifteen Tribes of North Wales, and their Representatives, with their Arms, as given in Pennant's History of Whiteford and Holywell, new edition, 3 vols.

Caernarvon: H. Humphreys, 1883, c.1500pp. (44 plates.)

- 1778 年から 6 年を費やし刊行された、トマス・ペナント（1726-98）による大著。初の総合的ウェールズ・ガイドとして知られる最重要文献。死後 1810 年にロンドンで刊行された新版が、ウェールズ・ガイドの決定版として 19 世紀を通し利用されたが、今回は、その 1810 年の版を底本に 19 世紀の著名なケルト学者ジョン・リーズ（学生の大半がウェールズ人であったオックスフォード大学ジーザス・カレッジの学寮長）が、解説、注釈、付録資料、索引を加え、ウェールズにて 1883 年に出版した貴重な学究版を復刻。



Thomas Pennant

VOLUME 4 (size: B5)

Henry Gastineau

Wales. Illustrated, in a Series of Views, comprising the picturesque Scenery, Towns, Castles ... Engraved on steel, from Original Drawings, by H. Gastineau. Accompanied by Historical and Topographical Descriptions.

London: Jones & Co., 1830, c. 360pp. (112 plates)

- 英国の風景画家ヘンリー・ガスティノーが描いたウェールズの 100 箇所強の名所旧跡に、各地の地理や文化、歴史についての簡潔な解説を加えた、19 世紀ウェールズのヴィジュアル版百科。



英国湖水地方への旅

18-19世紀旅行記・案内書コレクション 全6巻＋別冊解説書

Lake District Tours: A Collection of Travel Writings and Guide Books in the Romantic Era

編集・解説 ■山形大学教授 小田友弥

2008年2月刊行 A5判・約2,720頁 本体セット価¥138,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-35-2

本書の特色

- ワーズワースをはじめ多くの英国ロマン主義文学者に賛美され、その自然愛の象徴的对象となった湖水地方に関する同時代の文献集成
- ピクチャレスク・ツアーが流行した時代の主要旅行記と案内書8点を図版、地図とともに復刻
- 英国ロマン主義文学を生んだ時代の一次資料、そして18世紀から19世紀の湖水地方の百科事典的情報源として貴重

■収録文献■

VOL. 1: c.397pp.

William Hutchinson,

An Excursion to the Lakes, in Westmoreland and Cumberland, August 1773., 1st Edition, 1774. 193 pp.

Thomas West,

A Guide to the Lakes., 1st Edition, 1778. 204 pp.

VOL. 2: c.267pp

Joseph Budworth,

A Fortnight's Ramble to the Lakes in Westmoreland, Lancashire and Cumberland., 1st Edition, 1792. xxvii, 267 pp.

VOL. 3: c.536pp

John Hausman,

A Topographical Description of Cumberland, Westmoreland, Lancashire., 1st Edition, 1800. xii, 536 pp.

VOL. 4: c.463pp / VOL.5: c.507pp.

William Green,

The Tourist's New Guide, containing a description of the lakes, mountains, and scenery, in Cumberland, Westmoreland, and Lancashire, ...being the result of observations made during a residence of eighteen years in Ambleside and Keswick., 1st Edition, 1819. xi,vii, 463 pp. / x, 507 pp

VOL. 6: c.547pp.

Joseph Wilkinson and William Wordsworth.

Select Views in Cumberland, Westmoreland and Lancashire., 1st Edition, 1810. xxxiv, 46 pp. plus 48 plates.

Jonathan Otley,

A Concise Description of the English Lakes, the mountains in their vicinity, and the roads by which they may be visited; with remarks on the mineralogy and geology of the district., 2nd Edition, 1825. 141 pp.

Edward Baines,

A Companion to the Lakes of Cumberland, Westmoreland and Lancashire; in a descriptive account of a family tour, and an excursion on horseback ...with a new, copious, and correct itinerary., 2nd Edition, 1830. vii, 312 pp.

スコットランドの旅

18-19 世紀旅行記・案内書コレクション復刻集成 全 8 巻 + 別冊和文解説

Scottish Tours: A Collection of Travel Writings and Guide Books in the Romantic Era

編集および解説 金津和美 (同志社大学文学部)

2012 年 12 月刊行 A5 判 c.3,535 pp. 本体セット価 ¥148,000- (+税) ISBN: 978-4-902454-79-6

- スコットランド旅行文化の形成に先鞭をつけたジョンソン、ギルピン、ペナントなど、先駆的作品の影響を受けて育まれた、18 世紀末から 19 世紀初頭のロマン主義期に刊行された代表的な旅行記を集成
- ピクチャレスク美学からロマン主義的美学が醸成されていく、ピクチャレスク美学の伝統的規範から逸脱し、より崇高美へと接近した過程を捉える
- スコットやワーズワスらイギリス・ロマン派文学の作品理解、美学研究、また近代ツーリズムの歴史の研究に重要な作品群

◆収録予定文献◆

Volume 1:

A Lady [M.A.Hanway]

A Journey to the Highlands of Scotland, with Occasional Remarks on Dr. Johnson's Tour

London: Fielding & N.D.Walker, 1776, xvi, 163 pp.

Dorothy Wordsworths (ed. by J.C. Shairp)

Recollections of a Tour Made in Scotland A.D. 1803

New York: G.P. Putnam's Sons, 1874, xlv, 316 pp.

Volume 2:

Mrs. Murray [Sarah Murray]

A Companion and Useful Guide to the Beauties of Scotland to the lakes of Wentmoreland, Cumberland, and Lancashire; and to the Curiosities in the District of Craven, in the West riding of Yorkshire. Also A Description of Part of Scotland..., Vol. 1

London: W. Bulmer & Co., 1810, xii, 456 pp.

Volume 3:

Mrs. Murray [Sarah Murray]

A Companion and Useful Guide to the Beauties of Scotland to the lakes of Wentmoreland, Cumberland, and Lancashire; and to the Curiosities in the District of Craven, in the West riding of Yorkshire. Also A Description of Part of Scotland..., Vol. 2

London: W. Bulmer & Co., 1810, xvi, 436 pp.

Volume 4:

Robert Heron

Observations Made in a Journey through the Western Counties of Scotland; In the Autumn of MDCCXCIL, Vol. 1

Perth: R.Morison, 1793, vi, 387 pp.

Volume 5:

Robert Heron

Observations Made in a Journey through the Western Counties of Scotland; In the Autumn of MDCCXCIL, Vol. 2

Perth: R.Morison, 1793, iv, 514 pp.

Volume 6:

John Stoddart

Remarks on Local Scenery and Manners in Scotland during the years 1799 and 1800, Vol. 1

London: William Miller, 1801, xxiv, 310 pp. 18 pl.

Volume 7:

John Stoddart

Remarks on Local Scenery and Manners in Scotland during the years 1799 and 1800, Vol. 2

London: William Miller, 1801, xiii, 342 pp. 17 pl.

Volume 8:

Walter Scott

Provincial Antiquities and Picturesque Scenery of Scotland with Descriptive Illustrations

London, John & Arthur N.D.Arch, Cornhill, 1826, lii, 208 pp. 51 pl.



19世紀アイルランド 旅行ガイドコレクション

全5巻＋別冊日本語解説

Ireland in the 19th Century through Travellers' Guides

新刊

監修・解説 ■ 勝田俊輔（東京大学文学部）

2015年6月刊行 A5判・約2,400頁（地図・図版多数） 本体セット価¥128,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-90-1

1801年にブリテン（イギリス）とアイルランドが合同し連合王国が発足して以降、両国の政治、経済、文化の関係は緊密さを増し、人的な交流も盛んになります。本書はその19世紀に連合王国で刊行された旅行ガイドを、数多くの図版や折込み地図などを含め復刻するコレクションです。合同から世紀半ばの大飢饉、自治を求める運動が盛んになる世紀後半へと、激しく変化するアイルランドの19世紀が俯瞰できるよう、それぞれの時代の特色ある5種の文献を収録します。

アイルランド史研究としてだけでなく、アイルランド文学研究の背景資料や文化史、近代ツーリズム研究の資料としてご利用いただけます。

●収録タイトル●

Volume 1:

The Travellers Guide through Ireland/ or, a Topographical Description of that Kingdom

Rev. Jo. Robertson

Edinburgh & London: Denham & Dick - Vernon, Hood, and Sharp, 1806, c.350 pp., incl. a fold-out, hand-coloured map.

Volume 2:

The Traveller's New Guide through Ireland

London: Longman, Hurst, Rees, Orme, and Brown, 1815, c. 580 pp. incl. a fold-out map

Volume 3:

A Hand Book for Travellers in Ireland, Descriptive of Its Scenery, Towns, Seats, Antiquities, etc., with Various Statistical Tables...

James Fraser

Dublin: William Curry, 1844, c. 748 pp., incl. a fold-out map

Volume 4:

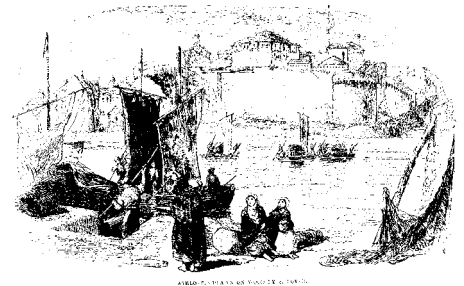
The Irish Tourist's Illustrated Handbook for Visitors to Ireland in 1852, 2nd ed.

London: Office of the National Illustrated Library, 1852, c.200 pp., incl. 3 fold-out maps

Volume 5:

Black's Tourist's Guide to Ireland, 19th ed.

Edinburgh: Adam & Charles Black, 1886, c. 478 pp. incl. 4 fold-out maps



復刻版 オシアン協会会報 1853-1858

全6巻＋別冊解説

Transactions of Ossianic Society, 1853-1858

監修・解説■佐野哲郎（京都大学名誉教授）

2008年3月刊行 A5判・約1,775頁 本体セット価¥98,000- (+税) ISBN 978-4-902454-42-0



本書の特色

- 1853年にダブリンで設立された、オシアン協会の会報全号を完全復刻。
- 18世紀にスコットランドのジェームズ・マクファーソンにより収集され、スコットランドで書かれたものと誤って伝えられた、ケルトの一連の叙事詩「オシアン」の源は、アイルランドにあると主張した、ジョン・ドノヴァン、ユーージン・オカーリなどアイルランドの研究者達が設立した協会で、アイルランド研究に大きな足跡を残した。
- 後のアイルランド文芸復興運動の糸口ともなった本協会の発表の場となったこの雑誌は、アイルランド文学・歴史、そしてケルト文化全般の様々な研究に利用できる貴重な文献。

監修者の言葉

京都大学名誉教授 佐野 哲郎

1853年3月17日、セント・パトリックス・デーを期して、ダブリンのトリニティ・カレッジに近いある書店に、数人の人物が集まった。彼らがオシアン協会を設立したのは、その2か月後の5月9日だった。この協会の目的は、フェニアン伝説、すなわちフィン・マク・クールを頭領に戴くフェニアン（戦士）たちを主人公とした詩や物語を、古文書や民間伝承のなかから掘り起こして、アイルランドの言語と文字で印刷し、忠実な翻訳とともに、世に問おうというものだった。

協会の活動は短かった。1854年に会報の第1号を刊行してから、あしかけ9年で、活動は終わった。その間に刊行された会報は、全6巻だった。しかし、第1巻の『ガウラの戦い』は、フェニアンの最後の戦いとして、また彼らの最大の勇者であったオスカルの死を語る物語として、今ではよく知られている。また、第3巻の『ディアミッドとグラニアの追跡』は、『トリスタンとイゾルデ』の物語の原型とも言われる、有名な物語である。いずれも、完全な形で翻訳されたのは、初めてだった。

さらに見逃せないのが、第4巻の『常若の国のオシーンの歌』である。これは18世紀の詩人ミホール・コミンの作品である。フェニアンたちを主人公とした詩や物語は、アイルランドでは最も人気があり、18世紀に至るまで、次々と新しい作品が生まれ続けたが、これは、その最後を飾るものと言えよう。これが現代において注目されるのは、それまでオシーン（スコットランドではオシアン）を主人公として断片的に語り伝えられてきた「浦島伝説」の集大成が、この詩であったということのほかに、W・B・イェイツが1889年に発表して、いわゆるアイルランド文芸復興の発端となった『オシーンの放浪』が、この詩に想を得たからでもあった。さらに、イェイツは、第1巻、第3巻、および第4巻に収められた小品からも示唆を得ている。新しい文学運動のきっかけとなったのは、最後のフェニアン詩であった。

多くの作品には、詳しい注が付けてある。ときには、膨大な量に及んでいるものもあって、編者たちの意気込みをうかがわせる。彼らの脳裏には、18世紀に「オシアン詩」を世に出して、大評判となったスコットランドのジェームズ・マクファーソンがあったに違いない。つまり、フェニアン伝説は、本来アイルランドに起こり、それがスコットランドにも伝わったものであって、本家はこちらなのだ、という意識が、膨大な注釈となって現れたのだろう。アイルランド神話・伝説の研究は、20世紀に長足の進展を遂げたが、その重要な土台となった本協会の活動は、今も独自の光彩を放っている。

マザーグース初期英米選集コレクション

全6巻＋別冊解説

Mother Goose Library 1: Collection of Early Editions

編集■藤野紀男

別冊日本語解説■藤野紀男&夏目康子（津田塾大学非常勤講師、日本イギリス児童文学会理事、マザーグース学会理事）

2004年10月刊行 約2150頁（図版白黒多数） 本体セット価¥138,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-04-8

- マザーグース・英国児童文学研究のための学究版コレクション。
- 最初期のマザーグース集から、19世紀末までの英米の選集13点を収録。
- 英米文学研究だけでなく、英米大衆文化、出版文化史研究資料としても重要。

【内容明細】

VOL.1: *Mother Goose's Melody: or, Sonnets for the Cradle*, in Two Parts., London, Francis Power, 1791, Reprinted from A Facsimile Reproduction, 1904, with an introduction and notes by Colonel W. F. Prideaux.

Mother Goose's Melodies, The Only Pure Edition, 1833.

VOL.2: Halliwell, James Orchard, *The Nursery Rhymes of England, Obtained principally from Oral Tradition.*, 2nd ed., 1843.

Nursery Rhymes, Tales, and Jingles, 2nd ed., 1846.

VOL.3: *Mother Goose's Melodies, selected and arranged by My Uncle Solomon*, 1850.

Mother Goose's Melodies Illustrated, c1860.

Melodies for Children, or Songs for the Nursery, with Notes, Music, and an Account of the Goose or Vergoose Family and with illustrations by Henry L. Stephens and Gaston Fay, 1869.

VOL.4: *Mrs. Partington's Mother Goose's Melodies containing All the original rhymes of Mother Goose, besides many others of a similar character.* Edited by Uncle Willis, 1874.

Tileston, Mary Wilder., *Sugar and Spice and All That's Nice*, 1885.

Favourite Rhymes for the Nursery, with Numerous Pictures and Picture-Pages, 1887.

VOL. 5: Baring-Gould, Sabine, *A Book of Nursery Songs and Rhymes*, with illustrations by members of The Birmingham Arts School under the direction of A. J. Gaskin, 1895.

Mother Goose's Nursery Rhymes and Melodies, Complete Edition, c 1894.

VOL.6: Lang, Andrew, *The Nursery Rhyme Book*, illustrated by L. Leslie Brooke, 1897.

マザーグース 20世紀初頭英米選集コレクション

全6巻＋別冊解説

Mother Goose Library 3: Collection of Editions in the Early 20th Century

編集・解説■藤野紀男&夏目康子

2007年11月刊行 約2,800頁（図版多数・口絵一部カラー） 本体セット価¥128,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-37-6

- 『マザーグース』研究のための基本文献を復刻するシリーズの完結編。
- 20世紀初頭モダニズム期の英米で発表されたマザーグース集から、この時代に特徴的な9点を収録。
- 日本でのマザーグース研究に特に重要な、北原白秋が使用したとされるマーガレット・タラント版と竹久夢二が使ったエヴリマンズ・ライブラリー版（今日のエヴリマンズ版とは全く異なる）も収録。

【内容明細】

VOL. 1: Frederick Burr Opper, *Mother Goose's Nursery Rhymes*, 1900.

Charles Welsh / Clara E. Atwood, *A Book of Nursery Rhymes*, 1901.

VOL. 2: Walter Jerrold / John Hassall, *Mother Goose's Nursery Rhymes*, 1909.

VOL. 3: Margaret W. Tarrant, *Nursery Rhymes*, (2nd ed.), 1916.

Ernest Rhys, *Mother Goose's Book of Nursery Rhymes and Songs* (Everyman's Library), 1928. [Reprint of 1st ed. published in 1910]

VOL. 4: Carolyn Wells / Edith R. Wilson, *Everychild's Mother Goose*, 1918.

VOL. 5: Ella Dolbear Lee, *The Ella Dolbear Lee Mother Goose*, 1918.

VOL. 6: Logan Marshall / Julia Greene, *Mother Goose Nursery Rhymes*, 1917.

Lawrence Elmendor / Boyd Elmer Smith, *The Boyd Smith Mother Goose*, 1919.

マザーグース初期邦訳本復刻集成

10文献・合本5巻

Early Japanese Editions of Mother Goose

編集・解説：高屋一成（京都府立北桑田高等学校教諭、日本ルイス・キャロル協会会員、マザーグース学会会員）

2011年11月刊行 本体セット価格 ¥95,000-（+税） ISBN 978-4-86166-149-5

A5判（カラーを含む図版多数）・約2,315頁

北原白秋によるマザーグース訳の基本文献から異同を多数含む版、その他の訳者による戦前の外国童謡集まで、マザーグース訳を多数含む書籍の復刻集です。すでに復刻出版されたものは除外し、これまで夙に名前を知られておりながら、入手や参照が困難であった資料を集め、表紙、口絵などのイラストも可能な限り掲載し、編者による書誌解題を付しました。マザーグース研究や児童文学、比較文学、教育学、図像学など広い分野の文献資料として、図書館・大学から研究者・愛好家までを対象に出版します。



●収録文献●

第1巻

解説：高屋一成

土岐善麿 Otagiuta（第5版）昭和14年、日本のローマ字社、戸澤辰雄挿絵

北原白秋 「まざあ・ぐうす」、『白秋童謡集』第1集より、大正13年、アルス

北原白秋 「まざあ・ぐうす」、『白秋全集』第10巻童謡集より、昭和5年、アルス

第2巻

小林愛雄 『世界子守唄集』大正11年、春秋社、岡本帰一挿絵

竹久夢二 『青い小径』（増補版）大正15年、交蘭社、竹久夢二挿絵

竹友藻風 『英国童謡集』研究社英文訳註叢書、昭和4年、研究社、初山滋挿絵

第3巻

西條八十・水谷まさる 『新訳絵入 世界童謡集』模範家庭文庫12、

大正13年、富山房、武井武雄、初山滋他多数挿絵

第4巻

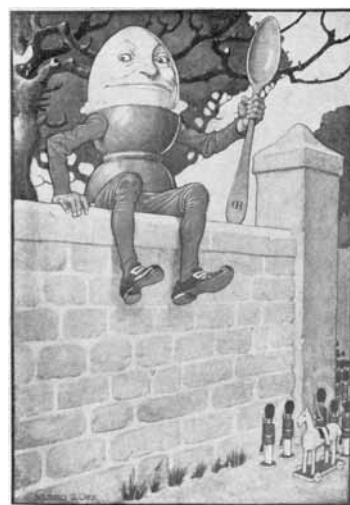
安田裸花 『世界童謡選集』大正11年、大法館、約315頁

松原至大 『世界童謡選集』春秋社世界童話文庫、大正13年、春秋社

第5巻

松原至大 『マザアグウス 子供の唄』大正14年、春秋社、

宍戸左行表紙絵



INDEX

写真図説 イギリスの邸宅建築と庭園	表 2	20世紀初頭の反フェミニズム文献	38
広告とモダン・アート	1	反フェミニズム： ヴィクトリア朝から20世紀初頭の雑誌記事・パンフレット集成	38
イングランドの地方都市【第1期】北部編	2	英米20世紀初頭のフェミニズムと雑誌ジャーナリズム	39
英国近代郵便の成立	3	フリー・ウーマン	39
世紀転換期の世界一万国風刺漫画大全	4	女性と大英帝国	40
19世紀ミニチュア世界の中のアジア・パシフィック	5	帝国史のなかの子ども	40
世界旅行者大全	6	女性ジャーナリストの誕生	41
1862年国際博覧会(第2回ロンドン万国博覧会)資料総覧	8	英国モダニズム文学に描かれた女性参政権	42
日英博覧会(1910年)ー公式史料と関連文献集成ー	9	アイルランドのフェミニズム	43
女性と医学教育	10	ボーイズ・OWN・ペーパー 1879-1882年	44
女性と身体教育	11	ガールズ・OWN・ペーパー 1880-1883年	45
女子学園小説	12	ヴィクトリア朝女性教育同時代雑誌記事・論文集成	45
ヴィクトリア期女性の「美とファッション」	13	19世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集	46
ボーイスカウトとガールスカウト運動の誕生 第1回	14	女性フェアリー・テイル作家復刻選集	47
プリンセス・ノヴェレット	15	スコットランド歌謡・バラッド・伝承詩集成	48
英領インドと女性	16	子どものためのチャップブック	49
スピリチュアリズムと近代社会	17	ヴィクトリア朝の室内装飾と世紀末審美改革運動	50
黄禍論 第1回配本：英国黄禍論小説集成	18	ヴィクトリア朝の生活と芸術	51
黄禍論 第2回配本：黄禍論史資料集成	19	ファン誌選集コレクション	52
マリアンヌ・ノース自伝	20	19世紀初頭ロンドン・イギリス漫遊探訪記	53
ヴィクトリア朝女性たちのアジア旅行記	21	マリオ・プラーツ編 文学、歴史、芸術の饗宴	54
世界周遊旅行の始まり	22	ウェールズへの旅	55
19世紀英国のアジア・イメージ	23	英国湖水地方への旅	56
アーサー・ミー編集 イギリス児童大百科	24	スコットランドの旅	57
イギリス・モダニズム女性大百科	26	19世紀アイルランド旅行ガイドコレクション	58
英国スポーツ・レジャー大百科	27	オシアン協会会報 1853-1858	59
英国芸術家列伝	28	マザーグース初期英米選集コレクション	60
ヴィクトリア朝セレブリティ大事典	29	マザーグース20世紀初頭英米選集コレクション	60
19世紀のシェイクスピア・バーレスク集成	29	マザーグース初期邦訳本復刻集成	表 3
ヴィクトリア朝産業デザイン・技術教育百科	29		
チェンバース編 インフォメーション・フォー・ザ・ピープル	30		
19世紀英国大衆文化と出版・印刷メディア	30		
J・S・ミル フランス日記 1820年5月～1821年7月	31		
エイダ・バリン著作集	32		
フェミニズムとキリスト教信仰	33		
女性と職業	34		
19世紀英国家庭と子どものための職業読本	35		
ガヴァネス・ノヴェルズ	36		
ブリティッシュ・サーヴァント	37		



発行元: **Edition Synapse**

(エディション・シナプス)

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-5 山口ビル3F

Tel: 03(5296)9186 Fax: 03(3252)1822

<http://www.aplink.co.jp/synapse>